

# 武蔵野の森総合スポーツプラザ

## 指定管理者審査

### 提案書類（事業計画書）

団体名 東京スタジアムグループ

---

所在地 調布市西町290番地11

---

代表社名 株式会社東京スタジアム

---

## 事業計画書様式一覧

提案課題			ページ		
1 事業計画書	提案課題 1	管理運営の基本方針	1~4		
	提案課題 2 施設の提供、運営に関する業務	1 施設の提供	(1) 施設提供の実施方針	5~7	
			(2) 休館日及び開場時間	8	
			(3) 利用の調整	9	
			(4) 利用料金	10~11	
		2 施設の運営	(1) プール運営業務	12~15	
			(2) トレーニングルーム運営業務	16~17	
			(3) 多目的スペース運営業務	18	
		3 施設内サービス	(1) 受付案内	19	
			(2) 苦情・要望等に対する対応等	19	
		提案課題 3 スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務	1 事業の提供	(1) スポーツ振興事業 (別表)事業実施計画	20~21 別1
	(2) スポーツの日記念事業 (別表)事業実施計画			22 別1	
	(3) 地域貢献事業 (別表)事業実施計画			23~24 別1~2	
	(4) 自主事業 (別表)事業実施計画			25~26 別1~4	
	(5) 周辺連携事業 (別表)事業実施計画			27 別1	
	(6) 利用者に対するサービス提供事業 (別表)事業実施計画			28 別1	
	2 施設の事業を支える仕組み			(1) 広報	29
				(2) 業務の品質管理	30
	3 都立スポーツ施設等のネットワークを生かした取組				31
	提案課題 4 組織及び人材			1 効果的かつ効率的な組織体制の確保 (別表)各部門の所要人員	
			2 明確な責任体制の構築		33
			3 適切な勤務体制等		34
			4 人材育成の取組		35
	提案課題 5 施設の維持管理その他管理運営に関する業務	1 施設、附属設備及び物品の維持管理	(1) 施設、附属設備及び物品の維持管理	36~37	
			(2) 施設の修繕	38	
2 その他管理運営に関する事項		(1) 危機管理及び災害対応	39~40		
		(2) 地球環境への配慮	41~42		
		(3) 個人情報の保護	43		
	(4) 感染拡大防止	44			
提案課題 6 収支計画		45			
	(別表)指定管理期間中の収支計画	別1			
	(別紙1)収支計画の積算内訳	別2~3			
	(別紙2)⑤委託費(維持管理費等)の積算内訳	別4~6			

※略称の使用について…事業計画書内では、下記のような略称を使用しております。

名称	事業計画書内で使用する略称
武蔵野の森総合スポーツプラザ	むさプラ
味の素スタジアム	味スタ
東京都パラスポーツトレーニングセンター	パラトレセン
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会	東京2020大会

## 提案骨子

スポーツ・エンタメのベストミックスと味スタとの一体運営を達成した指定管理第1期目の運営実績を継続し、2期目は多摩地域のスポーツ振興拠点としてのさらなる発展を目指します。

コロナ禍でも安定経営となるよう、堅実な施設運営を継続するとともに、さらなる地域貢献の拡大を目指します。

**【安定経営の実現】** 収入最大化と実績に基づく支出削減で、指定管理料を参考価格の1.61億円に集約

**【スポーツ振興】** 東京2020大会レガシーの継承と地元連携のさらなる拡大を実現し、スポーツの魅力を強力に発信

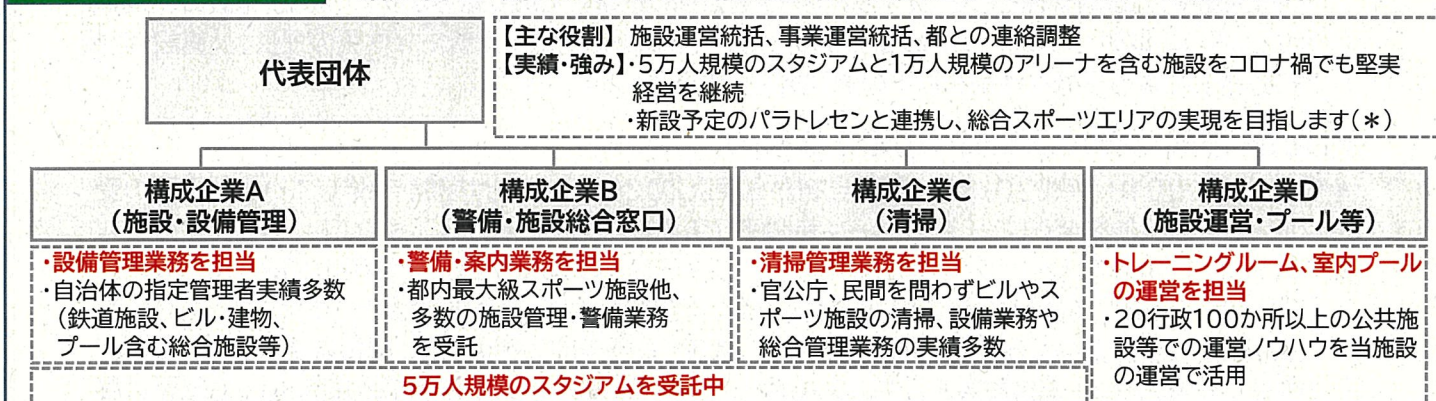
**【高い安全性】** 地域を熟知した避難・防災計画の立案・実行と危機管理の徹底、地域住民との友好関係継続に自信

**【地域ニーズへの対応】** 人口動態や利用者の声をもとにしたプログラム展開や地元との新たな連携で多彩な新規事業を展開

**【賑わいの創出】** 地域スポーツ振興だけでなく、エンタメ・文化発信にも注力し、地域の魅力を向上

## 応募グループの構成

指定管理1期目に組成した構成企業を変更せず、安定運営の継続を担保



(\*) 2023(令和5)年春開設予定の東京都パラスポーツトレーニングセンターの指定管理者募集に代表団体が応募しています。

## 上記の目標を下支えする具体的な取組(要点)

### 味スタとの一体運営による効率的な運営を継続

- P1~6, 18~19, 21~23, 27~32, 34, 36, 38~40
- 味スタとの一体的運用を継続し、以下の内容で最高の運営を継続します。具体的には、
    - イベント同時開催時の導線誘導や警備の実施
    - 駐車場の共同利用による利用者サービスの向上
    - 災害発生時の最適・最短避難路の確保・誘導等を実施します。
  - また、味スタと大型イベントを年2回共催し、地域貢献と賑わい創出に寄与します。

### 2大会レガシーの継承

- P1~5, 18, 20~24, 29, 31
- ラグビーワールドカップ2019、東京2020大会の2大イベントの経験を次期指定管理期間に最大限に活用し、そのレガシーを次世代に継承します。
  - 具体的には、地域との緊密な連携のもと地域振興事業・スポーツ振興事業で、2大会のレガシーを体感できる事業の展開を行います。
  - 味スタ・むさプラミュージアム(仮称)を開設し、レガシーを後世に伝える場を作ります。

### ダイバーシティ・共生社会の実現

- P3, 6~7, 11~12, 14, 17~19, 21, 24, 27~31, 34~35, 39
- 1期目に積極展開したダイバーシティ施策を2期目も継続し、さらに発展させます。
  - パラトレセンや多摩障害者スポーツセンター、  
等との連携、新たな事業の展開により、パラスポーツの普及・発展を推進します。
  - 全施策に渡り、ダイバーシティを体現。理解促進を超えた共生社会の実現を目指します。

### 地域のステークホルダー・他のスポーツ施設との連携

- P1~5, 18~19, 22~24, 27, 29~32, 42
- 地域のステークホルダー(周辺自治体や学校、教育委員会等)と協力して、スポーツ振興から、環境配慮の取組まで、連携して行います。
  - 地域特性を活かした事業を展開し、地域に一層親しまれるスポーツ・文化発信拠点としての役割を果たし、地域の魅力向上や活性化に貢献します。
  - 他の施設と積極的に連携し、互いの事業効果を高め合います。
  - アートや言語といった分野の施策を展開し、文化発信も果たします。

### 安定経営の継続

- P2, 5, 45
- 「公益性と収益性を両立するノウハウ」を4年間の施設運営で習得できました。
  - スポーツ団体やプロモーターとの緊密な連携が完成し、スポーツとエンタメの両分野で、魅力あるコンテンツを編成し、誘致していきます。
  - 味スタ・パラトレセンとの一体運営で事業の効率化も継続します。
  - 結果、スポーツとエンタメのベストミックスを図ることで、効率的な運営を実現。2期の指定管理料を原則1.61億円に抑えることができました。

### 社会情勢に合わせた運営(感染症/デジタル化対策)

- P3~4, 41~42, 44
- コロナ禍でも迅速・適切な対策を講じ、安心な施設の提供を継続しています。今後、感染症など急激な社会変化が生じたとしても都と連携し、適切・柔軟な対応が可能です。
  - HTTやSDGsに積極的に取り組むことで、エネルギーの安定確保や「成長」「成熟」が両立する持続可能な社会の実現に貢献します。
  - DX化など、社会の変化に柔軟に対応し、より良い施設運営に努めます。

### 利用者ニーズの把握と地域の実情を反映した運営

- P3, 6, 8~13, 16, 19~20, 24~26, 27~31
- モニターアンケートや満足度調査の実施により、利用者の声をいち早く取り入れる仕組みを構築しました。また、利用者との積極的な対話を通じて、ニーズを恒常的に把握し、事業に反映します。
  - 1期目及び味スタの運営で培い高めてきた、地元3市や近隣住民との意見交換の仕組みを継続。相互通行で、地域の実情を反映した施設運営を約束します。

### スポーツ実施率の向上・都推進施策との連携

- P1~6, 12~13, 16, P20~22, 24~27, 31
- 誰でも気軽に参加できるプログラムを多数提供することで、東京2020大会で高まった都民のスポーツへの関心を捉え、さらなるスポーツ実施率の向上に取組みます。
  - 都が推進する各種施策に積極的に連携・協力し、都と一丸となった施設を運営します。
  - 来る2025年世界陸上やデフリンピックなどのスポーツイベントの招致・開催に対し、都や招致・組織委員会と協働し、関連イベントや多摩地域の機運醸成に最大限取組みます。

【全体方針】

**味スタとの一体運営に、パラトレセンを加えた三位一体体制で、多摩の一大スポーツ拠点としてさらなる飛躍を目指します。**

◆「TOKYOスポーツレガシービジョン」への積極的参画

- 「TOKYOスポーツレガシービジョン」における「都立スポーツ施設の戦略的活用」の考えを取り入れ、18施設のネットワークの取組（「発信力の強化」・「ニーズ対応力の強化」・「一体的取組によるスポーツ振興」）に積極的に参画するとともに、ネットワークを活用した事業に取り組みます。また、当施設の特性を活かし、3つの取組（「スポーツでのさらなる活用」、「多様な活用による新たな体験の提供」、「施設・地域との連携」）による多様な活用を以下の通り推進します。

◆1期目の高い実績と2期目への新たな想い

- 開館翌年の2018（平成30）年は、開館当初から東京2020大会に向け閉館・改修している他施設の受け皿としての機能を全うし、メインアリーナ稼働率79.4%を達成しました。
- その後、2019（令和1）-2021（令和3）年は、ラグビーワールドカップ2019や東京2020大会、また新型コロナウイルス感染症拡大による閉館など様々な制約が生じ、通年営業は叶いませんでしたが、2大スポーツ大会開催の経験を習得するとともに、徹底した感染症対策の実施、臨機応変な対応と機動力をもった運営など、集客施設としての実践的なノウハウを積み上げ、指定管理の揺籃期でも健全な施設運営を継続することができました。
- 2期目は、これまでの過去4年間で培った様々な運営経験やノウハウを活かすことで、効率的な施設運営を行うとともに、さらに魅力的なコンテンツを展開し、スポーツ振興、地域貢献、周辺連携、文化発信、共生社会づくりなどに取組んでまいります。

【基本方針】 ※（ ）内は、関連する業務内容及び管理運営の基準：「第1 管理運営の基本方針 3 基本方針」の該当項目を記載。

① スポーツでのさらなる活用

1) 多摩のスポーツ拠点としてのさらなる活用

- 第1期中に多くのスポーツ団体と良好・密接な関係を構築することができました。特に日本バスケットボール協会や日本車いすバスケットボール連盟、日本バドミントン協会等は、来年度以降も継続して当施設での大会開催を希望しており、ジュニアウィンターカップ（バスケットボール）等のスポーツイベントの開催が既に内定しています。〈(1)質の高いスポーツ観戦機会等の提供 / (5)競技団体との連携〉
- また、近隣学校や企業の体育祭等のスポーツイベントを積極的に誘致していきます。これにより、週末の大型イベント時だけでなく、その合間の平日利用を促進し、施設及び人的資源を効率的に活用するとともに、地域の方に当施設を、スポーツを「する」「みる」「支える」場として親しんでいただくことができます。〈(2)スポーツ実践の場としての機能の発揮〉
- より多くの方がスポーツに親しみ、日頃から体を動かす楽しみや喜びを感じることができるよう、各利用者層のニーズに応じた魅力的なプログラムを展開し、利用を促進するとともに、ニュースポーツなど世代を超えて、誰もが気軽に楽しく参加できるスポーツのイベントを開催し、スポーツ実施率向上に寄与します。〈(3)スポーツを普及振興するための事業の実施〉

2) ラグビーワールドカップ2019・東京2020大会レガシーの継承

- 東京2020大会レガシー継承のため、むさプラが大会の舞台となったバドミントンや車いすバスケットボールを体験できるスポーツ振興事業（バドミントン教室、車いすバスケ体験イベントなど）を実施します。〈(3)スポーツを普及振興するための事業の実施〉
- イベントでは、サッカー、バドミントン、車いすバスケットボールなどの味スタ・むさプラ両施設の強みを生かしたスポーツや、ポッチャやブラインドサッカーなどのパラスポーツ体験、武蔵野の森オリピック・パラリンピックパーク全体を活用したウォーキングイベントを実現します。〈(3)スポーツを普及振興するための事業の実施〉

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

## 提案課題1〔管理運営の基本方針〕

- また、普段見られないスタジアム・アリーナの裏側を巡る味スタ・むさプラバックヤードツアーを開催し、テレビで見た東京2020大会を振り返る機会を提供します。〈(4)スポーツ情報の発信〉
- ウォーキングイベントとバックヤードツアーの出発点は、味スタと共同で開設予定の「味スタ・むさプラミュージアム(仮称)」です。このミュージアムでは、ラグビーワールドカップ2019や東京2020大会の関連グッズなどを展示し、その思い出と感動を後世にしっかりとつないでいきます。〈(4)スポーツ情報の発信〉

### 2 多様な活用による新たな体験の提供

#### 1) エンタメなど多様な利用の促進 〈(8)効果的かつ効率的な管理運営〉

- スポーツとエンタメの最適な編成計画＝ベストミックスで、「公益性と収益性の両立」を継続します。
- コンサートなどの集客イベントは、コロナ禍で大きな打撃を受けましたが、デジタル化が進展する時代だからこそ、人々は出演者との一体感を感じられるリアルイベントを求めています。そういった声に応えるため、当グループではイベントを専門的に扱う事業担当を設けており、主催者と一体となりイベントを準備・運営することで、さらに、当施設の持つポテンシャルを最大限に活用し、満足度の高い体験を来場者に提供します。
- 都心から遠方のイメージがある当施設の地理的ネガティブ性を払拭するため、誘致するコンテンツに独自性を持たせ、他の大型施設との差別化を図り、競合しない集客を目指します。
- この4年間で積み上げた開催実績を活かし、「世界からアーティストが集うアリーナ」として、K-POP等を誘致するとともに、アニメ、アイドル、ゲーム等のコンテンツを継続して誘致することがむさプラの優位性・独自性を確立することとなります。
- さらに、現在、都民に新たな体験を提供するべく、eスポーツを始めとする様々なコンテンツの誘致にも取り組んでいます。
- こうした地道な取組が各プロモーターから高い評価を頂き、来年度の優先予約申込では堅調に多数の事前予約を頂いています。特に、過年度の開催で好評を博した声優系イベントの利用希望も多く、アニメファンにとって、当施設は聖地となりつつあります。
- 当グループは、このような若者の支持を集めるコンテンツを武器とし、若年層の来場を獲得し、当施設の認知率と好感度を高めていくとともに、この機を逃がさずSNS等を通じて、来場した若年層にエンタメだけではなく、スポーツ施設としての当施設の魅力を効果的に発信することで、スポーツ参加を促し、スポーツ実施率の向上を働きかけていきます。
- 引き続き、味スタとの連携を強化し、利用者間の交流・回遊の促進や若手アーティストがその才能を最大限に発揮できる場の提供などにより、地域の賑わい創出に貢献していきます。

### 3 施設・地域との連携 ～地域貢献事業によって街づくりに貢献する施設

#### 1) 味スタとの連携 〈(12)味の素スタジアムとの連携〉

- 当施設の運営にあたり、隣接する味スタとの連携は、安全面・サービス面の両面から大きなメリットを有します。味スタとの一体運営により、両施設の状況を的確に把握し、必要な対策を迅速かつ総合的に講じることが可能です。
- また、サービス面においては、当施設での大型イベント開催時に不足する駐車場対策として、味スタ所有の駐車場を当施設の駐車場と同条件で提供したり、混雑回避や賑わい創出のため、味スタ側にキッチンカーを出店するなど、利便性の向上を図っています。
- また、これまで年1回だった大型共催イベントを、今後は年2回(春:「味の素スタジアム感謝デー」、秋:「東京2020大会周年行事(スポーツの日記念事業)」)に増やし、地域の賑わい・活性化とスポーツ意欲の向上に両施設合同で取り組みます。

#### 2) 地域と連携した文化発信の取組〈(7)地域貢献事業の実施/(8)効果的かつ効率的な管理運営〉

- 「2020年はスポーツだけじゃない！」都はこのスローガンのもと、文化の祭典でもある東京2020大会に向け、東京を文化の面から盛り上げ、芸術文化都市・東京の魅力を伝えるため、「スポーツと文化や教育との融合」に取り組んできました。2期目は、スポーツだけではなく文化の発信にも力を入れていきます。

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

## 提案課題1〔管理運営の基本方針〕

- 具体的には、近隣大学と提携し、施設内にスポーツを題材としたアート作品の展示や味スタとの共催イベントのステージで歌やダンス等を発表する場を設けることにより、若手アーティストの活躍の場を提供します。
- さらに、近隣美術系大学の学生をリーダーとし、季節を感じる大型アート作品を参加者とともに作り上げ、施設内に展示するプロジェクトを立ち上げ、当施設を中心とした文化発信の花を地域の皆様と共に咲かせていきます。

### 3) ダイバーシティを体現し、理解促進を超えた共生社会の実現に寄与

- 1期でのダイバーシティプロジェクトの経験を活かし、2期目はあらゆる施策でダイバーシティの体現化を目指します。そして、理解促進を超えさらに一歩進んだ共生社会の実現・発信につなげます。〈(7)地域貢献事業の実施〉
- 近隣に開設予定のパラトレセンとの連携のもと、障がい者対応スキルの向上に向けた指導者研修を実施し、さらなる障がい者の利用促進と利用満足度向上に取り組めます。〈(2)スポーツ実践の場としての機能の発揮〉
- スポーツを楽しみたいにもかかわらず、障がいのため一歩を踏み出せない方には、地元自治体や障がい者支援団体等と協力し、施設体験会を実施するなどにより、来館までのハードルを下げ、安心して施設を利用いただけるようにします。〈(3)スポーツを普及振興するための事業の実施〉
- 様々なステークホルダーとの事業協力・連携により、まぜこぜサッカーや車いすバスケットボールなど、障がいの有無を超えて共にスポーツを楽しめる機会を提供します。〈(3)スポーツを普及振興するための事業の実施〉
- 女性特有の悩みを取り扱うイベントを開催し、女性自身また女性アスリートと関わる指導者が女性の周期等を理解して、もっと自分らしく競技と向き合える環境形成をサポートし、女性活躍の機会を応援します。
- 近隣美術大学との連携を予定しているアート発信施策においても、障がいをお持ちの方や小さな子どもでも楽しめるよう工夫を凝らします。〈(7)地域貢献事業の実施〉
- 自動販売機設置業者と連携し、ユニバーサルデザイン機種への置き換えを進めるとともに、現在行っている地元福祉協議会に対する自動販売機の売上寄付の台数を増やし、地域の福祉に貢献します。〈(7)地域貢献事業の実施〉
- 日本語を話さない来館者への対応として、施設の受付に外国語対応マニュアルやポケット翻訳機を常備し、活用します。また、館内放送で東京2020大会の情報発信のレガシーである多言語放送システムなど、様々な技術を活用することで、言語の障壁を感じずに気持ちよく施設を利用いただけるよう、努力していきます。〈(8)効果的かつ効率的な管理運営〉
- その他、ホームページやチラシ等の発信媒体では、「やさしい日本語」も使い、外国人・子ども・障がい者など、どなたにも理解しやすいよう工夫します。また、近隣大学と連携し、「やさしい日本語」講座を開き、普及に取り組めます。〈(7)地域貢献事業の実施〉

## 4 その他の取組

### 1) 利用者ニーズの把握と社会情勢に合わせた柔軟な運営

- 利用者ニーズを迅速かつ的確に把握し、事業運営に迅速に反映させるために、年1回の利用者満足度調査に追加し、2期目はモニターアンケート調査も実施します。調査結果に基づく改善は一度では終わらせず、その後もPDCA分析を活用し、継続することで、より質の高いサービスの提供を実現します。〈(11)自己評価手法の確立とPDCAサイクルの実行〉
- 新型コロナウイルス感染症の流行は、施設閉館や外出自粛による利用控えなど、むさプラの運営にも甚大な影響を及ぼしましたが、利用再開後は、施設利用時の体調チェックや共用部の清掃、消毒剤等の設置など、グループ丸となり感染防止対策を徹底したことで、利用者の皆様に安心してご利用いただける環境を整備することができました。引き続き、「withコロナ時代」を前提に、不特定多数の方が利用される施設として、感染症等の拡大が起きないように、高い危機感を持ちながら対策を講じていきます。〈(9)安全の確保〉
- 昨今の気候危機への対応だけでなく、中長期的なエネルギーの安定確保に取り組むために、HTT施策(電力を減らす・創る・蓄める)に積極的に取り組み、よりサステナブルな施設運営を推進します。また、最新エネルギー技術を積極的に取り入れ、省エネと環境配慮を実現している当施設の特性を活かし、地元の教育委員会等と連携し、小中学生の環境学習ツアーを実施するなど、地域住民の環境意識の向上に貢献します。

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

# 提案課題1〔管理運営の基本方針〕

## 2) 行政施策との連携や協力

- 今後、指定管理期間中に招致・開催される2025年世界陸上やデフリンピックなどの国際スポーツ大会について、都や関係団体と連携し、開催への機運醸成に貢献いたします。また、大会関係者とも連携し、大会の盛り上げに向けたイベントや大会スポンサーとの連携企画、スポーツボランティアの育成等、都の施策をより効果的に実現する事業の展開を図ります。〈〈6)東京都の施策との連携・協力〉〉
- DX推進に向けて、これまで進めてきた3つのレス(ペーパーレス、はんこレス、キャッシュレス)に、新型コロナウイルス感染症との闘いの中で明らかになった2つの課題(FAXレス、タッチレス)も加え、施設として「5つのレスの徹底」に向けて取組を強化・加速します。紙やはんこをベースにしたアナログ環境から、オンラインをベースにしたデジタル環境へと転換し、施設のDX化推進につなげます。取組を一斉に進めることで、デジタルガバメントの一翼を担い、都政のQOS向上、都民のQOL向上につなげていきます。〈〈6)東京都の施策との連携・協力〉〉
- 加えて、都が推進する各種施策と積極的に連携・協力し、都と一丸になった施設を運営し、公の施設としての役割を果たします。〈〈10)都立体育施設としての役割〉〉

### 【当施設に求められる管理運営の基本方針に基づき施策を確実に実行】

- 1期の運営ノウハウをさらに発展させ、当施設の特性である、世界大会、全国大会、全都大会等大規模大会の場としての機能を重視しつつ、「スポーツとエンタメのベストミックス」を実践します。

基本方針	当グループが実現する内容・特記事項
1) 質の高いスポーツ観戦機会等の提供	世界的な大会、全都的な大会を開催する場としての役割を果たし、憧れの選手を観戦できる場を提供します。
2) スポーツ実践の場としての機能の発揮	1期目の実績を活かし、多摩地区のスポーツ拠点としての地位を確立。それぞれの事業をさらに進化させ、あらゆる人々が幅広く対応できるスポーツ施設を目指します。
3) スポーツを普及振興するための事業の実施	する:スポーツ振興・地域貢献・自主事業等の多彩なプログラム提供、みる:憧れのスポーツ選手を見て、当該競技を始めるきっかけづくり、支える:ボランティアやパラトレセンとの連携でスポーツ環境を支える体制を構築など
4) スポーツ情報の発信	ホームページやSNS、2大大会レガシーを展示する「味スタ・むさプラミュージアム(仮・開設予定)」を活用し、スポーツ情報を強力に発信します。
5) 競技団体との連携	競技団体と連携し、大会誘致やスポーツ体験など、幅広くスポーツに触れる機会を提供します。
6) 東京都の施策との連携・協力	5つのレスやHTT、業務DX化など東京都の掲げる目標に積極的に取り組むとともに、都の施策実施に協力します。
7) 地域貢献事業の実施	近隣大学等と連携し、文化発信等に取り組み、「スポーツと文化や教育との融合」と共生社会の実現に取り組みます。
8) 効果的かつ効率的な管理運営	味スタやパラトレセンと連携し、三位一体の運営で一層の効率的な管理運営を実現し、当グループの独自ノウハウである「スポーツとエンタメのベストミックス」、「公益性と収益性の両立」にさらに取り組めます。
9) 安全の確保	感染症対策はもとより、安心・安全・快適な施設運営を推進し、ダイバーシティ研修や安全講習、上級救命資格の取得者増により万全の安全施策を講じます。
10) 都立体育スポーツ施設としての役割	公平性・公共性・平等性を担保した施設利用受付承認を継続するとともに、他施設や地域とより密接に連携した事業実施により、社会や地域に貢献します。
11) 自己評価手法の確立とPDCAサイクルの実行	利用者満足度調査やモニタリング・アンケート調査により利用者ニーズを把握。PDCAサイクルを回し、より良い施設運営に努めます。
12) 味スタとの連携	当グループは、1期目に確立した味スタとの連携、共通維持管理による効率化や地域住民との友好関係の維持を2期目も継続します。

事業者名・団体名	東京スタジアムグループ
----------	-------------

(1)施設提供の実施方針

当施設が都民の健康増進を目的として設立された公の施設であるという役割を十分に認識し、施設提供にあたっては、公正な取扱いや他の体育・スポーツ施設、まちづくりの動きなどと連携を行いながら、さらに地域や社会に対して貢献する施設を目指します。



- ①スポーツ・エンタメが共存し、収益性と公益性が両立する施設提供を継続
- ②味スタやパラトレセンとの三位一体運営のメリットを活かした効果的かつ効率的な運営
- ③味スタとのイベント同時開催時に効率的な運営と地域住民の理解を得る対策の継続
- ④ダイバーシティに関する研修を通じ、日々の業務における実践の推進
- ⑤多様な利用者ニーズに応える、個人使用施設提供の継続

ア 施設を提供する際の実施方針

専用使用(メインアリーナ、サブアリーナ)

【大会・イベント誘致の基本方針】

■東京2020大会のレガシーを活用し、大型スポーツ大会誘致・開催に積極的に取り組む

- 東京2020大会を通じて培ったノウハウやレガシーをさらに活用し、大型スポーツ大会の誘致に取り組みます。また、パラスポーツ団体も利用しやすいよう配慮するとともに、インクルーシブを目指して、障がい者と健常者がともに活躍できる施設運営に取り組みます。

- 1) 全日本総合バドミントン選手権大会をはじめとする大型イベントの誘致と競技環境の整備
- 2) パラトレセンや多摩障害者スポーツセンターと連携したパラスポーツ大会の誘致と地域のパラスポーツ振興

■1期目の確実な運営実績を活かし、商業スポーツイベントやコンサート等の利用をさらに促進

- 需要が高い土日祝日については、原則としてスポーツでの利用を重視するものの、収益性確保のため、1期目の運営実績で培ってきたプロモーターや様々な主催者とのネットワークを活用し、商業スポーツイベントやコンサート等を積極的に誘致します。

■1期で築いたネットワークを活用し、地域のスポーツイベント等を開催

- 平日については、1期目及び20年以上にわたる味スタ運営により培った、地元自治体や学校、地元3市の体育協会、スポーツ団体等とのネットワークを活かし、都民のあらゆる人々が参加できるアマチュアスポーツの大会イベントや体育祭等を誘致し、地域のスポーツ振興に取り組めます。
- 当グループは味スタでのスポーツイベントとむさプラでの商業イベントとの同時開催により地域の賑わいづくりに貢献してきました。そのノウハウを活かし、当施設を中心とした魅力的なイベントをプロモーターや主催者に提案していきます。

【競技大会・イベント等の開催サポート】

■地元ネットワークを活かした効果的な主催者サポートの実施

- 地元自治体や警察、消防、地元鉄道グループ等との強固な関係を活かし、大会主催者の申請業務・調整業務が円滑になるようサポートします。
- イベント等の開催にあたっては、円滑な運営が出来るよう、味スタと連携して対応しています。

■一体管理することで来場者のアクセスを強化し利便性を提供

- 味スタを含めたエリア全体のイベント規模、混雑時間帯及び、利用者の動向を把握し、公共交通機関との調整を行います。
- 地元鉄道会社連携して、開催規模に応じて飛田給駅への臨時停車を手配するなど、臨時ダイヤの運行協力や駅員の臨時常駐等の協力体制も継続することで、混雑緩和の対策も強化します。

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ



■味スタと連携した駐車場の効率的な運用

- 味スタが管理する駐車場を当施設のイベント主催者へ案内する等、限られた駐車場容量を補完し、利用者の満足度を高めます。

■VIPの来場時の対応や、主催者等による会場の事前視察も実績を活かし確実にサポート

- VIP(皇室や政府関係者・各国大使等)の来場対応については、実績をもとに主催者に対して動線計画や対応方法についてアドバイスを行うほか、東京都、主催者、各関係機関と連携を図り、的確なサポートを行います。
- 大規模な国際スポーツ大会を始め、イベント主催者やメディア等による事前チェックに際しても、1期目で得たノウハウを活かし、効果的な活用方法を提案するなど、主催者に最大限の協力を行います。

■味スタとともにエリア一体となって競技大会・イベント等の盛り上げをサポート

- 競技大会やイベント等が盛大に開催されるよう、一般通行者への安全確保を行いながら、ペDESTリアンデッキ等を含めたエリア帯の活用方法を主催者に提案し、盛り上げをサポートするとともに、イベント開催による地域の賑わいづくりにも貢献します。

個人使用(プール、トレーニングルーム)

■指定管理実績の豊富な専門事業者によるサービス提供の実施

- プール及びトレーニングルームは、指定管理の運営実績を多数有し、その多くで利用者を大幅に増加させてきた実績をもつ構成企業Dが運営を行い、多様なニーズに応える質の高いサービスを提供します。

■様々な都民の多様なニーズに対応した取組を実施

- 都民の世代や年齢、レベルにきめ細かく対応し、プールのコース設定や、様々な教室プログラムを実施します。
- 住宅地である多摩地域の特性を踏まえ、曜日や時間帯等も考慮し、参加率を高め継続的な利用を促進する、きめ細かなサービス提供に取り組めます。
- 特に、障がい者の参加を促すために、パラトレセンや多摩障害者スポーツセンター、近隣の福祉施設とのネットワークを活用し、障がい者のスポーツニーズを反映した利用促進を図ります。

全体

■味スタとの一体運営により、災害時等の緊急時にも万全の体制で対応

- 有事の際の情報共有、応援要員の派遣など、味スタと連絡を密に取っており迅速に現場対応をしています。また、味スタと合同消防訓練を実施(2021(令和3))年のみ東京2020大会に伴い、別開催)し、避難時の連携訓練を行っています。
- 消防計画において、AGFフィールド(西競技場)を一時避難場所として想定し連携を行っています。
- 味スタとの一体運営を行わず、当施設で独自に一時避難場所を確保した場合、円滑な対応が難しいと判断します。従って、利用者の安全を十分に満たすには、味スタと一体となった避難計画を検討し、避難路確保や情報共有等、リスクマネジメントを行うことが必要であり、それを一体管理によって実現します。
- 障がい者の利用を想定し、潜在リスクの洗い出しによるマニュアル整備の徹底や、定期的な特別訓練を実施し、万全の体制を確保します。



■1期のダイバーシティプロジェクトを継続、障がい者の一層の利用促進と満足度向上に傾注

- 当施設の管理運営に関わる全ての業務において、ダイバーシティの視点で全スタッフでの研修・訓練の徹底や、施設・設備や物品等の環境づくり等に配慮し、障がい者の利用促進と多様な人々との交流に取り組めます。

事業者名・団体名	東京スタジアムグループ
----------	-------------

- 障がい者の雇用率については、グループ全体で積極的に取り組んでいます。特に、清掃部門では、右表の通り、障がい者雇用を段階的に増加させております。
- イベント等の駐車場混雑時には、障がい者手帳を持っている車を優先して駐車できるよう、管理部門・警備部門が連携して対応しています。
- また、ダイバーシティへの理解促進のため、研修( )を通じて障がい者の方が補助を必要とする場面や声掛けの方法などを学び、視覚障がい者への声掛け、腕を引いての案内や、車いす使用者への上りスロープでの補助など、当施設を利用される障がい者の方へ必要な補助や介助を行き届かせられるようにしています。

【障がい者雇用率(当グループの清掃部門)の推移】

--

(2) 休館日及び開場時間

利用者からの施設の利用時間延長の希望にも柔軟に対応し、使用ニーズに的確に応えた休館日及び開場時間の設定を継続します。



- ①多摩地域の立地特性(=住宅地)を踏まえた休館日と開場時間の設定
- ②年末年始等、利用者ニーズに合致した開館時間の設定、貸館施設時間延長にも柔軟対応

ア 施設全体の休館日及び開場時間の設定についての考え方

【休館日】

■利用者ニーズに応じた休館日の設定(継続)

- 東京都体育施設条例施行規則では、原則として毎月第3月曜日(休日の場合にはその翌日)が休館日と規定されています。休館日は都の事前協議を得た上で決定しますが、当グループは学校の振替休日に当たる「月曜日」は、子供世代の利用が見込まれると想定。代替案として「毎月第3水曜日」(休日の場合にはその翌日)を休館日として提案しました。2期目も同案を継続します。
- 休館日スケジュールについては、専用使用施設で実施される大会・イベントも使用希望等を総合的に勘案し、都と事前協議の上、確定します。
- メンテナンス休館をできる限り少なくする方針も継続します。点検は、休館日のみ可能なものと休館日以外でも可能なものに仕分けし、日数を必要とするエアハンドリングユニットの点検や空調機のフィルター交換等については夜間等で実施するなど、効率的な点検作業を行うことで、点検のための休館を減らします。

〈休館日の設定〉

全館 休館	定期 休館日	毎月第3水曜日 (休日の場合にはその翌日)を原則とし、優先使用などの状況により設定	
	年未 年始	12月28日～1月3日 ※専用使用施設については、利用団体の要望に基づき、年末年始の開催にも柔軟に対応	
	メンテ ナンス 休館日	年1回	電気設備点検
一部 休館		年1回	プール全換水・点検

【開場時間】

■専用使用施設では、時間外及び年末年始の利用にも柔軟に対応(継続)

- イベントへの貸出は、基本的には午前9時～午後9時の設定ですが、現在でもイベント利用者の要望に合わせて、労働基準法を遵守した上で、早朝・深夜の利用時間帯を含めた延長に応じるなど、柔軟な対応を心がけており、2期目も利用者のニーズに即応した体制を継続します。

■地域特性に応じた個人使用施設の時間設定(継続)

- 多摩地域は住宅地という特性が強いため、勤労世帯や子育て世代が利用しやすいよう、夜間・早朝ニーズにも応える開場時間を設定してきました。
- なお、イベント開催時には、利用集中など地域への影響に配慮し、近隣飲食店、自治会等に事前告知をしています。

〈開場時間の設定〉

専用使用 施設	午前9時～午後9時 ※利用団体の要望により、延長にも柔軟に対応
個人使用 施設	平日・土曜 午前9時～午後10時30分(最終入場10時) 日曜・祝日 午前9時～午後9時30分(最終入場9時) ※退館時間を30分で設定し、ゆとりある利用に対応 郊外立地・住宅地であることから上記に設定

(3)利用の調整

**公平性・公共性・平等性を担保した施設の使用受付・承認を継続します。**

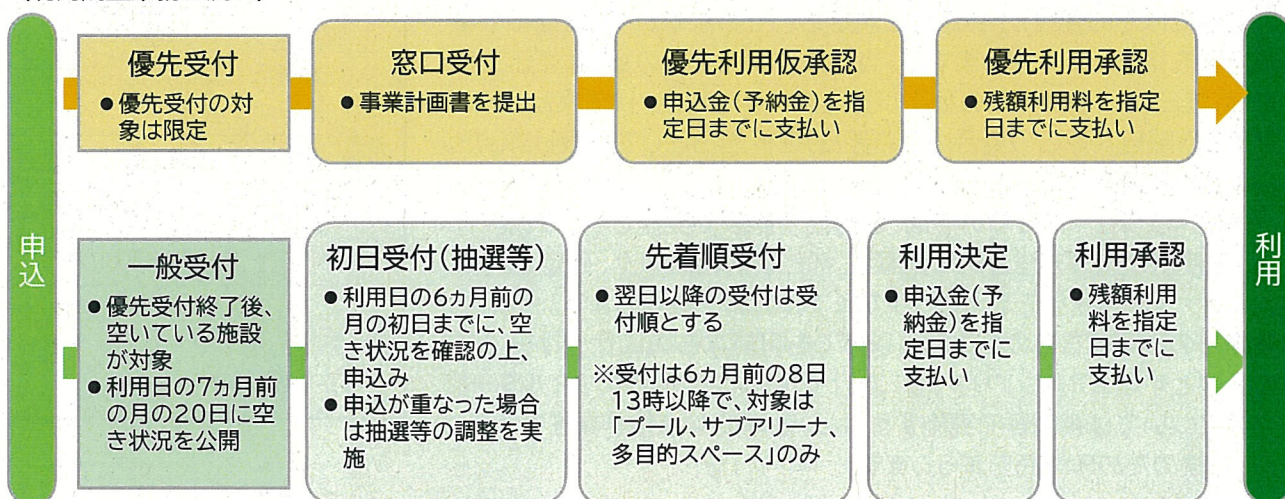


- ①優先受付、一般受付の基準を遵守し、予約の公平性と平等性を遵守
- ②競技大会等の予約重複時にも蓄積したノウハウで信頼の対応

ア 当施設の利用調整業務の流れ(使用申請から利用の受付、使用承認の決定まで)

- 公の施設として公平性・公共性・平等性と共に、施設運営の効率性も加味しながら必要な調整をします。また、利用調整の運用は、管理基準「第2 業務の基準2-2 (4)利用の受付」を踏まえて行います。
- 下記の流れで「優先受付」及び「一般受付」に分け、以下の規定で利用承認を継続します。

〈利用調整業務の流れ〉



【平日の稼働率向上を果たす活動の継続】

- 特に、大規模イベントは土日祝日に実施されることから、土日祝日と平日利用に繁閑差が生じます。そこで1期目には、学校や企業の体育祭などを積極的に誘致し、平日の利用を確保することで、施設稼働率の向上を図るとともに、地域のスポーツ振興の場としての役割を果たしました。この活動を2期目も継続します。

イ 競技大会等の予約が重複した場合の利用の調整方法の考え方

- 優先利用受付は、より規模が大きく、来場者数が多いイベントを優先して、利用を決定いたします。スポーツ大会・イベント主催者、既存プロモーター等とのネットワークや他の都立施設との情報交換など、1期目で培った信頼関係をもとに、きめ細かな利用調整を実施します。
- 予約が重複した場合は、希望団体へヒアリングを実施。代替日程の提案や会議室等の利用調整を行うことで、より多くの団体が施設を利用できるよう調整するとともに、申込み団体に納得してご利用いただいています。
- 貸出可能枠を大きく上回る申込みに対しては、都や各施設の指定管理者と連携し調整を図ってきました。その連携ノウハウの蓄積を2期目も活かしていきます。
- 大規模イベントの予約にあたっては、味スタをはじめとする隣接スポーツ施設とも綿密にスケジュールを調整。多数の来場者が訪れるイベントにおいても、過去のイベント来場者数を参考に導線計画等を立てることで、安全かつ効果的に開催できるよう調整いたします。

(4)利用料金









(1) プール運営業務

指定管理者として1期目の運営と利用者数の増加を先導してきたノウハウ・実績を活かし、引き続き都民ニーズを先取りしたサービス提供で安全・安心・快適かつ衛生的な施設を運営



- ①再調査した人口動態をもとに、世代・目的等に応じて利用しやすいプログラムを提供
- ②構成企業Dの100か所以上の公共施設等運営実績のノウハウで、事故なく快適な運営を継続
- ③1期に作成した独自の障がい者対応マニュアルの活用と全スタッフへの訓練・研修を通じて、充実した対応を提供し、障がい者の利用を促進

ア 安全かつ快適で衛生的な施設を提供するために必要な運営業務の内容

【業務実施方針】

指定管理1期目の振り返り

「安全・衛生管理を徹底し、利用者ニーズに対応する質の高いサービスの提供」で、1期目に約束した項目の実施状況は以下の通りです。

1期目の約束項目	結果及び実績
安全・安心こそ最大のサービス	・4年間に渡り、重大事故0を実現、引き続き「安全研修」(12回/年実施)などの実務研修を継続し、「ダイバーシティ研修」も継続して行うなど、障がい者対応もスムーズにできるよう職員指導を強化し、「安全・安心なプール」として運営を継続。
それぞれの目的や運動能力に応じ、子供、高齢者、障がい者等、幅広い層の利用の棲み分けが実現	・構成企業Dの長年に渡るスイミングスクールのノウハウから、年代別の指導マニュアルが確立できているため、幅広い層の需要に対し、適切なサービスを供給してきた。 ・指導コーチの中には(公財)日本オリンピック委員会から強化スタッフ(コーチング)を委託されたコーチが在籍するなど、オリンピック同様のコーチングを受けられる環境を引き続き提供可能。
多摩地区で最大級の利用者年間20万人の来場	・来場実績は、22.6万人(平成30年度)で、2期目は25万人/年の利用者数を目指す

■ 障がい者利用リピート率の高い施設として存在感(比率4.4%)

- 開業からの累計総入場者数572,917名の内、障がい者入場者数(介添人・団体障がい者除く)は25,619名(障がい者割引を適用した利用者数)であり、全体の4.4%に及んでいます。また、約10団体の障がい者チームが定期利用しています。(※2022(令和4)年7月末時点)
- 引き続き、スタッフ全員が車いす利用者や身体の不自由な方おひとりづつに対応できるノウハウ・接客法を身につけ、さらにきめの細かい対応を行うことで、障がい者の利用率を5%以上に高めることも目標とします。
- また、パラトレセンとの連携で、新たなノウハウも習得できるよう精進します。

指定管理2期目に目指すこと

2期目の新たな約束	内容及び目標
人口動態に合わせたプログラム編成や接客等の運営経験を活かして、安全で高質なサービスを提供	・直近の人口動態をプログラムに反映するために、再度周辺市場動向調査を行い、ニーズに合ったプログラムや教室の組成を実施。
パラトレセンとともに三位一体で連携・運営することで、障がい者のスポーツの環境向上	・ダイバーシティ研修を継続受講し、パラトレセン利用者のプール受入準備を行う。 ・全スタッフへの障がい者対応に関する研修・訓練を徹底するとともに、プールスタッフは、初級障がい者スポーツ指導員の資格を取得する。
多摩障害者スポーツセンターや地域の福祉施設等とのネットワークを活かし、障がい者の利用も促進	・気軽に参加できるパラスポーツのイベント等の情報を共有し、相互に発信。
新たな目標	・スイミングスクールについては、高い利用ニーズがあることから自主事業枠の拡大とともに実施枠の増加に向けた検討と準備をすすめる。 ・競技力向上を目的とした方々のために年に1回、タッチ盤やスタート台を設置した練習会を開催し、水泳競技会本番さながらの練習環境を提供。 ・質の高いスクールを展開したことで、令和4年度ジュニアオリンピック選手を3名輩出。令和5年度以降も5名以上の選手輩出を目標に設定する。

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

【業務内容】

プールコースの運用方法

50mプール	<p><b>上級者ニーズに応えるため毎週、日・月曜日は50mコースのみに設定する運用を継続</b></p> <p>・50mプールは都内でも希少性が高く、現在は、健康志向の高齢者が多数利用されている。2期でも、日・月は競技志向の方にも多数利用いただけるよう、50mコース(下段右側のコース設定)とします。またタッチ板やスタート台を設置し、スタートやターンの練習が可能な日も設定します。</p>
25mプール	<p><b>日・月以外は、25mで利用方法に応じたコース設定により、引き続き、幅広いニーズに対応</b></p> <p>・フリーゾーンは、曜日に応じて、内容の異なるプログラムを実施し、健康増進の継続性を促します。</p>

〈25m運営時〉



〈50m運営時〉



安全管理への取組・体制

■監視業務：利用者の安全管理を徹底した、監視・救助体制の構築

- プール管理運営の基準に示された業務従事者7ポイント(統括責任者1ポイントを含む)を遵守します。なお、利用者の多い時間帯においてはポイントでの対応を継続します。
- 構成企業Dが1期目で培ってきたプール運営管理ノウハウを継続することで、事故防止を徹底します。また、万一の事故発生に備えて、当施設用に策定した「プール管理運営マニュアル」を一掃充実させ、安全・安心なプールを提供します。

【有資格者による監視体制と有資格者の配置】

- ・ 監視計画の策定では、上記ポイントを踏まえた体制により、安全・安心・快適に利用できる環境とします。
- ・ 総括責任者及び監視業務に携わる運営スタッフが保有する資格は以下のとおりです。

○総括責任者が保有する資格

- ・公益財団法人日本体育施設協会の水泳指導管理士
- ・公益財団法人日本体育協会の公認上級水泳指導員又は公認水泳指導員
- ・日本赤十字社の水上安全法救助員、かつ、通算5年以上のプール監視員業務歴を有する者を配置

○監視業務従事者が保有する資格

- ・公益財団法人日本水泳連盟の基礎水泳指導員
- ・文部科学大臣認定の水泳教師、水泳コーチ、水泳指導員
- ・日本赤十字社の水上安全法救助員(指導員)
- ・日本ライフセービング協会のウォーター・ライフセーバー
- ・特定非営利活動法人日本災害救護推進協議会A級ライフガード

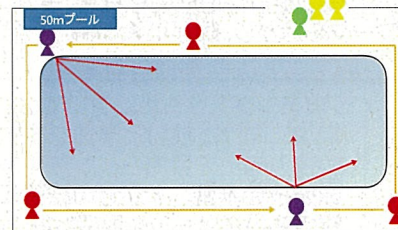
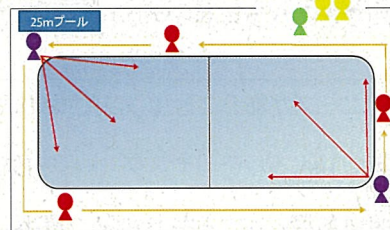
※監視業務従事者は、CPR(心肺蘇生法)ができ、常時監視人員の半数以上を上記の有資格者とします。また救助に当たるすべての監視員は同等の能力を有し、500m以上の泳力者で健康な者とします。また、資格を保持していない監視員は上記資格取得を速やかに取得させます。

※監視員のうち1名以上は、「障がい者スポーツ指導者養成講習会」又は「障がい者スポーツ指導者養成研修会」等の受講者を常時配置します。「救急救命講習会」を受講し、「心肺蘇生法」の技術習得者とします。同資格は、ジム・プール配属スタッフ全員が受講するものとします。

【監視業務の実施】(安全性を担保するために遵守)

- ・ プール監視は、C(コントロール)、P(パトロール)、T(タワー)、R(レスト)、F(ファーストエイド)各役割に応じクロスチェックできる体制を敷き、死角を無くすることで、下図の安全体制を確保・継続します。
- ・ 現在、看護業務従事者は東京消防庁の上級救命技能の有資格者を常時 名配置しています。
- ・ 監視業務は、水泳者に対する監視と周囲の状況変化に対する監視の両面を対象とし、周囲の状況変化について利用者への挨拶や声かけを行うことで利用者の体調管理の把握も同時に行っています。

〈監視員配置〉



C 総合指令 看護員・待機員      P 現場指令  
T 監視台      F 巡回監視

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

〔プールの安全管理研修の実施〕

- 事故発生時には「迅速な行動と正確な判断」が大切です。事故を想定した救助・連携・連絡訓練・障がい者の利用も想定した訓練を休館日に定期実施しており、令和3年度は安全管理研修を12回実施いたしました。

項目	継続して実施する内容
研修訓練内容と目的意識の共有	・責任者以外には非通知で行う、実際に近い訓練を実施
溺者の搬送訓練	・二次災害を防止するため、溺者の搬送方法の訓練を実施
引き上げ訓練	・意識がなくなっている場合を想定し、引き上げの訓練を実施
心肺蘇生方法の訓練	・救急隊員が来るまでの間の救急措置を訓練 ・プール安全管理研修のほか、警備業講習等、監視に必要な様々な研修を実施
障がい者利用を想定した訓練	・車いすや担架を使用した訓練を実施

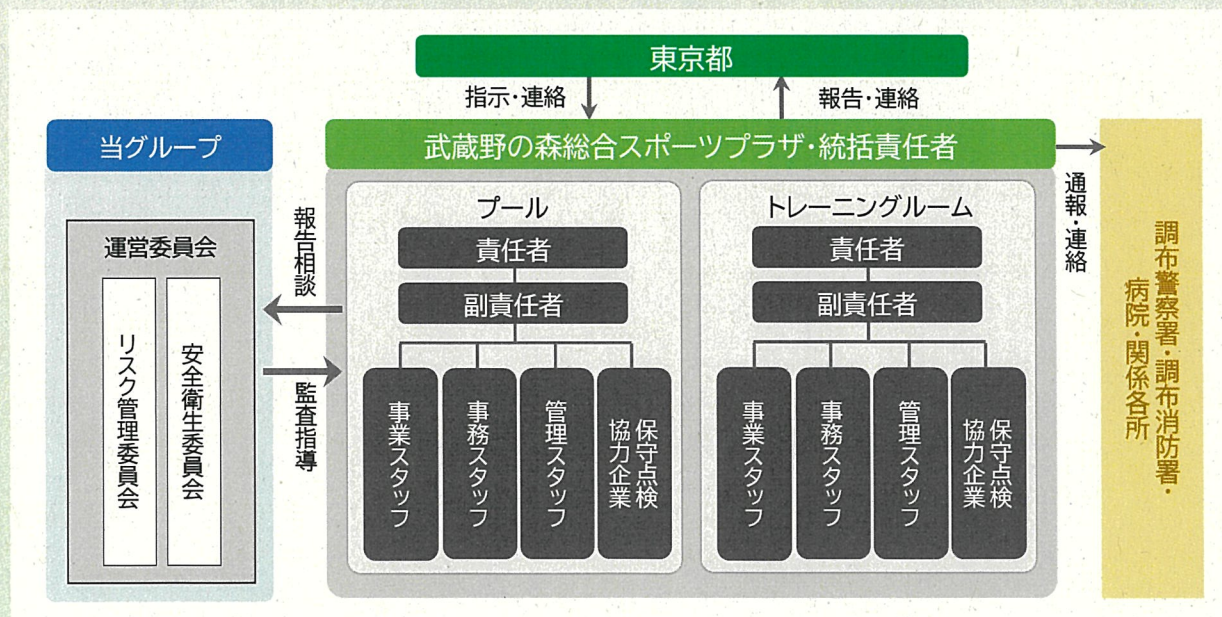


■ 看護業務：有資格者を配置し、応急手当から救急時まで対応

- 東京消防庁上級救命技能の資格を持つスタッフを引き続き常時 名以上配置し、応急手当、応急処置、救急車の手配、自宅への連絡等を継続して行っています。

〔構成企業Dによる安全管理の徹底〕

- 「安全・安心こそ最大のサービス」という基本方針に基づき「安全理念・安全基本方針」を当施設内において1期中に制定・施行しています。
- 2期では、事故等を可能な限り未然に防ぐとともに、万一事故や災害が発生した場合にも被害を最小限にできるよう、策定済みの「危機管理マニュアル」と構成企業D本社及び各事業所のノウハウの集合知で統合させ、本社のバックアップを含む徹底した危機管理体制による安全管理を継続します。



事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

清掃・水質保全・衛生管理への取組

■徹底清掃と巡回により、常に衛生的な環境整備を継続実施

- 利用者満足度調査において、施設の「清掃状態(清潔さ)」に対して、利用者から際立って高い評価を得ており、引き続き高評価に甘えることなく衛生的な環境整備に取り組みます。
- 監視員が常にプール内及びプールサイドの衛生環境を保ち、始業前・後にもスタッフが徹底した清掃を行います。加えて、20～30分に1回は更衣室等の付帯施設についても巡回し、衛生状態のチェックを実施することで、清潔かつ快適な環境を維持できるようにします。

■水質基準を適正に維持し、衛生管理の行き届いたプール環境を堅持

- プール熱や手足口病、水いぼ、はやり目(流行性角結膜炎)、あたまじらみ、水虫等の感染や、レジオネラ菌の感染事故等が起きないように、1期目は下記の衛生管理・安全管理に細心の注意を払いました。
- 当プールに適合した「水質等環境測定業務マニュアル」を現場にあわせたマニュアルとして毎年更新するなどさらに充実するとともに、本業務に携わる全ての職員に水質に関する訓練・研修を実施し、環境測定、保管の際の注意点等の教育とマニュアルの周知徹底を行っています。

■温水プールの水質管理

〔温水プールの水質管理〕

- 厚生労働省が定めた「遊泳用プールの水質基準」に準拠し、業務区分を設備技術員が行う内容とプール監視員が行う内容に二分し、連携して水質管理を行っています。
- プールろ過設備は、メーカー指導の下で作成されたマニュアルに基づき、日常巡回等で異常の有無を確認してきました。また、年2回の定期点検を行うことで異常の早期発見に努め、異常があった際には迅速に対処してきました。
- 水質基準で定められて基準値を維持するために、外部水質検査機関で月1回の水質検査確認を行います。

〈水質チェック表〉

〔温水プールの薬品等の保管〕

- プールの薬剤は、次亜塩素酸ナトリウム水溶液を使用しており、他の薬剤と交わらないよう管理を徹底しています。また、その取扱いについては、安全データシートに基づき慎重に取り扱いを行っています。

(2)トレーニングルーム運営業務

引き続き「誰もが楽しめる」トレーニングスペースを継続し、スポーツ実施率向上に寄与し、「スポーツ都市東京」の実現に貢献するエリアとします。



- ①あらゆる利用者が快適にトレーニングできるスペースの提供を継続
- ②「安全・安心こそ最大のサービス」という方針に基づき、徹底した安全管理方策の継続

ア 安全かつ快適で衛生的な施設を提供するために必要な運営業務の内容

【業務実施方針】 20行政100か所以上の公共施設等運営実績を有する構成企業Dの徹底した安全管理の下、質の高いサービスを展開することで、都民の多様な目的、ニーズに的確に対応していきます。

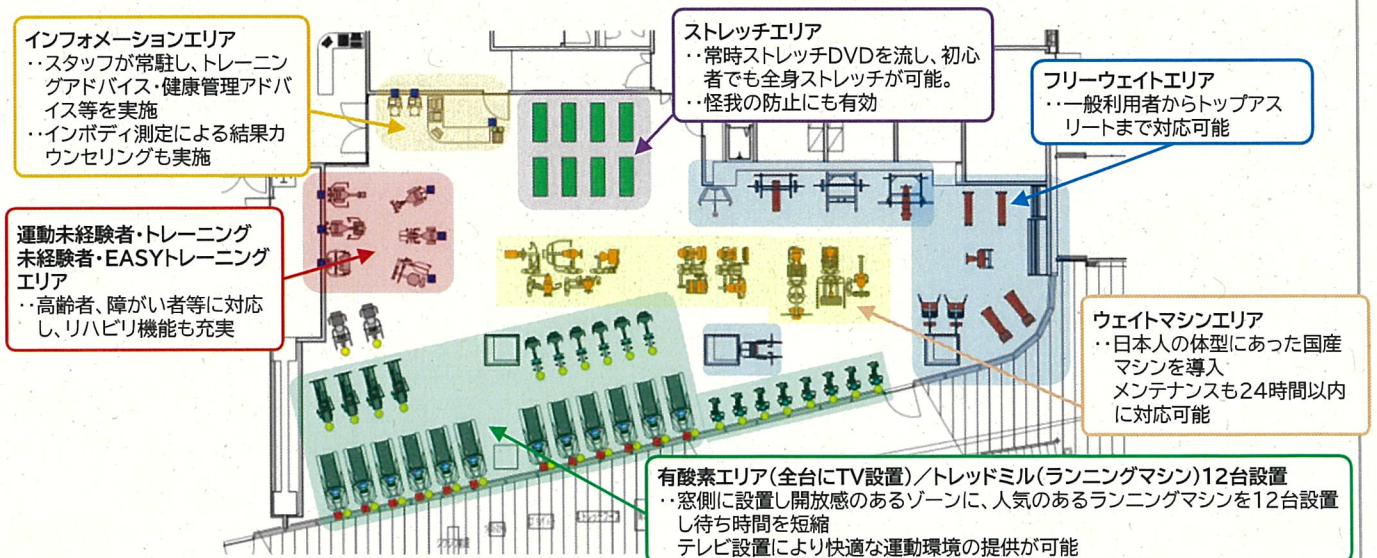
【利用者の安全管理を最優先した管理体制】

■経験豊富な運営従事者の安定配置の継続

- 総括責任者には、保健体育の教員普通免許またはトレーニング関係の公的資格を有し、トレーナー業務を5年以上経験している人材を配置し、利用者には円滑かつ安全管理万全の体制となっています。
- トレーナーは、業務従事者の資格要件を充足し、誠実かつ真摯に業務を遂行する人材を配置し、プール運営スタッフと同様に「障がい者スポーツ指導者養成講習会」の受講を義務づけます。
- 通常のトレーニング知識だけに限らず、効果的な栄養摂取方法の指導やリハビリに役立つ筋肉トレーニングメニュー等、体力相談ができ、利用者を満足させることができる人材を配置します。

■1期で好評だった全利用者が快適に利用できるマシン等のゾーニング

- 1期目は、ゆとりをもってトレーニングマシンを配置、利用者の快適性を追求することができました。
- 全体を3エリア、有酸素運動エリア、筋力トレーニングエリア、ストレッチエリアの3区分とし、初心者にも障がい者にも、わかりやすく利用しやすいトレーニングルームとし、2期目もこの配置を継続します。
- 運営配置基準に基づき、4人(繁忙時間帯には5人以上)を配置、安全な利用環境を継続します。
- 1期目には、トレーナーがルーム内を巡回する際に、汗で湿っている機器や床面の拭きとりなど、事故の未然防止する等、利用者の安全管理に努めてきました。また利用者への積極的な声掛けや励まし等のコミュニケーションを頻繁に行ってきました。これにより、利用者ニーズを正確・迅速に把握でき、利用者が楽しく、安全で快適と感じられるトレーニングルーム運営とすることができました。この好循環を2期目も継続します。
- 初回利用者には、引き続き、機器の取り扱い方を丁寧に説明し、事故やケガの未然防止に努めるとともに、希望者には無料の体力相談やトレーニングのアドバイス、また構成企業D作成の初心者に向けた大きな筋群を動かす5種目のプログラムを提供していきます。



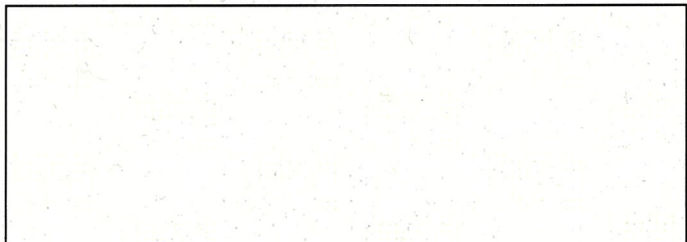
事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

■「安全・安心こそ最大のサービス」に基づく構成

- 構成企業Dは、「安全・安心こそ最大のサービス」の精神が浸透し、利用者の方々が安全・安心に施設を利用できるよう、当施設でも「安全基本方針」の制定が完了し施行済です。これに基づき、事故等を未然に防ぐことができ、また万一事故や災害が発生した場合でも、被害を最小限とするための「危機管理マニュアル」と危機管理体制により、徹底した安全管理を継続します。長年培ってきたノウハウをもとに築き上げてきた安全管理能力により質の高いサービスを提供できる体制を整えます。
- 当施設のトレーナーとプールを運営するスタッフ、施設全体を管理する設備統括責任者は、PHSにて緊急事態発生時に速やかな情報共有を図り、有事対応を行って来ました。
- 1期目に当施設のトレーナーとプールを運営するスタッフ全員が、普通救命講習の受講を完了するとともに、社員 人は上級救命技能の資格を取得、AED研修の受講(年3回)、避難訓練(単独で年に4回、施設全体で年2回の計6回)を実施しております。なお、現在のトレーナー配置人数は表のとおりとなっています。

〈現在のトレーナー配置人数〉



【ダイバーシティ研修による共生社会の実現】

- 施設全体で、あらゆる利用者が「区別」されず、ストレスなく「快適に」利用できる環境を継続します。
- 施設従事者は、ダイバーシティ研修により、全利用者が気持ちよく施設を利用できるようにします。
- 障がいの原因とする特別なトレーニングに関する専門的知識獲得のため、味スタ敷地内に開設予定のパラトレセンと密接に連携し、より高度なトレーニング指導を実現します。
- 「障がい者が利用しやすい施設」という良好な評判や風評(レピュテーション)を維持します。
- 通常の危機管理マニュアルに加え、様々な障がい(視覚、聴覚、肢体不自由等)に対応する「追加マニュアル」を活用し、利用者満足度の向上に努めます。

【体力相談・カウンセリング等、継続的利用の促進】

- 体組成分析装置(インボディ)を活用し、利用者が定期的にトレーニングの成果を測定できる環境を提供し、継続的なスポーツ参加を促進します。

【スポーツの適正、健康及び体力相談】

- 適正な運動量、健康体力相談を行えるスタッフをトレーニングルームに配置いたします。

### (3)多目的スペース運営業務

地域の物産販売や文化・観光PRに積極的に貸し出し、地域の賑わいの創出や文化発信に寄与するエリアとします。



- ①1期で好評だったイベントの継続に加え、地域住民との関係性を活かした積極的な企画を誘致
- ②地域貢献事業での積極的活用
- ③ラグビーワールドカップ2019や東京2020大会のレガシー継承機会の場として活用

#### ア 施設の運営に関する業務内容

##### 【地域の賑わいに貢献するという目的をふまえた業務提案】

##### ■地域の賑わい創出・活性化に資する企画への貸出

- 1期に人気が高かった催しは継続した上で、地域情報発信に期待できる企画を積極的に誘致し、賑わい創出に貢献します。

- (例) ・調布/府中/三鷹3市の歴史・文化パネル展示  
 ・平和・人権教育や自然教育に関連する展示  
 ・多摩地域所在の中小企業のキラリと光る技術のパネル展示  
 ・地元鉄道グループ内のグループ企業の事業紹介



##### ■地域貢献事業の実施

- むさプラアートプロジェクトなど地域活性化や賑わい創出のために実施する地域貢献事業等における会場として活用します。
- その他、地元自治体や関連する団体と連携し、地域の賑わいづくり、地域の魅力発信等、地域活性化に資するイベントを展開するとともに、稼働率の向上を図ります。

- (例) ・様々なワークショップ等の展開を検討  
 ・地域の自治体PR(含む地域産品の販売)  
 ・近隣中学生や特別支援学校生徒の職場体験  
 ・ダイバーシティ理解講座や食育講座、防災講座等



##### 【国際スポーツ大会のレガシー継承に資する提案】

##### ■ラグビーワールドカップ2019及び東京2020大会のレガシー継承機会の場としての活用

- 大会の会場となったレガシーを都民に継承する目的として、様々な展示を実施します。
- パラスポーツ振興のため、施設利用者にダイバーシティの意識啓発を図ります。

- (例) ・パラスポーツの様々な競技を紹介するパネルや映像、用具の展示  
 ・過去の国際スポーツ大会の名シーンのパネルや映像の展示



Photo by エックスワン

Photo by エックスワン

##### 【アリーナ等他施設との連動】

##### ■味スタとの一体運営による、円滑なスペース運用

- 多目的スペースへの展示物等の搬出入については、「味スタとの連絡橋」の使用が不可欠であることから、味スタとの一体運営により円滑な運用を図ります。

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

(1)受付案内

1期目に実践した「ダイバーシティ」の理念を踏襲し、すべての利用者に対して親切でわかりやすい『受付案内』と『相談対応』を継続いたします。



- ①1期目に実施したダイバーシティ研修で会得したダイバーシティ理念に基づいた対応を実現
- ②受付案内は、全利用者の総合相談窓口としても機能
- ③「やさしい日本語」を用いたホームページの情報発信など、誰にでも理解しやすい工夫

ア 利用者が快適に施設を利用するための取組

■ダイバーシティ理念に基づいた“質”の高い対応

- 1期目に実施した案内と相談対応におけるダイバーシティ研修を通じて培ったダイバーシティ理念に即し、あらゆる利用者に対してユニバーサルかつ親切でわかりやすい対応を継続します。

■様々な利用ニーズに対応する総合受付の設置とスポーツ関連資料の提供

- プール、トレーニングルーム利用の他に、個人・団体利用全てに対応する総合受付を設け、施設全体のあらゆる質問・問合せに対応する「相談窓口」としても機能させます。
- 聴覚障がい者対応として筆談機を設置したり、外国人対応として通訳機器を常設するなど、ハード面の対応も完備します。

イ 一層のサービス充実に向けた取組

■共生社会を実現するための取組

項目	取組例
障がい者理解	・独自の障がい者対応マニュアルを活用し、理解を深める研修・訓練を定期的に継続実施。 ・マニュアル作成や研修・訓練等は、パラトレセン等のアドバイスを受け作成・実施。
多言語対応	・英語パンフレットの用意や、外国語対応マニュアルを準備し、スタッフ内で定期的に対応訓練を行う。 ・受付にポケット翻訳機を設置し、英語以外の70カ国の言語にも対応する。

ホームページ等の表記言語では、「やさしい日本語」も選択肢として使い、どなたにも理解しやすいよう、さらに工夫をしていきます。作成にあたっては、  
の指導を受け、連携して行います。

(2)苦情・要望等に対する対応等

引き続き、味スタの苦情対応の仕組みを活用し、利用者の苦情・要望をしっかりと収集、迅速に対応します。



- ①味スタと一体的に苦情・要望等の収集・対応を実施・継続
- ②既に構築している地元3市や地元住民との意見交換の仕組みを最大限に活用・継続

ア 利用者から苦情や要望を受けた場合の対応方法

■味スタと一体的に苦情・要望等を収集し・対応を実施

- 利用者にとっては、味スタと当施設は一体とみなされることから、当グループだけが利用できる味スタと一体的に苦情・要望等を収集する仕組みを継続し、地域問題に誠実に対応にします。
- 当グループは多くのスポーツ国際大会、コンサート等での実績があるため、対応すべきポイントは熟知しており、苦情が起こらないよう、事前に対策を行うことが可能です。(迷惑駐車対策や巡回警備等)
- 頂いたご意見は、関係部署と共有、改善・対応策を検討・実施し、利用者の理解を得るよう努めます。

■既に構築している地元3市や地元住民との意見交換の仕組みを活用

- 2期も1期に引き続きアンケートBOXの設置や施設利用者へのヒアリング、ホームページに寄せられる意見等、既に味スタと共に構築済の地域との関係を活かし、苦情や要望を吸い上げ、対応していきます。
- また代表団体には地元自治体の首長が経営に関わっており、地域の意見を共有し、確実に運営改善等に反映させることが可能です。

地元との意見交換の仕組み(現在実施中の例)  
 ○イベントの規模や種類に応じて、地元3市及び近隣自治会等に事前相談・事後挨拶を実施  
 ○その他、定期的に地元3市等との連絡調整を実施  
 ○年2回、地域住民との意見交換会を実施

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ



提案課題3〔スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務〕  
1 事業の提供

(1)スポーツ振興事業

「スポーツ都市東京」の実現に向け、「TOKYOスポーツレガシービジョン」に則り、設置目的である多摩地域を中心としたスポーツ振興拠点の実現を図ります。



- ①「TOKYOスポーツレガシービジョン」に則り、ライフステージに即したスポーツ参加機会を提供  
※子どもだけでなく、シニアまで事業の対象として都の健康寿命の延伸に寄与する
- ②1期でのダイバーシティ構想を発展させ、「共生社会」のモデル施設へ

ア 多摩地域のスポーツ振興

【実施方針】

■東京2020大会レガシーで各世代のライフステージに対応し参加できるスポーツ機会を提供

- 1期での経験を活かし、利用者ニーズをとらえたメリハリのある事業計画を策定。スポーツの体験機会の強化および観戦機会の拡大に繋がるコンテンツ提供を行います。
- 1期で好評だった地元自治体共催のイベントを継続するとともに、地元3市や地元企業との協力関係も強化拡大することで、より多くのコンテンツ提供に取り組みます。

【達成目標と事業計画例】

達成目標	○ 地域の様々な世代がスポーツを楽しみ、スポーツ実施率が向上 ○ 地域の健康増進に寄与し、介護・医療費削減に貢献
事業計画(例)	・レガシーの継承を目的としたスポーツ振興事業(バドミントン教室、車いすバスケット体験等)の実施 ・1期で好評の全世代が楽しめるニュースポーツイベント(スポーツおにごっこ、モルック)等の拡充 ・ と連携したサッカー教室、 と連携したバレーボール教室の開催 ・調布市及び日本車いすバスケットボール連盟と連携した車いすバスケット体験会と観戦機会の提供

多摩地域の商圏分析

商圏における人口構造分析

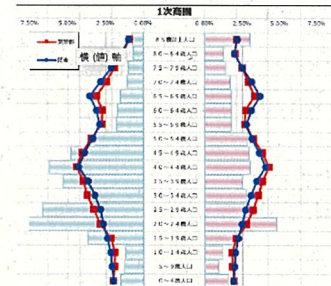
- ・1次商圏には「働き世代(20-40代)」が多いのが特徴。特に、「1人世帯」はさらに多く、「若い単身者」が目立ちます。
- ・周辺の2次商圏には「子育て世代」が多い。また比較的年収の高い層が多く、「都心に近い、緑と水の豊かな街」という地域特性とも合致します。
- ・1次2次商圏ともに、経年推移をみると「シニア世代」は微増を続けており地域の高齢化が進展しています。

上記を踏まえたプログラムの考え方

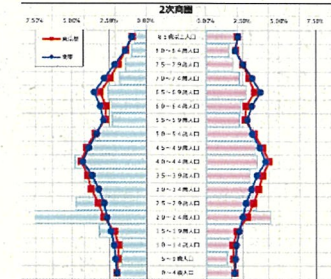
- ①働き世代(20-40代)や子育て世代が多いことから、子ども向けプログラムの拡充を図るとともに、世代を超えて「全世代」が一緒に楽しめるコンテンツや体験イベント機会の提供を行います。
- ②また、1次商圏の特徴に占める、1人世帯向けにはスタジオプログラムでパーソナルトレーニングを提供し、新たなニーズに応えます。
- ③子育て世代やシニア世代の増加傾向に対応し、東京2020大会等のレガシー継承を踏まえたパラリンピアン交流事業等を積極的に行い、世代に捉われない全世代向けのレガシー継承事業を実施します。
- ④当グループの最大の強みである味スタとの一体運営の利点を活かし、等のプロアスリートと連携したスポーツ教室を開催し、都民のスポーツ実施率の向上を目指します。

\*商圏分析データ「センリンジオインテリジェンス」と調布・三鷹・府中の3市の各種調査資料・レポートから分析  
\*1 1次商圏：「武蔵野の森総合スポーツプラザ」を中心に半径1kmの圏域、\*2 2次商圏：同様に半径3kmの圏域

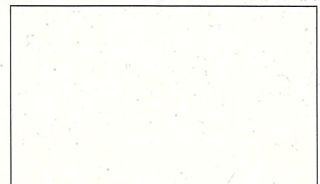
〈年代分布(1次商圏:半径1キロ)〉



〈年代分布(2次商圏:半径3キロ)〉



〈民間スポーツ施設分布(1-3次商圏)〉



事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

提案課題3 [スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務]  
1 事業の提供

イ 都のスポーツ施策の実現

【実施方針】

■ダイバーシティ理解促進を通じた障がい者理解と共生社会の確立

- 障がいの有無を問わず、全ての人々が共にスポーツに親しむ「スポーツ都市東京」の実現に寄与

1期目に実施したダイバーシティ研修の継続を通じて、今期は共生社会を見据えた具体的な活動につなげます。障がい者対応マニュアルを活用し、利用促進、満足度向上に努めます。

- 地元自治体、パラトレセン、近隣学校と連携したイベントや事業の実施

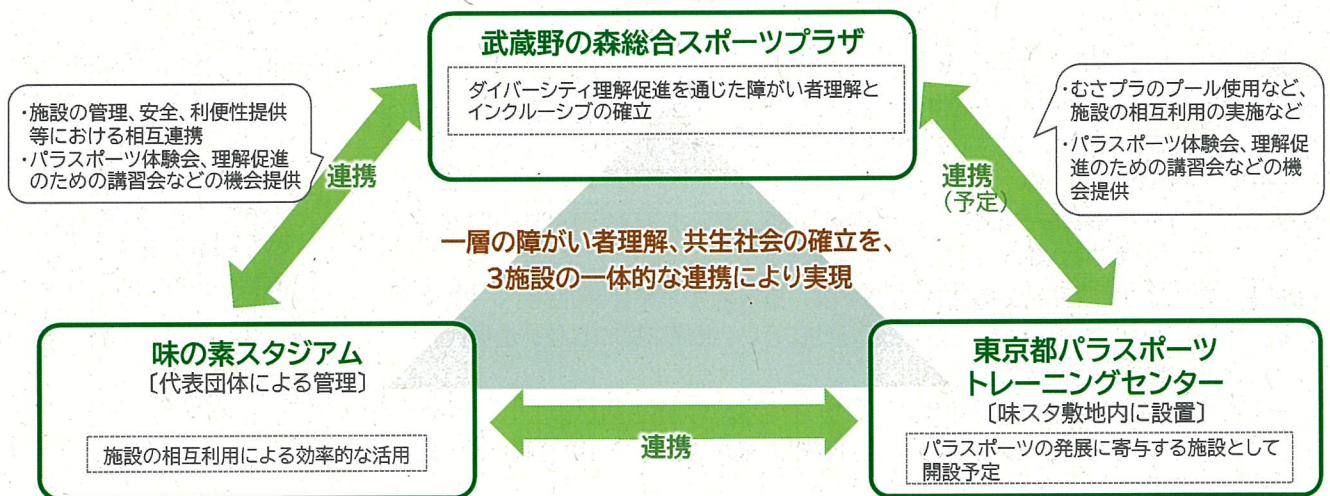
1期で関係を築いた地元自治体や近隣学校との連携を強化し、体験イベントなど、ダイバーシティ理解のさらなる促進を目指します。また、2023(令和5)年春に開設予定のパラトレセンと事業協力・連携し、イベントなどの効率化を図ります。

- 共生社会の確立に向けたさらなるスポーツイベント誘致

調布市及び日本車いすバスケットボール連盟と連携し、車いすバスケットボールのイベントを開催し、パラリンピックレガシーを継承します。また、デフリンピックの日本招致・開催に向けた機運醸成のため、デフアスリートとの交流会や体験イベントの実施などを通じて、理解浸透を目指します。

達成目標	○ 障がいの有無を超えて住民が交流を図る地域を形成 ○ パラスポーツのモデル施設となり、取組や実施施策の枠組みを確立	
事業計画	事業目標	具体的な実施例
	ダイバーシティの概念理解から、具体的な共生社会を見据えた活動につなげる	・ダイバーシティ研修の継続
	パラスポーツ団体と協力し、定期的にイベントを開催	・調布市及び日本車いすバスケットボール連盟と共催の車いすバスケ体験会の実施
	パラスポーツを通じた地域交流（誰もがスポーツを通じて一同に会する事業を、地元の体育協会等と連携して実施）	・地元自治体と連携した体験イベント実施 ・パラスポーツ体験ツアーの実施
	近隣地域の外国人居住者も含めた情報発信	・やさしい日本語での情報発信
	デフリンピック開催に向けた機運醸成のための理解浸透施策の実施	・デフアスリートとの交流会

〈3施設一体となった連携図〉



事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	対象層	時期 回数	1事業当たり		収支計画			
				定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※
1	【地元サッカークラブ「身体づくり」教室】 (サブアリーナ) 地元サッカークラブ所属のJFA公認指導者ライセンスを持つコーチに協力を依頼し、スポーツの楽しみ方を伝えるフットサル教室を実施します。	働き盛り世代	年4回	120		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
2	【こども卓球教室】 (サブアリーナ) 卓球の楽しさを伝え、スポーツに触れ合う機会を作り、子どもの健康づくりを図ります。	子ども	年2回	30		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
3	【親子卓球教室】 (サブアリーナ) 卓球のラリーを通して親子のコミュニケーション向上を図るとともに、親子でスポーツをする楽しさを提供します。	幼児とその保護者	年2回	30		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
4	【シニア卓球教室】 (サブアリーナ) 室内でのボール遊びを通して、スポーツの楽しさを知るきっかけを作ります。	高齢者及び働き盛り世代	年2回	10		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
5	【バドミントン教室】★新規 (サブアリーナ) バドミントンはむさぶらで毎年全国規模の大会が開催されるスポーツ。そのスポーツを体験できる機会を提供することで、大会の機運醸成と共に、参加者へスポーツを観ること、すること両方の楽しみ方を伝えます。	全世代	年2回	80		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
6	【ジュニアバドミントン教室】★新規 (サブアリーナ) 子どもたちの夢の舞台であるオリンピックや全国大会が開催されたむさぶらで、子ども向けのバドミントン教室を開催します。スポーツ、バドミントンの楽しさを大会レガシーと共に伝える事業を目指します。	子ども	年2回	80		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
7	【こども体操教室】 (サブアリーナ/スタジオ/多目的室) ダンスを通じて、運動の楽しさを知るきっかけを作るとともに、運動神経・運動習慣の基礎を鍛えます。	子ども	年16回	320		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
8	【大人向け(子育て世代向け)バレーボール教室】 (サブアリーナ) 普段運動から離れがちな大人(特に子育て世代)に向けてスポーツをする楽しさを思い出させるとともに、リフレッシュの機会を提供します。	働き盛り世代	年4回 初級2回 中級2回	80		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
9	【スポーツ観戦推進プロジェクト】★再構築 (メインアリーナ等) メインアリーナ等で実施されるスポーツ大会を主催する団体とタイアップし、トップレベルの試合を観戦していただく機会を提供します。あわせてルール解説等も行い、見るスポーツの楽しみ方をお伝えします。	全世代	年1回	100		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
10	【パラリンピアン交流事業「パラリンピアンに学ぼう!」】 (メインアリーナ)★再構築 日本車いすバスケットボール連盟の協力のもと、パラリンピアンの方々を招待して体験談、トレーニング等の貴重な話を聞く事業を実施します。あわせて、その競技を実際アリーナで体験、指導していただきます。	全世代	年1回	200		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
11	【車いすバスケットボール体験会】★再構築 (メインアリーナ) 日本車いすバスケットボール連盟等の協力のもと、車いすバスケットボールの体験会を実施します。体験を通じて、車いすバスケットボールの興味喚起を図ります。	全世代	年1回	453		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
12	【メディア発信事業】 むさぶらが主体となって実践する活動を注目率の高いメディアで紹介させることで、様々な活動が地域に限定することなく、多摩地域や都全体に広がっていくことを目指す事業です。	全世代	年1回			支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
各事業支出欄の「その他※」には役員費、委託料として計画を記載。						支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。</li> <li>● ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。</li> <li>● 「6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。</li> </ul>						<b>総合計</b> 実施回数 参加人数	支出合計①		
							収入合計②		
						38	1,503		

提案課題3〔スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務〕  
1 事業の提供

(2)スポーツの日記念事業

味スタと連動し、当施設と周辺での一体運営にて東京2020大会レガシー事業としてスポーツの日記念事業を開催します。



- ①味スタや関係競技団体等と連動し、効果的かつ効率的な事業運営を展開
- ②1期目運営で培ったノウハウと実績による安全でスムーズな運営とボランティアの活用
- ③地域ネットワークと各種媒体を活かした、広域への広報

ア 実施方針

■東京2020大会レガシー事業として、味スタと一体で盛り上げの最大化

- 1期で実施していた体育の日記念事業「むさプラススポーツパーク」を、さらに魅力的なイベントにレベルアップします。
- 味スタと連携し、当施設とともに、隣接する陸上競技場等も活用し、エリア一帯として一体感のある施策を展開します。加えて、周辺連携事業である武蔵野の森オリンピック・パラリンピックパーク全体を活用した健康ウォーキングイベントを東京2020大会記念事業として実施します。

■1期目で培ったプログラム運営ノウハウや各種団体・アスリートとの協力関係を最大限活用

- これまでのノウハウを活用し、東京2020大会で行われた競技の体験会や、地域のライフステージ別に用意した多様なプログラムに親しむことができるイベントを企画します。各種のプログラムを通じ、障がいのある人もない人も共にスポーツに親しむ「スポーツ都市東京」の実現に貢献します。
- 運営にあたっては、地域ボランティアを案内・誘導スタッフとして活用するほか、近隣大学に通訳ボランティアを要請し、外国人の来場もサポートする等、円滑かつ安全な運営を目指します。誘導・警備などの一体運用による安全性を最大限考慮した運営を実施いたします。

■個人使用施設の無料開放により、普段施設を利用しない人の来場を促進

- プールやトレーニングジム等個人使用施設を無料開放し、普段スポーツを実施しない人の施設来場を促進します。また、プール/スタジオプログラムも無料提供し、スポーツや身体を動かすことを楽しむ機会を提供します。さらに、プールでは、オリンピックと一緒に泳ぐイベントを実施し、水泳の楽しさを伝えます。

■地域ネットワークと各種媒体を活かした、広域への広報

- 味スタや東京都、周辺自治体の広報と連携し、広く東京都民への周知を図ります。
- 味スタ、地元鉄道会社の各種媒体を活用し、周辺住民、沿線住民に対して特に手厚く広報します。

達成目標	○多数の来訪者を確保し、東京2020大会レガシー事業で周辺住民のスポーツ実施率を向上させる
実施内容案	<p>本イベントで実施する体験内容例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車いすバスケットボール、バドミントン、水泳、走り方教室、ボッチャなど</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">      </div> <p style="text-align: center;">Photo by エックスワン</p>

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

提案課題3-1(2)別表 スポーツの日記念事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	対象層	時期 回数	1事業当たり		収支計画			
				定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※
1	【オリンピックスポーツ教室イベント】★新規 (メインアリーナ) 東京2020大会をはじめ、様々な大規模大会で使用されたメインアリーナにて、オリンピックスポーツの教室を開催します。トップアスリート達が活躍した舞台上でプレーできる機会を提供します。	全世代	年1回	60		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
2	【パラスポーツ教室イベント】★新規 (メインアリーナ) パラリンピックの会場となったメインアリーナにてパラスポーツの教室を実施。パラアスリートに直接指導いただくことで、会場の臨場感と共に、パラスポーツの魅力を伝えます。	全世代	年1回	100		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
3	【オリンピックと一緒に泳ごう!】★再構築 (プール) オリンピックを招聘して、子どもたちに水泳の楽しさを伝える企画。	子ども	年1回	40		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
4	【ニュースポーツプラザ】★再構築 (サブアリーナ) 地元団体等に協力を依頼し、ニュースポーツを複数体験できるイベントを開催します。世代や障害を問わず、誰もが参加でき楽しめるプログラムを通じ、新しいスポーツ参加のきっかけとします。(競技例:スポーツ鬼ごっこ、モルック、ウォーキングサッカー)	全世代	年1回	200		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
5	【ポッチャ体験会】★再構築 (メインアリーナ) パラリンピック正式種目であり誰でも楽しめる「ポッチャ」を楽しくプレー体験していただきます。あわせて試合形式での実際の競技体験も提供します。	全世代	年1回	150		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
6	【多摩地域の小中学生のスポーツ力強化プロジェクト】 (メインアリーナ)★再構築 トップアスリートによるスポーツ教室等の施策を通じて、多摩地域のスポーツ拠点として、地域のスポーツレベルアップに貢献します。	幼児、子ども	年1回	100		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
	各事業支出欄の「その他※」には役員費、委託料として計画を記載。					支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
						支出合計①			
						収入合計②			
						総合計			
						実施回数	参加人数		
						6	650		

- 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。
- ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。
- 「6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。

1 事業の提供

(3)地域貢献事業

地元3市とのネットワークにより地域に賑わいを創出する事業や、地域課題を解決する事業をダイナミックに展開します。



- ①近隣大学・味スタ・地元3市と連携した文化発信と地域活性化の推進
- ②ラグビーワールドカップ2019及び東京2020大会のレガシー活用とデフリンピック招致・開催の機運醸成
- ③地域課題の解決を図る各種事業の実施

ア 地元3市を基軸とした地域活性化の推進

【実施方針】

■近隣美術系大学と提携し、当施設を起点とした文化の発信

- 近隣美術系大学と連携し、文化の醸成・発信を行います。施設内の学生作品展示や参加型アートイベントの開催により、地域の文化発信拠点としても貢献していきます。

■味スタとの一体運営による地域の賑わいの創出

- 連携イベントの開催を1期から倍増し、さらなる地域の賑わい創出に貢献します。

■地元3市との関係の強さを活かした、3市主催イベントへの協力・連携

- 3市協カスタンプラリーなど一体的な事業運営を行うことで、地域の賑わい創出を図ります。

達成目標	○ 芸術文化都市・東京の魅力を伝えるため、「スポーツと文化や教育との融合」 ○ 隣接スタジアムで実施中のイベントと連携した活動を展開し、地域のスポーツへの興味を増幅	
	事業目標	実施イメージ
事業計画	◆近隣の美術系大学連携・近隣の美術系大学と連携しアートイベントを開催 近隣の美術系大学と連携し、地域住民を巻き込んだ参加型アートイベントを開催。また、美術系専攻の学生による各種イベントのポスター制作や、学生の作品展示なども行い、多摩地域のアート・文化の発信拠点としての役割を担う。	
	◆感謝デー拡大開催・「味スタ感謝デー」と連携したイベント開催 毎年25,000人を集める味スタ感謝デーを、当施設や隣接陸上競技場も併せて活用することで30,000人規模のイベントとする。当施設ではパラトレセンや多摩障害者スポーツセンターとの連携によるパラスポーツのPRや、食と健康のコンテンツ等を展開する。	

〈アートイベントのイメージ〉



壁面アート



アート作品展示



オブジェアート



壁面アート

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

提案課題3〔スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務〕  
1 事業の提供

イ ラグビーワールドカップ2019及び東京2020大会のレガシー活用とデフリンピック招致・開催の機運醸成

【実施方針】


■レガシーを活用したスポーツイベントの開催による地域のスポーツ活性化

- パラリンピックレガシーの継承によるスポーツ体験イベントの開催など、地域の人々がパラスポーツをより身近に感じる事業を実施します。

■大規模スポーツ大会開催に向けたボランティアの推進

- 多くのボランティアが活躍したむさプラで、ボランティア活躍の機会をさらに創出し、デフリンピック招致・開催にも貢献いたします。

達成目標	○大会レガシーを活用したスポーツイベントの実施により、地域の継続的なスポーツへの興味を喚起	
事業計画 (実施例)	◆パラリンピックスports体験ツアー・パラリンピックレガシーの継承イベント パラリンピック競技を実際に「体験・体感する」参加型のスポーツ体験イベントを実施します。レガシーを継承するとともに地域の人々がパラスポーツをより身近に感じる機会を創出します。	
	◆スポーツイベントでのボランティア参加推進・ボランティア機会の継続 さらなるボランティア活躍の機会を創出すべく、バドミントンや車いすバスケットといった大会競技イベント種目のボランティア参加を推進します。	

達成目標	○地元住民のダイバーシティ理解の普及によるボランティア意識の向上 ○地域住民と学生の交流活性化による共生力強化	
事業計画 (事業例)	◆パラスポーツに対する理解形成講座 地元住民がパラスポーツの競技理解やダイバーシティ理解を深める講座を提供します。	
	◆近隣大学と連携した共生力強化講座 地域の共生力向上のため、近隣大学等と協力して、「やさしい日本語」や様々な人と円滑にコミュニケーションを取る方法を扱う講座を開催します。	

ウ 地域課題の解決を図る各種事業の実施

【実施方針】

■地元の声に常に耳をむけ、地域課題を発見。それに即した地域貢献事業を展開

- 地元自治体の3首長が代表団体の取締役である関係性を活かし、経年で変わりうる地元の課題についてリアルタイムに意見交換し、事業内容を修正することが可能です。

■定期的なデータマネジメントでPDCAサイクルを活用し、常に新しい課題を発見し解決

- 事業実施時等住民との接点においてアンケートを実施。アンケート結果をに基づくPDCAサイクルを展開します。毎年度、住民のニーズに最適な地域貢献事業を展開します。

■4市協定に基づき緊急時対応を実施

- 東京都が4市と締結した風水害時における緊急時避難場所施設利用に関する協定を、調布市・府中市・三鷹市・狛江市と締結しており、味スタと共に施設の一部を緊急時避難場所(駐車場や避難所)として共同で利用できるようにしています。

達成目標	○施設内外の活動を通じて、地元の声に即した地域課題を解決	
事業計画	事業名称	連携先等
	女性アスリート活躍推進事業	女性アスリートとの連携
	パラリンピックスports体験ツアー	多摩地域の各自治体との連携
	食育教育プログラム	地元3市との連携
	によるダイバーシティ講座	との連携
	大学と連携した地域共生力強化	地元の様々な民間企業との連携
	いざという時に役に立つ防災・減災講座	地元の民間企業や地元3市との連携
	周辺地域美術大学との連携事業	周辺美術大学と連携
むさプラアートプロジェクト	地域住民と連携	

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画				
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
1	【地元還元大型事業「味スタ・むさブラ感謝デー」】 ＜参加対象：一般都民＞ （メインアリーナ、サブアリーナ他） 味スタ開催の「感謝デーイベント」をむさブラでも拡大開催する事業を実施。①オリンピック・パラリンピックスポーツのPR・競技体験、②若手アーティスト支援③むさブラミュージアム等を行います。	年1回	10,000		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
2	【女性アスリート活躍推進事業】★新規 ＜参加対象：一般都民＞ （会議室） スポーツに取り組む女性やそれに関わる人達が、女性の周期等を理解してもっと自分らしく競技と向き合える環境形成をサポートする事業です。	年1回	30		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
3	【パラリンピックスポーツ体験ツアー】★新規 ＜参加対象：一般都民＞ （サブアリーナ） パラリンピック競技を実際に「体験・体感」する参加型のスポーツ体験イベントを実施します。パラリンピックレガシーの継承を行うとともに、地域の人々がパラスポーツをより身近に感じることが出来る事業を目指します。	年1回	-		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
4	【食育教育プログラムの提供】★再構築 ＜参加対象：一般都民＞ （会議室/多目的スペース） スポーツ体験等のイベント来場者を対象に、食育講座を実施します。レシピ提供や栄養学について、食の専門家や研究者、スポーツ関係者が参加者にレクチャー。スポーツと食事をテーマに、地域の食育に貢献します。	不定期	20		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
5	【大規模スポーツ大会に向けたボランティアの推進】 ＜参加対象：一般都民＞★再構築 （会議室/多目的スペース） ラグビーワールドカップ2019、東京2020大会にて、多くのボランティアが活躍したむさブラで、更なるボランティア活躍の機会を創出。バドミントンや車いすバスケットといった大会競技種目のイベントボランティアを通して、多くのボランティア参加を推進。	不定期	-		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
6	【 によるダイバーシティ講座】 ＜参加対象：一般都民＞★再構築 （会議室/多目的スペース） が保有するコンテンツを利用。ボランティアを目指す人達に、障がい者への付き合い方、ダイバーシティ理解の普及を目指します。	年1回	-		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
7	【大学と連携した地域の共生力強化】★再構築 ＜参加対象：一般都民＞ （一） 地域の共生力向上のため、等の近隣大学と協力して、様々な人と円滑にコミュニケーションを取る方法を扱う講座を開催します。	年1回	40		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
8	【周辺地域美術大学との連携事業】★新規 ＜参加対象：一般都民＞ （多目的スペース、会議室） 周辺地域の美術大学と連携し、館内に作品を展示。美術大学の学生である若手アーティストに活躍の場を提供する共に、スポーツと文化や教育が融合した施設実現を目指す。	不定期	-		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
9	【むさブラアートプロジェクト】★新規 ＜参加対象：全世代＞ （多目的スペース、会議室） 季節を感じる大型アート作品などを、参加者とともに作り上げ、施設内に展示するプロジェクトです。地域住民とともに、施設をアートで盛り上げます。	年4回	80		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
10	【いざという時に役に立つ防災・減災講座】 ＜参加対象：一般都民＞ （会議室等） 周辺の民間企業や自治体等と連携し、防災と減災に関する知識を地域都民の皆さんに啓発する事業を行います。	不定期	80		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	



◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画				
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
11	<b>【メディア発信事業】</b> <参加対象:全世代> (会議室等) むさプラが主体となって実践する活動を注目率の高いメディアに紹介させることで、様々な活動が地域に限定することなく、多摩地域や都全体に広がっていくことを目指す事業です。	—	—						
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
	各事業支出欄の「その他※」には役務費、委託料として計画を記載。				支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。  ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※ (参考) 自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。  ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。	<b>総合計</b>	実施 回数	参加人数	繰入額①				収入総合計③	
		10	10,250	支出総合計②(①を含む。)				差引④(③-②)	

1 事業の提供

(4)自主事業

**施設特性を活かし、各利用者層のニーズに応じた魅力的なプログラムを展開。  
利用を促進することで施設の有効活用を図ります。**



- ①各施設の施設稼働率を向上させ、多摩のスポーツ振興を推進
- ②当グループ各社の実績や周辺地域とのネットワークに基づき、魅力的なプログラムを創出
- ③再度実施した需要調査に基づき地域特性にあったプログラムの提供の継続

ア 自主事業の実施方針

■各施設の施設稼働率の向上

- 施設利用が少ないことが見込まれておりました平日昼間及び夜間を活用し、各施設の特性に応じた事業を企画・実施したことで施設の有効活用を図ることができました。

■多摩のスポーツ振興を推進

- 平日昼間及び夜間それぞれに適したプログラムを揃えるためにも、引き続き商圈分析及び自治体ヒヤリングに基づいた地域住民のライフステージ・ニーズに応えるきめ細かなプログラムを提供します。
- 近隣の教育機関や地域のスポーツ団体等の地域ネットワークを活用し、プログラムへの参加を促進します。

■構成企業Dの指定管理業者としての豊富な実績を活用

- 20行政100か所以上の指定管理業者としての実績に基づいたノウハウを活かし、年間を通じ、利用者や時間帯別のニーズに応じた参加しやすいプログラムを提供します。プログラムごとに参加者の初期状態と成長プロセスをデータ化し「見える化」することで、プログラムを改善・改良していきます。

■1期の運営実績及び付加価値創出に長けた民間企業のノウハウを活用

- 1期と味スタ運営で培ったノウハウにより、プログラム参加者の満足度と収益性の双方を最大化します。

スタジオ・プールプログラムの実施

■さらに都民のスポーツ実施率を促進する「スタジオ・プールプログラム」の拡充

- 運動不足解消やダイエット、大会参加を目指す方等、様々なニーズに対応することで利用者の満足度の向上を図るため自主事業プログラムを実施し、体を動かす楽しさを伝え、スポーツ実施率の向上に貢献します。
- 構成企業Dが100ヶ所の公共施設で利用者増を図ってきた運営実績により、流行プログラムを調査し、最新の指導内容を加え、初心者から上級者まで広汎な選択肢から参加できるプログラムを提供します。

■「成長の見える化」プログラムの継続

- 1期から実施しているスタジオ・プールでの体力、泳力等の成長過程を数値化し見える化する取組を継続します。利用者からは学校の水泳授業での評価が向上した声が届くなど、自己の成長を確認でき、無理のない運動習慣の定着に直結したとの喜びの声を頂きました。その取組を継続し、都が示す「スポーツ都市東京」の実現に貢献します。
- 2期目は水難事故防止に向けた着衣水泳なども実施していきます。

実施体制の強み

●構成企業Dの他指定管理施設の実績、利用者増加のノウハウ

✓構成企業Dの民間施設で年間約6,000ものプログラムを行っているノウハウを、20行政・100施設以上の指定管理施設等に展開してまいりました。調布市内で展開するスポーツ施設でも同様のプログラムを実施しており、当施設でも同じプログラムをより低額で実施することで、スポーツに馴染みのない地域住民の参加を引き続き促してまいります。

事業計画

達成目標	○ 自主事業を実施することで、スポーツの機会を提供と施設収益力の向上	
事業計画	事業目的	実施例
	初心者向け	・はじめてヨガ、はじめてラテン、はじめてバレエ、かんたんリズム体操など
	子どもの身体能力向上	・子どもバレエ教室の開催
	シルバー世代の健康維持	・ノルディックウォーキングの開催
	交流人口の増加	・格闘技60分、インボディ測定
パフォーマンス向上	・スタジオ内で個人に特化したパーソナルトレーニングを実施	

【1期目に培ったノウハウや地域ネットワークを活かした多様なサービスと新たな展開】

- 1期では、人口動態や利用者の声に応じて、定期的にプログラム編成を更新し、様々なニーズに応えるプログラム展開を行いました。2期でも、その取組を継続するとともに、新たなニーズに応えるプログラムを追加します。

2期で新規導入・再構築するプログラム例

〈新規〉・パーソナルトレーニング(新規)

1期で実施した利用者アンケートで要望が多かったパーソナルトレーニングを新規に導入します。

加圧も取り入れ、個々に合ったメニューを提供し、利用者の体力向上と個人利用の促進を図ります。

・「格闘技」プログラム(新規)

構成企業Dが他施設で展開している人気プログラムを当施設でも新たに実施します。

音楽に合わせてパンチやキックを繰り返し、利用者のストレス発散と体力向上に貢献します。

〈再構築〉・「はじめて」シリーズ

入門、初級プログラムを用意し、運動を始めたい、軽く運動したいニーズに応えます。さらに中級、上級といったレベルアッププログラムも用意することで利用者の体力向上に貢献します。

〈パーソナルトレーニング〉



〈格闘技〉



(参考)1期目における他施設での人気プログラム導入例

FUMIFUMI・・・スラックレールを使用し、「体幹」「バランス」「集中力」の3つを養うことができるプログラム

レップリーボックス・・・ステップ台とフリーウエイトを活用し、音楽に合わせて行うトレーニング

〈レップリーボックス〉



- 構成企業Dが持つ実績と多彩なノウハウをさらに発揮するのが、1週間に1度の「お楽しみレッスン」です。この枠は、構成企業Dの他施設で人気のあるプログラムや話題のメニューを紹介する機会として設けるもので、ここでの利用者の反応や参加率を参考に新規プログラムの導入を検討しています。これにより、プログラムの新陳代謝が図られ、常に新鮮でワクワクするプログラム編成を提供することが可能となります。

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画				
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
1	【はじめてヨガ(60分)スタジオプログラムの実施】★再構築 ＜参加対象：一般＞（スタジオ） 内容：コンディショニング系 足先から徐々に体をほぐし、簡単なポーズで心身の調和をはかるクラス 金 A 10:15～、日 B10:00～	通年 102回	2,295		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
2	【骨盤調整EX(60分)スタジオプログラムの実施】 ＜参加対象：一般＞（スタジオ） 内容：コンディショニング系 骨盤周りや体幹の筋肉を刺激し、ゆるめることで身体を強化・メンテナンスをするクラス 土 B13:15～	通年 51回	1,275		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
3	【体幹・骨盤エクササイズ(60分)スタジオプログラムの実施】 ＜参加対象：一般＞（スタジオ） 内容：コンディショニング系 骨盤周りや体幹の筋肉を刺激し、ゆるめることで身体を強化・メンテナンスをするクラス 日 B12:30～	通年 51回	1,275		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
4	【ヨガ(60分)スタジオプログラムの実施】 ＜参加対象：一般＞（スタジオ） 内容：コンディショニング系 呼吸・ポーズ・リラクゼーションの三位一体で心身の調和をはかるクラス 火B13:45～、水B9:45～、水B20:00～、土B17:45～	通年 204回	5,100		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
5	【リラックスヨガ(60分)スタジオプログラムの実施】 ＜参加対象：一般＞（スタジオ） 内容：コンディショニング系 柔軟性を問わずゆったりとした呼吸とともにリラックスしながら体を整えていくクラス 土 B10:00～	通年 51回	1,275		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
6	【ストレッチ&ヨガ(60分)スタジオプログラムの実施】 ＜参加対象：一般＞（スタジオ） 内容：コンディショニング系 簡単なストレッチをして優しいポーズで身体をほぐすクラス 土 A14:30～	通年 51回	1,020		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
7	【パワーヨガ(60分)スタジオプログラムの実施】 ＜参加対象：一般＞（スタジオ） 内容：コンディショニング系 立位中心のポーズで下半身強化・全身の柔軟性を高めるクラス 金 A11:45～	通年 51回	1,020		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
8	【太極拳(60分)スタジオプログラムの実施】 ＜参加対象：一般＞（スタジオ） 内容：コンディショニング系 中国の武術をゆっくりとした無理のない動きで健康維持を図るクラス 月 A14:00～	通年 51回	1,020		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
9	【気功(60分)】 ＜参加対象：一般＞（スタジオ） 内容：コンディショニング系 特有の動作、呼吸法を用いて、呼吸や気の流れを整えて心をコントロールするクラス 木 A13:30～	通年 51回	1,020		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
10	【バランスコーディネーション(60分)】 ＜参加対象：一般＞（スタジオ） 内容：コンディショニング系 軽い負荷をかけて身体を引き締め、ストレッチで心身をリフレッシュさせるクラス 火 B10:00～ 木 B12:00～	通年 102回	2,550		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
11	【FUMIFUMI(45分・60分)スタジオプログラムの実施】 ＜参加対象：一般＞（スタジオ） 内容：コンディショニング系 スラックレールを用い、簡単な有酸素運動と全身の筋カトレーニングを行い健康的な身体作りをするクラス 火 A12:30～	通年 51回	1,020		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
12	【トータルボディコンディショニング(60分)スタジオプログラムの実施】 ＜参加対象：一般＞（スタジオ） 内容：有酸素系 ステップやチューブを使用、心肺機能・全身持久力向上・脂肪燃焼を目指すクラス 木 B19:30～	通年 51回	1,275		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	

◆ 内容		単位：千円							
NO	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画				
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
13	【ピラティス(60分)スタジオプログラムの実施】 ＜参加対象：一般＞（スタジオ） 内容：筋カトレニング系 身体の芯から整えて、美しいボディラインを作り上げていくクラス 火 B19:00～	通年 51回	1,275		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
14	【レップリーボック&ストレッチポール(60分)スタジオプログラムの実施】 ＜参加対象：一般＞（スタジオ） 内容：有酸素系 筋カトレニングの後にストレッチポールで全身をほぐすクラス 月 B19:00～、木 B19:30～	通年 102回	2,550		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
15	【バレトン(60分)スタジオプログラムの実施】 ＜参加対象：一般＞（スタジオ） 内容：筋カトレニング系 フィットネス・バレエ・ヨガの動きをバランスよく組み合わせた裸足で行うボディメイク エクササイズクラス 水 A11:15～、金 B10:30～、土 B16:15～	通年 153回	3,570		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
16	【かんたんリズム体操(60分)スタジオプログラムの実施】 ＜参加対象：一般＞（スタジオ） 内容：有酸素系 低衝撃・簡単な動きで楽しく全身運動をするクラス 木 B10:30～、日 B15:15～	通年 102回	2,550		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
17	【かんたんステップ(60分)スタジオプログラムの実施】 ＜参加対象：一般＞（スタジオ） 内容：有酸素系 ステップ台を使って簡単な昇降運動をすることで心肺機能向上・脂肪燃焼をはかる クラス 月 A11:15～、土 A12:45～、日 A16:30～	通年 153回	3,060		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
18	【健康体操(60分)スタジオプログラムの実施】 ＜参加対象：一般＞（スタジオ） 内容：コンディショニング系 簡単な有酸素運動、全身の筋カトレニングで健康的な身体づくりをするクラス 金 A13:15～、日 A11:15～	通年 102回	2,040		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
19	【バランスボール&健康体操(60分)スタジオプログラムの実施】 ＜参加対象：一般＞（スタジオ） 内容：コンディショニング系 簡単な有酸素運動、全身の筋カトレニング、バランスボールで健康的な身体づく りをするクラス 月 B12:30～	通年 51回	1,275		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
20	【ルディックスローウォーキング(60分)スタジオプログラムの実施】 ＜参加対象：一般＞（スタジオ） 内容：コンディショニング系 両手にボールを持ってゆっくりと無理のないペースで歩くバランスの良い全身運動を するクラス 水 B14:00～	通年 51回	1,275		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
21	【フラ(60分)スタジオプログラムの実施】 ＜参加対象：一般＞（スタジオ） 内容：ダンス系 歌詞の意味を理解し、多くの振り付けをマスターするクラス 土 A16:00～	通年 51回	1,020		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
22	【ZUMBA(45分)スタジオプログラムの実施】 ＜参加対象：一般＞（スタジオ） 内容：ダンス系 ラテン系の音楽とリズムを融合させて音楽も踊りも楽しむクラス 火 B11:30～、水 A18:30～、木、B13:30～ 土 B15:00～	通年 204回	5,100		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
23	【はじめてラテン(60分)スタジオプログラムの実施】★再構築 ＜参加対象：一般＞（スタジオ） 内容：ダンス系 ラテンステップの色々な動きを組み合わせる楽しみクラス 金 B14:30～	通年 51回	1,275		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
24	【ラテン(60分)スタジオプログラムの実施】 ＜参加対象：一般＞（スタジオ） 内容：ダンス系 ラテン音楽の複雑なビートに合わせてダンスを楽しむクラス 金 A15:45～	通年 51回	1,020		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画				
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
25	【はじめてバレエ(60分)スタジオプログラムの実施】★再構築 ＜参加対象：一般＞(スタジオ) 内容：ダンス系 バレエの基礎を習得するクラス 月 A 9:45～	通年 51回	1,020		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
26	【バレエストレッチ(60分)スタジオプログラムの実施】 ＜参加対象：一般＞(スタジオ) 内容：ダンス系 バレエの動きを取り入れたストレッチをするクラス 月 B 11:00～	通年 51回	1,275		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
27	【はじめてヒップホップ(60分)スタジオプログラムの実施】★再構築 ＜参加対象：一般＞(スタジオ) 内容：ダンス系 リズムに合わせて身体を動かし、ダンスの振り付けを楽しみながら習得していくクラス 水 B12:30～	通年 51回	1,275		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
28	【ヒップホップ(60分)スタジオプログラムの実施】 ＜参加対象：一般＞(スタジオ) 内容：ダンス系 リズムに合わせて身体を動かし、ダンスの振り付けを楽しみながら習得していくクラス 水 A13:45～、金 B12:00～	通年 102回	2,295		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
29	【お楽しみレッスン(60分)スタジオプログラムの実施】 ＜参加対象：一般＞(スタジオ) 内容：週代わりで担当インストラクター・内容が変わるクラス 日 A14:00～	通年 51回	1,020		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
30	【格闘技(60分)スタジオプログラムの実施】★新規 ＜参加対象：一般＞(スタジオ) 内容：格闘技系 パンチやキックでストレス発散するクラス 土 B11:30～	通年 51回	1,275		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
31	【子どもバレエ(60分)スタジオプログラムの実施】 ＜参加対象：4歳～＞(スタジオ) 内容：キッズ系 対象：3歳～6歳 バレエの基礎を練習するクラス 火 15:30～	通年 51回	1,020		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
32	【子どもバレエ(60分)スタジオプログラムの実施】 ＜参加対象：小学校低学年＞(スタジオ) 内容：キッズ系 対象：6歳～10歳 バレエの基礎～簡単な動きを習得するクラス 火 16:30～	通年 51回	1,020		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
33	【成人向け水中運動(45分)プールプログラムの実施】 ＜参加対象：一般＞(プール) 内容：ウォーキング・ジャンピング・スクワット・腕の開閉などの運動で、水の抵抗や水圧により少しの運動でもエネルギー消費量が大きくなります。 水 11:00～、木 19:30～	通年 98回	1,960		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
34	【パーソナルトレーニング45分/60分スタジオプログラムの実施】★新規 ＜参加対象：一般＞(スタジオ) 内容：パーソナルトレーニング お客様のニーズに合うトレーニングプログラムの提案、指導、加圧トレーニングを行う 火 A10:30～、火A19:30～、木 9:15～、金 B19:30～、 土 A10:30～、日17:00～	通年 306回	306		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
35	【インボディ測定】 ＜参加対象：一般＞(トレーニングルーム) 内容：トレーニングルームに体組成分析装置を設置します。体内脂肪や筋量などを参考にクライアントに適した運動プログラムの提供に役立てることができます。誕生日月にはトレーニング利用者の方々に無料で測定します。 ※収支計画の「その他」は、機器の保守費用	通年 -	-		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
36	【成人向けビギナー(60分)プールプログラムの実施】 ＜参加対象：一般＞(プール) 内容：4泳法の中から個々の希望する泳ぎを基礎から集中的に行うレッスンです。 25Mを無理なく泳ぐことが出来るコースです。 火 11:00～、木 11:00～、金 11:00～	通年 147回	3,060		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画					
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
37	【成人向けフォーミング(60分)プールプログラムの実施】 ＜参加対象：一般＞（プール） 内容：4泳法をより美しく・より速く・より楽に泳ぐことができるコースです。ビギナーコースよりワンランク上達できるコースです。 火 11:00～、木 11:00～、金 11:00～ 金 19:30～	通年 196回	1,020		支出合計					
					収入合計	参加料	入場料	その他※		
38	【成人向けスピードアップ(60分)プールプログラムの実施】 ＜参加対象：一般＞（プール） 内容：泳ぐスピードの強弱をつけ、フォーミングコースよりワンランク上の練習を行うコースです。 火 19:30～	通年 49回	1,020		支出合計					
					収入合計	参加料	入場料	その他※		
39	【成人向け水中運動(60分)プールプログラムの実施】 ＜参加対象：一般＞（プール） 内容：ウォーキング・ジャンピング・スクワット・腕の開閉などの運動で、水の抵抗や水圧により少しの運動でもエネルギー消費量が大きくなります。 水 11:00～、木 19:00～	通年 98回	2,550		支出合計					
					収入合計	参加料	入場料	その他※		
40	【子ども向けJコース(60分)プールプログラムの実施】 ＜参加対象：2歳から4歳＞20名（プール） 内容：主に水慣れを行うコース。顔を付けたり、もぐったり出来るようにしていきます。 2歳から4歳対象。	通年 147回	3,000		支出合計					
					収入合計	参加料	入場料	その他※		
41	【子ども向けAコース(60分)プールプログラムの実施】 ＜参加対象：4歳から6歳＞35名（プール） 内容：水慣れからバタ足、背泳ぎ、クロール、平泳ぎ、バタフライと4泳法を泳げるようにするコースです。進級基準に沿って行っています。 4歳から6歳対象。	通年 147回	5,250		支出合計					
					収入合計	参加料	入場料	その他※		
42	【子ども向けBコース(60分)プールプログラムの実施】 ＜参加対象：5歳から8歳＞35名（プール） 内容：水慣れからバタ足、背泳ぎ、クロール、平泳ぎ、バタフライと4泳法を泳げるようにするコースです。進級基準に沿って行っています。 5歳から8歳対象。	通年 147回	5,250		支出合計					
					収入合計	参加料	入場料	その他※		
43	【子ども向けCコース(60分)プールプログラムの実施】 ＜参加対象：小学生以上＞35名（プール） 内容：水慣れからバタ足、背泳ぎ、クロール、平泳ぎ、バタフライと4泳法を泳げるようにするコースです。進級基準に沿って行っています。 5歳から8歳対象。	通年 147回	5,250		支出合計					
					収入合計	参加料	入場料	その他※		
44	【子ども向けDコース(60分)プールプログラムの実施】 ＜参加対象：4泳法の出来る子ども＞40名（プール） 内容：4泳法を上手に速く泳げるようにしていくコースです。2ヶ月に1回タイム測定をし、タイム基準により進級していきます。 4泳法の出来る子ども対象。	通年 147回	5,250		支出合計					
					収入合計	参加料	入場料	その他※		
45	【子ども向けEコース(120分)プールプログラムの実施】 ＜参加対象：大会に出場出来る子ども＞20名（プール） 内容：4泳法を上手に速く泳げるようにしていくコースです。ジュニアオリンピックを目指す子ども対象。	通年 147回	2,880		支出合計					
					収入合計	参加料	入場料	その他※		
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。  ● 支出合計②、収入合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※（参考）自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。  ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。			実施回数		繰入額①					収入総合計③
			参加人数		支出総合計②(①を含む。)					差引④(③-②)
総合計			4224	93151						

提案課題3〔スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務〕  
1 事業の提供

(5) 周辺連携事業

様々な主体との積極的な連携により、むさプラならではの地域連携事業を実現。  
スポーツや地域の魅力向上と活性化、ダイバーシティにつなげます。



- ① 周辺スポーツ施設との連携による地域スポーツの活性化
- ② 地域の主体(自治体、関係団体)との積極的な連携による地域活性化

ア 基本方針

■ 味スタ・パラトレセン・むさプラを中心とした地域スポーツの活性化

- 味スタ、パラトレセン等の他施設とのネットワークや周辺施設、地域との連携により、多様なニーズに対応するとともに、地域からのスポーツ振興に加え、地域の魅力向上や活性化に寄与します。

■ 地域を主体としたスポーツ振興と地域の魅力向上や活性化に向けた事業の実施

【具体的な事業提案】

● 収支計画が作成可能なもの

目的	名称	内容
スポーツ振興	オリパラパークウォーキング	武蔵野の森オリンピック・パラリンピックパークを巡るウォーキング施策を実施。大会会場を中心に周遊。地元住民の健康増進を図りつつ、パークエリアの魅力向上を目指す。
	むさプラジムプール体験ツアー	パラスポーツの人口の拡大に向けた障がい者のためのスポーツ発見講座。地元自治体や障害者支援団体等と協力し、施設体験会を実施。
	リフレッシュ体操スクール	シニアを対象に心身リフレッシュ、運動不足対策、肩こり防止、健康増進を目的とした、どなたでも参加できる体操スクール事業を実施。
地域の魅力向上・活性化	社会科見学	最新エネルギー技術・設備により、省エネと環境配慮を実現している当施設の特徴を活かし、小中学生の環境学習ツアーを実施します。
	調布市・府中市・三鷹市デジタルスタンプラリー	調布市・府中市・三鷹市の3市の観光セクション等と連携し、各市のスタンプラリーを開催。
	地域の自治体PR (含む地域製品の販売)	多目的スペース等を「地域のPRスペース」として開放。地域内外に対する地元の良さ再発見、地域への愛着の醸成を目的としたPR事業を展開。同時に地域の食品等を中心とした物産販売も展開。
	近隣中学生や特別支援学校生徒の職場体験	社会体験教育の一環として、主に施設管理、清掃業務などの職場体験を実施。次代を担う子供たちに体験を通じた教育へ協力する。

● 構想段階の事業

目的	名称	内容
スポーツ振興	清掃活動	イベント参加者とともに周辺の清掃活動を実施。地元自治体や地元鉄道会社と連携して、地域にも参加を呼び掛け、参加者と地域が一体となり取り組む活動とする。
	ランニングコースの設定	むさプラと味スタの周辺エリアにランニングコースを設定。ランニングマップを制作配布し、地域住民が能動的に健康増進の場として利用できるように促進する。
地域の魅力向上・活性化	パラトレセンとの連携	プールがないパラトレセンの実情を踏まえ、パラのトップアスリート育成のために、プールの貸出をはじめとした様々なトレーニングインフラの提供。両施設で連携して、トップアスリート育成を支える。

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ



◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画				
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
1	【パラスポーツの人口の拡大に向けたむさブラジム プール体験ツアー】★新規 ＜参加対象：障害を持つ方＞ (トレーニングルーム・プール) スポーツを楽しみたいにもかかわらず障害のため一歩を踏み出せていない方が、安心して施設を利用いただけるよう、地元自治体や障害者支援団体等と協力し、施設体験会を実施します。	年1回	100	-	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
2	【地元自治体の体育協会が展開する「リフレッシュ体操スクール」】 ＜参加対象：シニア世代及び一般都民＞ (サブアリーナ、会議室) シニアを対象として心身リフレッシュ、運動不足対策、肩こり防止、健康増進を目的としたどなたでも参加できる体操スクール事業を実施します。	年20回 程度	1,000	-	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
3	【調布市・府中市・三鷹市デジタルスタンプラリー】 ＜参加対象：一般都民＞★再構築 (館内) 調布市・府中市・三鷹市の3市の観光セクション等と協力するなどして、各市のスタンプラリーを開催します。	年1回	-	-	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
4	【地域の自治体PR(含む地域製品の販売)】 ＜参加対象：一般都民＞★再構築 (多目的スペース等) 多目的スペース等を「地域のPRスペース」として開放します。地域内外に対する地元の良さ再発見、地域への愛着の醸成を目的としたPR事業を展開。同時に地域の食品等を中心とした物産販売も展開します。	不定期	-	-	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
5	【近隣中学生や特別支援学校生徒の職場体験】 ＜参加対象：近隣中学生や特別支援学校生徒＞ (メインアリーナ、サブアリーナ他) 社会体験教育の一環として、主に施設管理、清掃業務などの職場体験を実施します。次代を担う子どもたちに体験を通じた教育への協力をしていきます。	不定期	-	-	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
6	【環境学習】社会科見学★新規 ＜参加対象：小中学生や特別支援学校生徒＞ (屋上、地下室、メインアリーナ、サブアリーナ他) 最新エネルギー技術・設備により、省エネと環境配慮を実現している当施設の特徴を活かし、小中学生の環境学習ツアーを実施します。	不定期	-	-	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
7	【武蔵野の森オリンピック・パラリンピックパーク周遊施策「オリパラパークウォーキング」】★新規 ＜参加対象：一般都民＞ (館内) 武蔵野の森オリンピック・パラリンピックパークを巡るウォーキング施策を実施。大会会場を中心に、周遊、地元住民の健康増進を図りつつ、パークエリアの魅力向上を目指します。	年1回	-	-	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
8	【味スタむさブラバックヤードツアー】★新規 ＜参加対象：一般都民＞ (館内) 一般観客の方が普段見ることができない、選手更衣室やVIPエリア等を巡るバックヤードツアーを開催します。 味スタと一体で行うことで、より多摩のスポーツ拠点としての魅力を発信します。	年1回	-	-	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
9					支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。					実施回数	参加人数	繰入額①		収入総合計③
					総合計		支出総合計②(①を含む。)		差引④(③-②)

1 事業の提供

(6)利用者に対するサービス提供事業

1期で実施したダイバーシティ研修に基づき、全ての利用者が区別されることなく、快適かつストレスなく利用可能なサービスの提供を展開します。



- ①味スタとの一体運営による利用者の利便性を考慮した駐車場の運営
- ②利用者の憩いの場として快適な空間(カフェ・売店)の設置・運営
- ③身体障がい者福祉法の趣旨を踏まえた対応の実施

ア 実施方針

■施設利用者や地域住民の多様なニーズに応える事業を実施

- 1期同様に施設利用者の利便性を高めるとともに、地域住民が気軽に利用できる場所として地域に貢献

■味スタとの一体運営によるメリットを活かした駐車場運営等の下記事業を実施

達成目標	○ 施設利用者の満足度を高め、再来訪率を向上させる	
事業内容	事業名称	事業の具体的な内容
	駐車場の運営事業	<p>◆味スタとの一体運営による効率化、障がい者への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓当施設での大型イベント開催時等、駐車場容量が不足する場合には、味スタとの一体利用施策の一つとして、味スタが管理する駐車場を当施設同等の条件で提供し、両施設を効果的に運用するとともに、施設利用者の利便性を向上させる。</li> <li>✓障がい者利用時の施設スタッフによる誘導、障がい者の来場までの導線計画の整備、障がい者割引等も実施する。</li> </ul> <div style="text-align: center;"> </div>
	カフェ運営事業 (カフェスペース)	<p>◆施設利用者の憩い・交流の場として気軽な利用を促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓多くの方が集う当施設及び隣接スタジアムのイベント開催時には、イベント間の憩いや利用者同士の交流の場として、カフェを運営する。カフェでは、季節やイベントに応じたオリジナルメニュー、上質なコーヒー等を提供する。主催者や施設利用者からの要望に応じて、弁当や飲料等のケータリングサービスも行う。</li> </ul>
	売店の運営事業 (メインアリーナ エントランス)	<p>◆施設利用者の手軽な利用に対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓売店でも、主食・軽食・飲料・スイーツ等バランス良くラインナップで販売</li> </ul>
	自動販売機の設置 事業	<p>◆一部機種は調布市社会福祉協議会の福祉の自販機を設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓スポーツ時の水分補給や観戦・観覧者等施設利用者への飲料提供を行う。また、利用者ニーズの高いアイスの自動販売機を導入。障がい者利用も想定し、ユニバーサルデザイン機種を導入する。現在、身体障害者福祉法・母子及び寡婦福祉法の規定の趣旨を踏まえ、一部自動販売機の売上を調布市社会福祉協議会に寄付しているが、今後は寄付対象の台数を増加</li> </ul>
	トレーニングルーム・ プール利用者への サービス提供	<p>◆利用者の利便性に配慮し、継続的なスポーツ参加を促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓スポーツブティック:スポーツウェア等のアイテム紹介や販売を行う。</li> <li>✓スポーツ用品のレンタル:利用者ニーズの高いタオル類やシューズ等のスポーツ用品を適正価格でレンタルし、仕事帰り等に手軽にスポーツを行ってもらうとともに、「まず試してみよう、馴れてみよう」を後押しする。</li> <li>✓プライベートロッカーの設置:継続的に通ってもらえるようプライベートロッカーを月額料金で提供する。</li> </ul>
イベント来館者への サービス提供	<p>◆大型イベント参加を目的とする来館者の利便性に配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓メインアリーナ利用者に対するサービス向上のための有料コインロッカーを設置</li> </ul>	

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

提案課題3-1(6)別表 利用者に対するサービス提供事業の事業実施計画  
[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容 (目的、料金、提供方法、営業時間、運営体制等)	収支の積算根拠 (支出には、人件費及び消費税を含む。)	指定管理者の収支計画	
			支出	収入
1	<p><b>【駐車場の運営事業】</b></p> <p>内容：自動車で来場する利用者、関係者などに向けて、貸し駐車場の事業を実施します。</p> <p>時間：平日・土 8:30～23:00、日・祝 8:30～22:00</p> <p>(大会イベント時) トレーニングジムやプール利用者の駐車スペースを確保すると同時に、イベント主催者へ貸切利用を提案し、利用サービスを向上させます。</p>			
2	<p><b>【カフェの運営事業】</b></p> <p>内容：当施設や隣接スタジアムの利用者、地域の住民も気軽に利用できる場として、カフェ事業を運営します。また、主催者や施設利用者からの要望に応じ、弁当や飲料等のケータリングサービスも行います。</p> <p>時間：イベント・大会開催期間にあわせて適宜 運営体制：委託方式</p>			
3	<p><b>【売店の運営事業】</b></p> <p>内容：施設利用者を主としたターゲットにし、手軽に利用が可能な主食・軽食・飲料・スイーツ等を販売します。</p> <p>時間：イベント・大会開催期間にあわせて適宜 運営体制：委託方式</p>			
4	<p><b>【自動販売機の設置事業】</b></p> <p>内容：スポーツ時の水分補給や観戦・観覧者等施設利用者への飲料提供を行います。また利用者ニーズの高いアイスの自動販売機や、障害者利用も想定し、ユニバーサルデザイン機種を導入します。更に、一部自動販売機の売上を調布市社会福祉協議会に寄付していきます。また、特産品やパン等を販売する自動販売機の設置に向け、地域福祉団体等と連携を行います。</p>			
5	<p><b>【スポーツブティックの運営事業】</b></p> <p>内容：スポーツウェア等アイテムの紹介と販売事業を実施します。</p> <p>提供方法：ジム・プール受付フロアにブティックエリアを設置し販売 販売品：(一例) スポーツウェア、靴下、シューズ、水泳キャップ、ゴーグル、タオル、シャンプーなどのアメニティ</p> <p>時間：営業時間内 運営体制：施設スタッフにより運営</p>			
6	<p><b>【スポーツ用品のレンタル事業】</b></p> <p>内容：施設を利用したいが、用品を持っていないという方を考慮し、用品を有料にて貸し出す事業を行います。</p> <p>提供方法：レンタル レンタル品：(一例) バスタオル・スポーツタオル、競技シューズ</p> <p>時間：営業時間内 運営体制：ジム・プール受付にて随時受付</p>			
7	<p><b>【プライベートロッカーの設置事業】</b></p> <p>内容：マイロッカーとして利用いただき、荷物も少なく通えるように、プライベートロッカーを設置します。</p> <p>時間：営業時間内 運営体制：ジム・プール受付にて随時受付</p>			
8	<p><b>【有料コインロッカーの設置事業】</b></p> <p>内容：メインアリーナ利用者に対するサービス向上のため、メインアリーナ棟3階エリアに有料コインロッカーを設置します。</p> <p>時間：営業時間内</p>			
			繰入額①	収入総合計③
			支出総合計② (①を含む。)	差引④(③-②)

- 利用者サービス事業の具体的な提案を記述すること。
- 「収支計画」は、指定管理者の年間収支を記述すること。
- 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。
- 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。

## (1) 広報

味スタと連携し、効率的かつ相乗効果の高い広報の仕組みを構築するとともに、当施設が東京2020大会の会場となったことを訴求し、さらに認知・関心の拡大に努めます。



- ①味スタの広報媒体との全面タイアップによる広報接触者数の拡大
- ②ダイバーシティ研修によってパラスポーツへの認知・関心を高める広報
- ③味スタ・地元鉄道会社の全面協力による媒体資産を活用した広報

### ア 広報活動の実施方針と取組

#### ■地域ネットワークを活用した広報の実施

- 「武蔵野の森総合スポーツプラザ要覧」を毎年度発行するほか、味スタと共同でイベント情報掲載チラシを作成し、両施設のネットワークを活用して幅広く広報します。
- また、より地域に親しまれる施設となるよう、地元自治体の広報誌での広報も継続し、住民に情報を届けていきます。
- パラトレセンや多摩障害者スポーツセンターや近隣の福祉施設等にも配布し、障がい者の利用を促進します（3か月に1度イベントスケジュールを掲載）。

#### ■地元鉄道会社の全面協力等、味スタの広報スペース・既存媒体を活用

- 味スタ専用の広報ボード（調布駅、稲城駅、明大前駅、笹塚駅）を活用するほか、地元鉄道会社の全面協力を得て交通広告や広報媒体を活用した広報活動を行います。

#### ■駐車場情報の発信による利用促進

- 公共交通機関での来場を基本としつつも、車で来館する利用者のために、駐車場情報の発信を積極的に行います。満空情報のリアルタイム発信等も検討し、利便性向上に努めます。

#### ■独自ホームページでわかりやすい情報提供、検索エンジンへの最適化によるサイト来訪者拡大

- 施設ホームページは開設後月間平均約32万PV（最大月約91万PV）、ツイッターのフォロワー数972（令和4年8月20日時点）を有しています。
- 今後は、ページ閲覧実績や行動フローなどの分析に基づきホームページのデザインを刷新し、サイト来訪者の求める情報を的確に届けるとともに、新たな体験の機会を提供する情報を発信し、さらなるサイト来訪者の拡大と施設の利用を促進していきます。
- また、スマートフォン対応のホームページも作成します。
- デザインの刷新にあたっては、ウェブアクセシビリティ方針を策定し、日本産業規格「JIS X8341-3」の適合レベルAAに準拠するよう努めるとともに、「やさしい日本語」の活用により、どなたにも見やすくわかりやすいホームページとなるよう、工夫します。

#### ■都庁広報への協力

- 都が行う各種広報活動について、原稿作成やチラシ送付等により協力します。

#### ■館内における情報提供

- 当施設のイベントや教室等の情報を掲載したチラシの配布や、館内のデジタルサイネージを活用した情報提供等を行います。外国人向けには施設の利用方法を記載した英文パンフレットの配布や、視覚障がい者にも音声や受付スタッフ等によりきめ細かく対応します。
- メディアや関係者等の施設視察に対しても、味スタでの実績を活かして的確に対応します。

#### ■海外メディアへの情報提供

- 英文リーフレットを活用し、海外メディアへの情報提供ツールとして活用するとともに、外国人の利用も促進します。

提案課題3〔スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務〕  
2 施設の事業を支える仕組み

(2)業務の品質管理

利用者満足度調査、地域住民との意見交換などにより利用者等のニーズや要望を把握するとともに、味スタとも情報を共有し、適切に業務の品質管理を行います。



- ①利用者のニーズや要望の把握にも留意した調査の実施
- ②味スタと一体的に行う地域住民との意見交換を通じてニーズや要望を収集
- ③味スタとも情報共有を図り、一体として改善・向上を図る取組を実施

ア 利用者等のニーズや要望を把握する方法

■短中期課題を解決するための利用者の利用状況や意向の把握

- アンケートBOX設置により日々のお客様の利用状況や意向を把握します。
- 当施設の利用者を対象としたアンケート調査の年1回実施。施設や事業の利用状況や管理運営及びサービスに対する満足度や要望を利用者視点から測定・分析。利用者満足度100%を目指します。
- 来館者に対してモニターアンケートを実施し、利用者の施設に対する潜在的な不満の発見等、利用ニーズ向上に向けた課題解決に努めます。

〈満足度調査実施概要〉

実施時期	毎年7月頃(予定)
調査対象	・個人使用施設利用者 ・専用使用施設利用者 ・事業参加者
調査方法	受付スタッフ等による配布・回収
調査場所	当施設内

〈満足度調査項目案〉※1期に実施した利用者満足度評価調査の項目を基本的に継続し、継続的な評価を可能とする

設問項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 利用者の属性(性別・年代・職業・居住地)</li> <li>② 利用状況             <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用施設、利用方法、利用曜日・時間、利用頻度</li> </ul> </li> <li>③ 利用経緯             <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用のきっかけ、むさプラ利用前の他施設の利用、むさプライメージ評価、むさプラの利用を決めた理由</li> </ul> </li> <li>④ 満足度評価             <ul style="list-style-type: none"> <li>・9つの評価要素:施設・建物、ロケーション・環境、安全管理、清潔状態(清潔さ)、掲示や案内表示の分かりやすさ、プール利用、トレーニングルーム・マシン利用、利用時間・利用料金、スタッフ対応による満足度評価</li> <li>・今後より良くするためのポイントや改善点</li> </ul> </li> </ul>
------	---

■地域住民との意見交換、地元自治体等を通じて寄せられるニーズや要望を集約し反映

- 当グループでは、既に地元3市との懇談会や、地元住民との意見交換会(年2回)を行う仕組みを有しており、これを当施設への要望やニーズの収集にも活用していきます。また、日々ホームページやスタッフ等を通じて寄せられるニーズについても集約します。
- パラトレセンや多摩障害者スポーツセンター、近隣の福祉施設等に対してもヒアリングを行い、障がい者のニーズや要望について把握し、障がい者の利用を促進するように業務改善に取り組みます。

イ 利用者等のニーズや要望を受けての対応について具体的な取組

■味スタとともに情報を共有して業務改善に取り組む

- 利用者等のニーズや要望は、当施設のスタッフとともに味スタとも共有し、当施設と味スタエリアを統合した改善策を検討し、業務内容改善に努めます。
- PDCAサイクルを活用しながら目標達成に向けて業務改善に取り組みます。

**TOKYOスポーツレガシービジョンが掲げる18施設のネットワークに積極的に参画し、かけがえがない価値の提供と健康で豊かに暮らせる東京の実現に貢献します。**

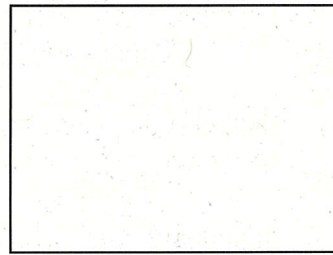


- ① ネットワークを活用した広報連携により、スポーツの魅力を強力に発信
- ② 施設を超えて活用できる取組の実施によるニーズ対応力の強化
- ③ 他施設との一体的取組によるスポーツ振興

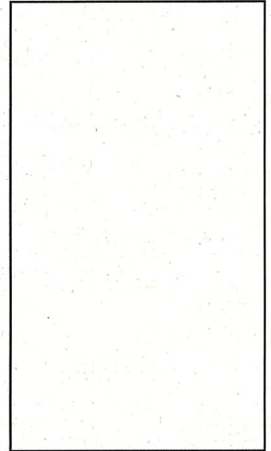
ア 都立スポーツ施設等のネットワークを生かした具体的な取組

■ 発信力の強化：東京のスポーツの魅力を強力に発信

- 都立18施設共通の施設ガイド作成やスポーツ TOKYOインフォメーション、SPOPITAなどのネットワークを活用した情報発信施策に積極的に協力することで、当施設の利用を促進するとともに、都内のスポーツの魅力発信に寄与します。
- ホームページやTwitter、FacebookなどのSNSの発信媒体を用いて、施設の取組やスポーツ関連イベント情報の相互発信を他施設と連携して行うなどにより、情報連携を一層強化し、東京全体のスポーツ活性化を進めます。



〈SPOPITAでの当施設施策掲載例〉



〈都のスポーツ関連情報Tweet例〉

■ ニーズ対応力の強化：施設を超えて活用できる取組の実施

- スポーツ振興事業や地域貢献事業の一部プログラムの体験メニュー化を図り、他施設でも再現可能な形にすることで、プログラム開発の活性化に取り組みます。また、他施設が実施した人気やスポーツ促進効果の高いイベントを当施設の事業に反映していきます。
- 他施設で開催されるスポーツ大会等のイベントに際し、必要に応じて当施設が有するスポーツ用具等の貸出に協力します。
- 情報発信の際には、「やさしい日本語」も活用し、どなたにもわかりやすいものとなるよう工夫するとともに、その取組を他施設に共有することで、都立スポーツ施設全体のニーズ対応力強化に取り組みます。



〈東京辰巳国際水泳場に貸し出した水球タイマー〉

■ 一体的取組によるスポーツ振興

- 味スタとの一体運営により周辺地域をスポーツの街として魅力度アップを図ります。利用者だけではなく、関連事業者やイベント主催者にとっても魅力的なエリア展開を図り、一体運営のモデルケースを目指します。
- 味スタやパラトレセンに加え、共に「武蔵野の森オリンピック・パラリンピックパーク」を形成する都立武蔵野の森公園(東京都公園協会管理)と連携したイベントを、スポーツの日記念事業と同時開催し、多摩のスポーツ振興を盛り上げます。
- 当施設単独で行う施設見学の受入れに加え、年1回味スタと合同で選手更衣室や運営室、VIPエリア等を巡るバックヤードツアーを実施します。東京2020大会の会場にて、大会の様子をボランティアの活動を含めて紹介することで、スポーツの「みる・する・支える」を推進します。
- パラスポーツについて、パラトレセンや多摩障害者スポーツセンターをはじめとする都内関連施設との積極的な連携を実施し、パラスポーツの普及・推進に取り組むことで、東京2020大会レガシーを継承していきます。



〈味スタ・武蔵野の森公園と連携したウォーキングイベントルート(案)〉

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

**各構成企業の適性及び実績を活かした業務体制を構築し、  
地域・関連企業と連携した万全な体制で施設運営を行います。**



- ①各構成企業の適性及び実績を活かし、専門性の高い人員を配置し業務を遂行
- ②地元3市、自治会及び関連企業との連携ネットワークにより、万全な施設運営体制を構築
- ③味スタとの相互応援体制を敷き、大規模大会開催時には柔軟に対応

ア 施設を運営するための組織を構築する上での基本的な考え方

**■各構成企業の専門性を活かした業務体制**

- 施設運営及び事業運営を統括する代表団体を始めとして、各構成企業は次ページ体制図に示したとおり、当施設の運営にふさわしい適性及び実績を有しています。これら各社の専門性を活かし、適切な業務分担のもと施設運営を行います。
- 定期的な団体間の情報共有・調整会議を開催するほか、大規模イベントの開催に向けては個別に運営会議を開催し、担当者間直接の情報共有を促進することで万全な業務体制を保ちます。
- なお、全体を統括する代表団体は、

それぞれ出身団体において一定の実務経験を積んだ正社員で、出向元の会社が得意とする分野での職務経験を活かして、質の高いサービスを提供をすることが可能です。

で当施設の運営を担当してい

**■地域及び関連企業との連携ネットワークによる万全な運営体制**

- 1期及び味スタの運営で培った、地域及び関連企業との連携ネットワークを最大限に活用し、施設運営、事業運営、交通調整等のための万全な体制を構築します。
- 地元の警察・消防、自治会、商店街等との協力関係を活かし、近隣地域における賑わい創出や安全・安心なまちづくりに寄与します。

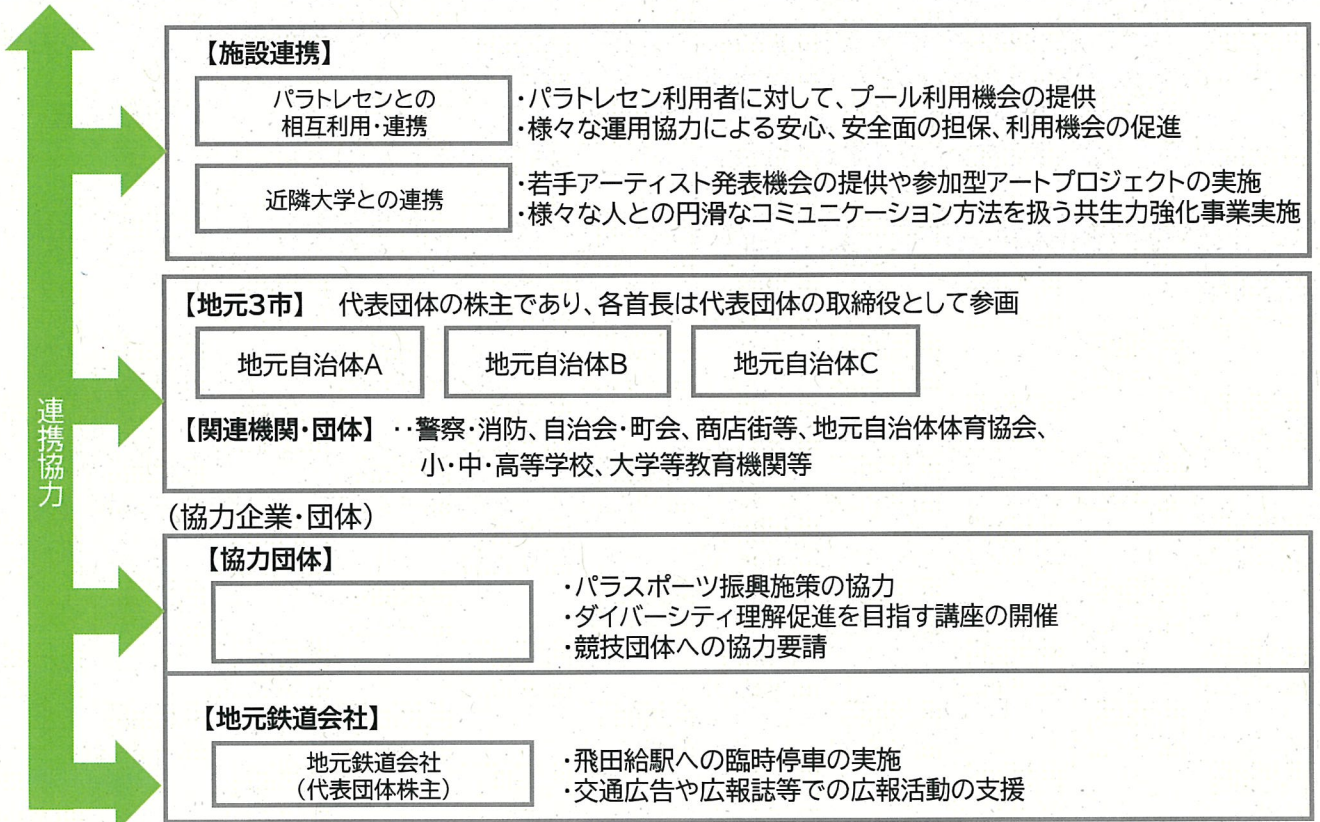
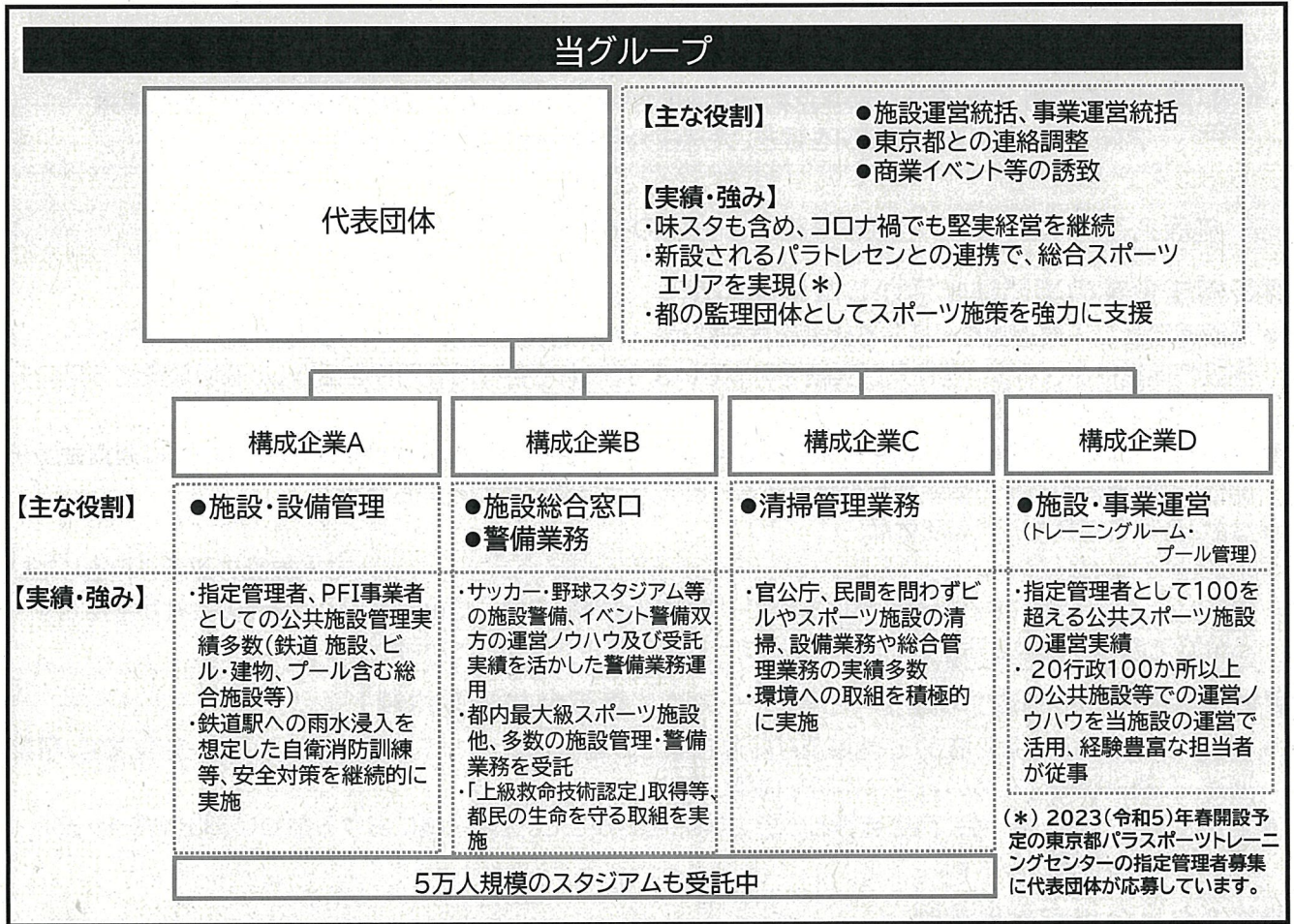
**■味スタとの相互応援体制**

- 日々の管理運営及び安全確保のために必要な人数を配置するに加え、世界大会等の大規模大会開催時は、味スタの経験豊富なスタッフの応援を仰ぐ等、柔軟な対応を行います。
- 味スタとのイベント同時開催時には互いに協力体制を敷くことで、ペDESTリアンデッキやスタジアム通り等の境界部分についても死角など漏れのない対応を取ることが可能です。

イ 具体的な運営体制(組織図と業務分担)

※別紙の通り

提案課題4-1 別紙 具体的な運営体制(組織図と業務分担)





【施設配置人員①】

役職	担当業務内容 (具体的に記入してください。)	能力・資格 実務経験年数等	雇用形態				1週間の 勤務時間	備考
			常勤	非常勤	委託	その他		
館長								
副館長								
管理業務責任者								
管理業務担当								
事業業務責任者								
事業業務担当								

【施設配置人員②-清掃】

役職	担当業務内容 (具体的に記入してください。)	能力・資格 実務経験年数等	雇用形態				1週間の 勤務時間	備考
			常勤	非常勤	委託	その他		
清掃統括責任者								
清掃業務責任者								
清掃業務副責任者								
清掃従事者								

【施設配置人員③-設備管理】

役職	担当業務内容 (具体的に記入してください。)	能力・資格 実務経験年数等	雇用形態				1週間の 勤務時間	備考
			常勤	非常勤	委託	その他		
設備管理業務責任者								
設備管理業務副責任者								
設備管理要員								
設備管理要員								
設備管理要員								
設備管理要員								
設備管理要員								
調整責任者								
設備管理要員								
設備管理要員								

【施設配置人員④-警備】

役職	担当業務内容	能力・資格	雇用形態			1週間の 勤務時間	備考
			常勤	非常勤	委託		
警備業務責任者							
警備業務副責任者							
警備員							
警備員							
警備員 (応援人員含む)							
受付係							

【施設配置人員⑤-プール・トレーニングルーム・受付】

役職	担当業務内容 (具体的に記入してください。)	能力・資格 実務経験年数等	雇用形態				1週間の勤務時間	備考
			常勤	非常勤	委託	その他		
トレーニングルーム 運営業務責任者								
受付運営業務責任者								
プール運営業務 副責任者								
トレーニングルーム 運営業務副責任者								
受付運営業務 副責任者								
プール監視員・ 自主事業担当								
トレーニングルーム 指導員								
受付業務								
プール運営業務 補助監視員								
トレーニングルーム補助								
受付業務補助								

**業務毎に責任範囲を明確にした組織体制を構築し、確実かつ的確に業務を遂行します。**



- ①業務ごとにライン化した組織体制とし、責任範囲を明確化
- ②明確な責任分担に基づき、それぞれの責任者の指示・安全管理等のもと適切に業務を遂行

ア 館長設置の考え方

**■施設の事業全体を統括する館長を設置**

- 施設の事業全体を統括する館長のもと、業務ごとに責任範囲を明確にした組織体制を構築します。

イ 各部門の責任者の役割及び位置づけ

**■明確な責任分担に基づく業務の遂行**

- 各構成企業は明確な責任分担に基づき、それぞれの業務を統括する責任者が、担当者への作業指示、安全管理、部門間の調整等を行います。

〈各業務の責任者と主な業務内容〉

	役職名	所属	主な業務内容
施設運営統括・事業運営統括	館長	代表団体	・本施設業務全般の責任者
	副館長	代表団体	・館長の補佐 ・管理業務、事業業務の総括責任者 ・当グループ内の連絡調整責任者 ・地元市及び関係機関、連携・協力企業との連絡調整責任者
	管理業務責任者	代表団体	・管理業務の責任者 ・東京都との連絡調整 ・地元市及び関係機関との連絡調整 ・管理業務担当者への業務指示、指揮監督
	事業業務責任者	代表団体	・事業業務の責任者 ・連携・協力企業との連絡調整 ・事業業務担当者への業務指示、指揮監督
施設・設備維持管理	設備管理業務責任者	構成企業A	・設備管理業務の責任者 ・味スタ調整責任者との連携 ・小規模修繕の検討及び実施 ・設備管理業務担当者への業務指示、指揮監督
	警備業務責任者	構成企業B	・警備業務の責任者 ・警備員・受付係ローテーションの調整 ・警備員・受付係への業務指示、指揮監督
	清掃業務責任者	構成企業C	・清掃業務の責任者 ・清掃従事者ローテーションの調整 ・清掃従事者への業務指示、指揮監督
個人利用施設運営	プール運営業務責任者	構成企業D	・プール運営業務の責任者 ・トレーニングルーム運営業務担当、自主事業担当との連絡調整
	トレーニングルーム運営業務責任者	構成企業D	・トレーニングルーム運営業務の責任者 ・プール運営業務担当、自主事業担当との連絡調整

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

**1期同様、公の施設にふさわしい適切な勤務体制を構築し、高い業務品質を確保します。**



- ①適切な勤務ローテーションによる業務品質の確保
- ②労働環境に関する法令等の遵守
- ③複数担当者制、応援体制の確保による柔軟な人員配置

ア 必要なサービス水準を維持できる勤務体制

**適切な勤務体制の構築**

**■適切な勤務ローテーションと業務品質の確保**

- 次ページ以降のローテーション表のとおり、業務ごとに無理のない勤務ローテーションを組みます。結果、職員の業務品質を確保し、利用者に対して質の高いサービスを提供できるようにします。
- 施設内イベント等の情報は全員に周知徹底し、勤務しているメンバーで対応可能な体制をとります。

**■トラブルや事故への迅速かつ適切な対応**

- 万一、トラブルや事故が起きた場合でも迅速かつ適切に対応できるよう、適切な人員配置を行い、即時対応可能な体制を整備します。
- 施設・設備管理業務では、24時間担当者が常駐し、設備管理と保守を行います。
- 警備業務では、原則365日社員を配置し、責任ある警備体制を維持します。
- 清掃業務では、日中時間帯及びメインアリーナイベント開催時間帯に常時スタッフを配置し、巡回清掃を実施します。
- プール、トレーニングルーム運営業務では、開館時間中は必ず正社員を配置し、アルバイト職員のみで対応する時間帯がない体制をとります。

**■関係法令等の遵守**

- 関係法令等を遵守し、適正な勤務時間の設定及び有給休暇の付与を行います。

**人員配置の最適化**

**■複数担当者による効率的な組織体制の構築**

- 業務ごとのメイン担当者の他にサブ担当者を置くことで、互いの業務を補い合いながら、繁忙時や緊急時には協力して業務にあたる等、適切な対応を行います。

**■応援体制の確保による柔軟な人員配置**

- 世界大会等の大規模大会開催時等、規模が大きくなることが予想される場合においては、本社や他事業所からの応援スタッフ、非常勤・臨時雇用等の活用により、必要な人員を確保します。
- 必要に応じて味スタの経験豊富なスタッフの応援を仰ぐことで、実績と規模を活かした安全・安心な対応を行うことが可能です。

**■多様な利用者への配慮**

- 年齢、性別、障がいの有無等、ありとあらゆる利用者が施設を利用することを考慮し、それぞれの利用者の立場に立った対応を行えるよう、適切な人員配置と研修を行います。

武蔵野の森総合スポーツプラザ1か月分の勤務ローテーション表

武蔵野の森総合スポーツプラザ1か月分の勤務ローテーション表

武蔵野の森総合スポーツプラザ1か月分の勤務ローテーション表



武蔵野の森総合スポーツプラザ1か月分の勤務ローテーション表

武蔵野の森総合スポーツプラザ1か月分の勤務ローテーション表

武蔵野の森総合スポーツプラザ1か月分の勤務ローテーション表

武蔵野の森総合スポーツプラザ1か月分の勤務ローテーション表

ダイバーシティの理念を発信していくため、多様な人材の育成とともに、障がい者への理解・パラスポーツを指導できる人材育成にも取り組みます。



- ①あらゆる利用者にわかりやすい対応徹底のため「やさしい日本語」講習の実施
- ②障がい者やパラスポーツに関する研修制度の実施
- ③資格取得の奨励によりスタッフの自主的なスキルアップを支援

#### ア 当施設の管理運営や、設置目的の達成に必要な人材の研修等の具体的な育成方針

- どなたにも理解しやすい対応や発信が行えるよう、やさしい日本語講習を受講します。
- パラスポーツの振興を図っていくために、スタッフ全員に障がい者やパラスポーツへの理解を促進し、ダイバーシティへの意識を高める研修制度を実施します。

#### イ 計画及び取組内容

##### ■あらゆる利用者にわかりやすく対応

- 外国人・子ども・障がい者など、どなたにでもわかりやすい対応や情報発信を徹底できるよう、スタッフ全員に「やさしい日本語」講習を実施します。

##### ■幅広い利用者への対応に関する人材育成

- 子どもから高齢者、障がい者といったありとあらゆる都民が利用する当施設において必要な知識を、スタッフ全員に根づかせるため、ダイバーシティの専門家を招いた研修を行います。

##### ■新入職員への研修

- 都のスポーツ振興を担う公の施設の運営に欠かせない、法令遵守、接遇、都のスポーツ推進計画等の基礎知識を習得させます。

##### ■円滑な運営体制の継続・発展

- 1期での経験を踏まえ、2期においても大型イベントに対応可能なスタッフを配置し、引き続き円滑な運営に取組みます。

##### ■業務上必要な研修・講習の受講

- 初級障がい者スポーツ指導員養成研修を受講し、指導員資格認定者を増やすことで障がい者のより一層の利用に対応します。
- 防火・防災管理講習、防災センター要員講習等、業務上必要となる講習等については、業務に支障をきたすことのないよう、対象となるスタッフに確実に受講させます。

##### ■外部研修・資格取得への奨励

- スタッフの自主的なスキルアップ等を促進するため、受講料補助等による支援を通じ、外部の研修や講座への参加を積極的に奨励します。
- さらに、資格取得に対する補助制度についても実施します。



〈研修〉

提案課題4-4 別表 人材育成計画

人材育成計画

対象	研修名	研修内容	回数
共通	新任研修	・本施設着任における基礎事項の研修	随時
	接遇研修	・接遇の心構え ・障がい者対応時の心構え	年1回
	総合防災訓練	・観客1万人の避難を想定した避難誘導訓練 ・消火器による消火訓練	年2回
	救命講習	・応急措置、心肺蘇生等の技能取得	年2回
	ダイバーシティ研修	・専門家を招いての講演、研修 ・最新の動向について学習	年1回
	やさしい日本語講習	・やさしい日本語の概要と意義 ・やさしい日本語の実践トレーニング	年1回
	障がい者スポーツ指導員養成研修	・パラスポーツの意義についての理解 ・スポーツ等を安全に楽しむための工夫	随時
	個人情報保護	・個人情報の保護と情報セキュリティに関する研修 ・改正個人情報保護法に関する教育	随時
	法令遵守対応	・コンプライアンス教育 ・当施設関連法令の確認	随時
	環境対策	・環境問題に関する基礎 ・当施設省エネルギー設備の把握	随時
プール運営担当職員	ハウスルール研修	・安全管理教育研修 ・プール監視研修	随時
	救助法研修	・AEDを用いた救命救助研修	随時
	セクション別スキルアップ研修	・監視マニュアルの教育	随時
トレーニングルーム運営担当職員	ハウスルール研修	・安全管理教育研修 ・トレーニングルーム指導研修	随時
	救助法研修	・AEDを用いた救命救助研修	随時
	セクション別スキルアップ研修	・トレーニング指導マニュアルの教育	随時

1 施設、附属設備及び物品の維持管理

(1)施設、設備及び物品の維持管理

1期及び味スタの施設、設備及び物品の維持管理を継続して行ってきた体制により、安全・衛生・機能を確保し、一体運営のメリットを活かして適切な管理を行います。



- ①味スタとの一体運営により維持管理に係る人材や機材等の共有、コスト削減等を実施
- ②1期目の維持管理実績に基づく計画的かつ効率的な予防保全により、施設・設備を長寿化

ア 実施方針

■味スタとの一体維持管理で人材や機材等の共有、コスト削減メリットを最大化

- 味スタの高所作業車やスライド梯子、空気環境測定機器を使用することにより、購入コストを削減しています。また、頻繁に使用する事が無い保守点検機器については、味スタと共有する事により、インシャルコスト・ランニングコストの削減を行っています。
- 味スタからの進入が不可欠なコンコース広場への車両の進入については、一体運営により円滑に実施します。味スタと接している接続橋や味スタの使用日時を情報共有し、効率的な運用を行います。
- 来場者の安全で快適な動線確保のために、大型イベント時など味スタ、主催者と連携し、周辺地域の巡回清掃を実施しています。また、降雪時には、緊急事案対応時の情報共有を行い、必要に応じて除雪作業等を行って来場者の安全を確保しています。積雪により利用者の導線が妨げられる際には、味スタと共同で導線確保を行っています。

■1期目の維持管理実績に基づき、計画的かつ効率的な予防保全を実施し、施設・設備を長寿命化

- 予防保全を重視し、中長期視点で修繕計画を作成。計画的に建物設備の点検や部品交換等を実施することで、機能及び性能を維持し、修繕費や管理コストの最適化を図り、ライフサイクルコスト(以下、「LCC」という。)を削減します。
- 保守点検記録(日報・月報・機器運転データ・修繕・更新の実績等)、LCC情報(光熱水費・修繕履歴)、建物図面等をデータベースで一元管理し、電気主任技術者や建築物環境衛生管理技術者等、有資格者に各種点検結果を確認させ、維持管理に役立てています。
- 有資格者(警備員指導教育責任者及び施設警備業務検定2級所持者を有する警備員)を配置し施設の安全を徹底管理します。

〈施設・設備の長寿命化を図る実施内容案〉

項目	実施内容案
空調	・中間期については外気冷房を主体としており、また、メインアリーナ、サブアリーナ観客席等の使用していない箇所の空調機を停止することにより、空調負荷を減らし、空調機や熱源機の運転時間の軽減を実施。
給湯、 プール温水熱源	・温水発生器や地熱ヒートポンプパッケージ等、台数の多い設備機器については、負荷に見合った台数を運転し、台数制御する事により運転時間を軽減。
冷温水循環ポンプ	・負荷に見合った効率的な運転を実施。
プール	・腐食・劣化防止のため、都度ブラシ等による日常清掃を行い、必要に応じて高圧洗浄機による清掃を実施。年1回水抜き・水張り時に清掃を実施。通常清掃はプール管理者が日々実施。 ・可動床を0mまで上げることで蓋の代わりとし、保温・塩素蒸発を防止。 ・プール天井内を外気で加圧する事により、塩素のばく露を最小限にし、躯体の発錆を抑制。

※ 本提案において、次期指定管理期間における大規模改修等による長期閉館は想定しておりません。

## 提案課題5〔施設の維持管理その他管理運営に関する業務〕

### 1 施設、附属設備及び物品の維持管理

#### ■ スタッフ全員による日常的な気配りによる異常発見と迅速な対応

- 設備・警備・清掃のスタッフ全員で常に施設の状況に気配りしながら、不具合箇所や異常の早期発見に努め、担当部署に迅速に報告、対応するなど円滑な施設運営管理を心掛けています。具体的には、日々の館内巡回時や監視カメラ警備によって、施設自体の破損や設置機器の不具合は設備に、汚損やゴミ類の放置物等は清掃に連絡し対応しています。また、設備員は24時間365日体制を敷き、必要に応じて味スタからの応援要員とともに異常対応に当たっています。
- 館長を物品管理責任者とし、台帳による適切な管理のもと、「備品シール」を貼付するほか、各部屋の備品レイアウト図を作成し、利用団体が適切に備品を管理・返却できるよう工夫を行っています。

#### ■ イベント開催に伴う破損確認、及び原状復帰・再発防止策の実施

- イベント開催後は通常の巡回の他、特にイベント利用が起因と思われる破損・汚損・設置物の移動等を発見する事を主眼とした臨時巡回を行い、発見時にはイベント主催者と共に異常箇所を確認。破損等の原因を明確にした上で、次の利用へ影響が出ないよう原状復帰作業の調整を行っています。
- 確認した破損原因から再発防止策について検討。物理的な補強や、利用団体への案内資料の見直しを行うことで、異常や不具合の発生自体を抑えるよう日々改善を図っています。

#### イ 実施体制

##### ■ 1期目の維持管理を担当する4社が継続して維持管理体制を構築

- 1期目の維持管理業務を実施する構成企業A、構成企業B、構成企業C及び代表団体がその経験とノウハウを活かし、継続して確実に業務を遂行します。

【設備保守管理】  
構成企業A  
(施設等管理責任者)

【警備業務】  
構成企業B

【清掃業務】  
構成企業C

【物品管理】  
代表団体  
(物品管理者)

※設備・警備・清掃を担当する3社はISO9001及びISO14001認証を取得済。ISO認証に基づき、マネジメントシステムによる高い業務品質を提供。

#### ウ 委託を行う業務

##### 【委託の際に注意する点】

- ✓ 専門知識が必要な点検については、メーカーによる保守点検を依頼しています。  
(メーカーによる保守点検一覧)
- ✓ 構成企業Aによる自前保守以外は、選定基準を定めメーカーへ委託します。
- ✓ 質の高い業務を確保できるよう、業務を委託した事業者には各担当者が立ち会い、安全や業務内容について管理・指示を行っています。



提案課題5-1(1) 別紙 施設、設備及び物品の維持管理

2023(令和5)年度以降の修繕計画

機器等	内容	2023	2024	2025	2026	2027	備考
誘導灯	バッテリー交換						
計装機器	バッテリー交換						
非常用発電機整備	6箇年点検						
	9箇年点検						
消火器	消火器交換						
コージェネ	循環ポンプ整備						
各種熱源ポンプ	ポンプ整備						
デシカント除湿機	消耗部品交換						
一部給排気ファン	長時間運転のものについて整備						
太陽熱利用設備	循環ポンプ整備						
温水ボイラー	消耗部品交換						
	循環ポンプ整備						
	熱媒ポンプ整備						
プールろ過設備	ろ布交換						
	塩素濃度センサー交換						
風呂ろ過設備	ろ材交換						
	ポンプメカニカルシール交換						
	ビーズボックス、濃度センサー交換						
	滅菌機消耗品交換						
機器等	内容	2023	2024	2025	2026	2027	備考
雨水ろ過設備	ろ材交換						
	ポンプメカニカルシール交換						
	塩素濃度センサー交換						
	滅菌機消耗品交換						
給湯循環ポンプ							
シャッター	障害物検知装置バッテリー交換						
冷温水発生機	真空部品交換						
	燃焼部品交換						
	安全、制御機器交換						
プール可動壁	コントローラー用ケーブル予備品						
プール可動床	バックアップバッテリー交換						
	バンドシャッター更新						
	目地材更新、ライン塗装						
	昇降チェーン更新						
	駆動モーター、操作パネル、シーケンサ等更新						
プレフィルター	空調機用プレフィルター更新						
電力メーター	電力量メーター更新						
水道メーター	水道メーター更新						
地下オイルタンク	耐圧試験						
各加圧給水ポンプ	アキュムレーター交換						
ガスヒートポンプエアコン	改正フロン法による点検						
機器等	内容	2023	2024	2025	2026	2027	備考
吊物機構設備	ワイヤロープ更新						
	インバータ関係更新						
	PLC関係更新						
	リミットスイッチ更新						
	操作卓更新						
修繕予備費							
年度合計							

提案課題5-1(1) 別紙 施設、設備及び物品の維持管理

委託業務一覧

区分	委託業務	業務内容	注意点
電気設備	受変電設備年次点検	点検、清掃、測定、連動試験	電気事業法に基づく点検、停電日の調整、加瀬電源の設置、機器の停止と復旧
電気設備	非常用発電機年次点検	点検、調整、測定、負荷運転、清掃	建築基準法、消防法、電気事業法に基づく点検、点検時期の調整
電気設備	直流電源装置年次点検	点検、調整、測定、清掃	建築基準法、消防法、電気事業法に基づく点検、点検時期の調整
電気設備	無停電電源装置 (UPS) 点検	点検、調整、測定、清掃	作業は直流電源装置年次点検に含む
電気設備	中央監視制御設備点検 (空調監視)	点検、調整、設定、清掃	点検時期の調整
電気設備	中央監視制御設備点検 (電力監視)	点検、調整、設定、清掃	点検時期の調整
電気設備	電話・情報設備点検	点検、調整、測定、清掃	点検時期の調整
電気設備	照明制御設備 (施設用) 点検	点検、調整、設定、清掃	点検時期の調整
電気設備	照明制御設備 (競技用) 点検	点検、調整、設定、清掃	点検時期の調整
電気設備	舞台照明設備点検	点検、調整、測定、清掃	点検時期の調整
電気設備	駐車場管制設備点検	点検、調整、設定、清掃	点検時期の調整
電気設備	太陽光発電設備点検	点検、調整、設定、清掃	作業は受変電設備年次点検に含む
電気設備	大型映像設備点検	点検、調整、設定、清掃	点検時期の調整
消防設備	消防用設備等点検	点検、調整、設定、試験	消防法に基づく点検、作業時期の調整と関係者や諸室利用者への周知
消防設備	防火設備検査	点検、調整、設定、試験	消防法に基づく点検、作業時期の調整と関係者や諸室利用者への周知
消防設備	放水銃設備点検	点検、調整、設定、試験	消防法に基づく点検、作業時期の調整
空調設備	ガス焼き吸収式冷温水発生機点検	点検、調整、運転切替、測定、清掃	点検時期と冷暖切り替えの時期の調整
空調設備	コージェネレーション発電機年次点検	点検、調整、測定、清掃	点検時期の調整
空調設備	エアハンドリングユニット	点検、調整、測定、清掃	点検時期の調整
空調設備	空調機フィルター交換	交換、清掃	点検時期の調整
空調設備	加湿器点検	点検、測定、清掃	点検時期の調整
空調設備	デシカント空調機	点検、調整、測定、清掃	点検時期の調整
空調設備	排煙機点検	点検、調整、設定、試験	作業は消防用設備等点検に含む
空調設備	ガスエンジンヒートポンプ式空調機点検 (室外機)	点検、調整、測定、清掃	点検時期の調整、改正フロン法に基づく点検
空調設備	太陽熱利用空調設備点検	点検、調整、設定、清掃	点検時期の調整
空調設備	自動制御装置点検	点検、調整、設定、清掃	作業は中央監視装置設備点検 (空調監視) に含む
給排水衛生設備	上水受水槽清掃	点検、清掃	建築物衛生法に基づく点検、作業時期の調整
給排水衛生設備	貯湯タンク開放点検	点検、清掃	建築物衛生法に基づく点検、作業時期の調整
給排水衛生設備	温水発生器点検	点検、調整、設定、清掃	点検時期の調整
給排水衛生設備	地熱ヒートポンプチラー点検	点検、調整、設定、清掃	点検時期の調整
給排水衛生設備	全自動砂ろ過装置点検 (風呂、雨水再利用)	点検、調整、測定、清掃、消耗品補充、交換	点検時期の調整
給排水衛生設備	プールろ過装置点検	点検、調整、設定、清掃	点検時期の調整
給排水衛生設備	プール用薬品注入装置	点検、調整、設定、清掃	作業はプールろ過装置点検に含む
給排水衛生設備	プール用水質管理装置	点検、調整、設定、清掃	作業はプールろ過装置点検に含む
給排水衛生設備	滅菌装置点検 (風呂、雨水ろ過用)	点検、調整、設定、清掃	作業は全自動砂ろ過装置点検に含む
給排水衛生設備	プール還水槽清掃	点検、清掃	点検時期の調整
給排水衛生設備	汚水槽、雑排水槽清掃	点検、引き抜き清掃	建築物衛生法に基づく点検、作業時期の調整、作業中の異臭と汚損に注意
その他	プール可動床設備点検	点検、調整、設定	点検時期の調整
その他	プール可動壁設備点検	点検、調整、設定	点検時期の調整
その他	アリーナ音響設備点検	点検、調整、設定、測定	点検時期の調整
その他	吊物機構設備	点検、調整、設定、測定	点検時期の調整
建築設備	自動ドア点検	点検、調整、設定、清掃	点検時期の調整
建築設備	昇降機点検	点検、調整、設定、清掃	消防法に基づく点検、作業時期の調整と関係者や諸室利用者への周知
建築設備	壁面緑化設備点検	点検、清掃、剪定、害虫駆除	植栽を枯らさない手段 (肥料投入時期や害虫駆除)、適宜な選定
検査・測定業務	ばい塵測定 (ボイラー、冷温水発生機)	測定、分析、調査	大気汚染防止法に基づく検査回数
検査・測定業務	飲料水、雑用水、プール水水質検査	測定、分析、調査	水道法、遊泳用プールの衛生基準に基づく検査枠数、検査時期の調整
検査・測定業務	レジオネラ属菌水質検査	測定、分析、調査	作業は飲料水、雑用水、プール水水質検査に含む
検査・測定業務	建築設備定期検査	点検、調査	建築基準法に基づく点検
検査・測定業務	特定建築物定期調査	点検、調査	建築基準法に基づく点検
検査・測定業務	温室効果ガス排出量検証	分析、調査	温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度に基づく調査、分析

# 提案課題5〔施設の維持管理その他管理運営に関する業務〕

## 1 施設、附属設備及び物品の維持管理

### (2)施設の修繕

中長期的視点に基づく計画的な修繕作業を実施するとともに、味スタや技術のある企業との連携により迅速な施設の修繕対応体制を構築します。



①集中作業時には、味スタの設備員を導入し、時間短縮を実現

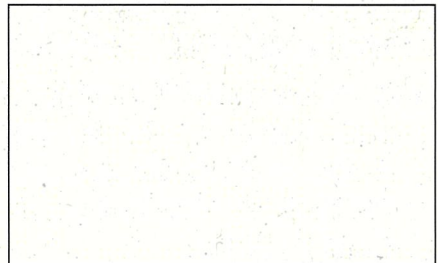
②技術のある企業と連携し、迅速な対応と地域貢献を実現

#### ア 実施方針

#### ■ 予防保全の観点から日常的に小規模な修繕(プリメンテナンス)を実施、大規模な修繕を抑制

- 中長期修繕計画をもとに予防保全を行い、大規模な不具合等が発生させないよう努めています。
- 設備担当職員の半数以上が第2種電気工事士の資格を保有し、照明の不具合や電気トラブル等について自社作業にて修繕を行い、外注コストの削減を行っています。他のトラブルについても設備責任者が外注するべき作業か、自社で修繕するべきか見極め、コストの削減を図っています。

〈中長期修繕計画のイメージ〉



#### ■ 点検作業を選別する事により、利用者への影響を最小化

- 実施すべき点検のうち、イベント負荷の少ない日にできる点検、休館日に実施しなければならない点検、夜間に実施するべき点検を選別する事により、休館日の点検負荷を減らし、効率的に点検作業を行えるようにしています。

休館日、開館時、夜間実施点検一覧

No.	設備名	実施日	No.	設備名	実施日	No.	設備名	実施日
1	変電設備	休館日、休館日	37	エアハンドリングユニット	休館日、夜間	72	汚水槽	休館日
2	分電盤設備	休館日		フィルター清掃(各室清掃点検と併せて実施)	休館日、夜間	73	湧水槽	休館日
3	非常用発電機	休館時	38	加温機	夜間	74	貯水タンク	休館日
4	燃料小出槽	休館時	39	全熱交換機	休館日、夜間	75	雨水移送ポンプ	休館日
5	地下貯溜タンク	休館時	40	デシカント空調機	休館日	76	プール給水移送ポンプ	休館日、休館日
6	逆流電源装置	休館時	41	フィルターユニット	休館日	77	変水第一体温加圧給水ポンプユニット(加温機)	休館日、休館日
7	無停電電源装置(UPS)	休館時	42	排煙ファン	休館日	78	給湯循環ポンプ	休館日
8	中央監視制御設備(空調設備 監視制御部に含む)	休館時	43	排煙機(消防点検に含む)	休館日	79	温水管循環ポンプ	休館日
9	中央監視制御設備(電力監視)	休館時	44	電気式ヒートポンプ(黒黒・定期点検)	休館日	80	冷温水循環ポンプ	休館日
10	中継・構内情報設備	休館時	45	ボイラースタットポンプ(給水機と併用(黒黒外機))	休館日、休館日	81	強制シャワーユニット	休館日
11	電話・情報設備	休館時	46	ボイラースタットポンプ(給水機と併用(黒黒内機))	休館日、夜間	82	各種排水ポンプ	休館日
12	電話時計設備	休館時	47	電気ヒーター	休館日	83	汚水マンホールポンプ	休館日
13	照明制御設備(施設用)	休館時	48	変風機制御(CAV-VAV)	休館日、夜間	84	汎用トイレシステム	休館日
14	照明制御設備(競技用)	休館時	49	太陽熱利用空調設備	休館日	85	ルーフドレン	休館日
15	駐車場管理設備	休館時	50	床暖房設備	休館日	86	プール可動床設備	休館日
16	監視カメラ(ITV)設備	休館時	51	デジタルサイネージ	休館日	87	プール可動床設備	休館日
17	入退室管理設備	休館時	52	自動制御設備	休館日	88	自動ドア	休館日
18	太陽光発電設備	休館日	53	ユニット型複合剤用薬注装置	休館日	89	シャッター(防火設備)	休館日
19	大気浄化設備	休館日	54	上水変水機(半次清掃含む)	休館日、休館日	90	昇降機	休館日
20	吊り物機設備	休館日	55	加圧給水ポンプユニット	休館日	91	自動排水システム	休館日
21	運搬設備	休館時	56	電気温水槽	休館日	92	空気清化設備	休館日
22	テレビ共聴設備	休館時	57	雑用水槽(雨水再利用水)	休館日	93	ロールスクリーン	夜間
23	インターホン設備	休館時	58	貯溜タンク	休館日	94	飲料水水質検査	休館日
24	トイレ呼出表示装置	休館時	59	雨水ろ過用薬品注入装置	休館日	95	雑用水水質検査	休館日
25	警音ガイドシステム	休館時	60	ウォータークーラー	夜間	96	プール水質検査	休館日
26	消防用設備等定期点検	休館日	61	温水発生機	休館日	97	レジネラ風量水質検査	休館日
27	防火対象物定期点検	休館日	62	地熱ヒートポンプチラー	休館日	98	空気環境測定	休館日
28	直営水収容式冷温水発生機	休館時	63	全自動砂ろ過装置(雨水再利用)	休館日	99	建築設備定期点検	休館日
29	コーズエネルギー発電機	休館時	64	プールろ過装置	休館日	100	特殊建築物定期調査	休館日
30	煤煙測定(ボイラー設備)	休館時	65	薬品注入装置(プール用)	休館日	101	舞台照明設備	休館日
31	煤煙測定(ボイラークラック・吸気式冷温水機)	休館時	66	水質管理装置(プール用)	休館日	102	アリーナ音響設備	休館日
32	冷却塔(4月～10月)	休館時	67	ろ過装置(風呂ろ過)	休館日	103		
33	各種空調機交換機	休館時	68	運搬装置(風呂ろ過用)	休館日	104		
34	各種熱源用ポンプ	休館時	69	雨水貯留機	休館日	105		
35	密閉式貯溜タンク	休館時	70	プール温水槽 清掃	休館日	106		
36	ファンフィルユニット	休館日、夜間	71	雑排水槽	休館日	107		

〈休館日、開館日、夜間の点検一覧〉

#### イ 実施体制

#### ■ 味スタと連携した体制の構築、中長期計画に基づく予防保全の実施

- 構成企業Aにより日常巡回や定期点検で発見した不具合に対する小規模修繕や、中長期修繕計画に基づく予防保全として計画的な修繕を行っています。また、必要に応じて味スタからの設備員応援による連携体制を構築しています。

#### ■ 技術のある企業との連携による迅速な対応体制を構築

- 外注業者については、製造元・施工元のメーカーを積極的に採用し、点検を行っています。また、メーカー以外についても隣接スタジアムで培った経験を元に信頼できる企業、技術力のある企業・地元企業を選定しています。

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

(1)危機管理及び災害対応

**味スタと一体的な警備体制、防火・防災体制を構築することで、想定される危機を未然に防ぐとともに、災害時等に迅速かつ適切に対応します。**



- ①味スタとの一体的な避難路確保・誘導や情報共有等、一体的なリスクマネジメントを実施
- ②多くの障がい者の利用を想定し、潜在リスクの洗い出しや日常的な訓練を実施

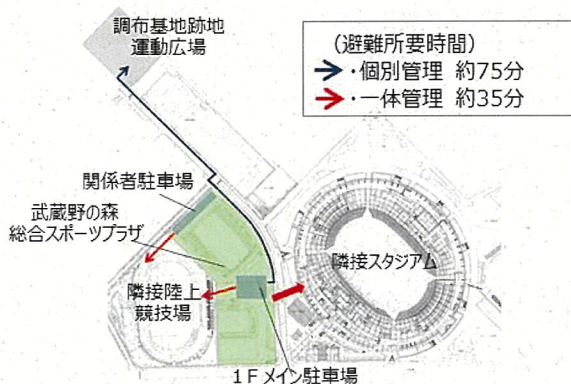
ア 施設内での事故及び事件並びに災害等、想定される危機及びそれに対する対応策と体制

火災・災害発生時の対応

**■味スタとの一体的な体制により、隣接陸上競技場への避難動線を確保し、一体的な定期訓練を実施**

- 味スタと合同消防訓練を実施し(2021年のみ東京2020大会に伴い、別開催)、避難時の連携訓練を行いました。消防計画においては、AGFフィールド(西競技場)を一時避難場所と設定し、連携を行っています。(再掲)
- また、避難誘導訓練では、車いす利用者等も想定し、障がい者の安全確保を含め、万全の備えを行っています。

〈誘導導線のシミュレーション結果〉



\*前提条件:メインアリーナ1万人規模のコンサートを想定し計測



合同消防訓練の様子



消防訓練の様子



車いす利用者の避難誘導訓練

**■大規模災害発生時には一時避難場所として必要な備蓄や最低限の電源と照明を確保**

- 防災備蓄庫に帰宅困難者用飲料水、食料、エアマット、トイレ袋等を備蓄しているほか、マンホールトイレの設備も備えており、有事の際には一時的なアリーナ開放含め、資材や滞在場所を提供することができます。
- 大規模災害時のバックアップとして非常用発電機による発電が10時間、その後、ガスが開栓されていれば、コージェネレーション設備による発電ができるようになっており、最低限の電源と照明を確保できます。
- 当グループは、多摩地域に多くの社員が居住していることや、近隣に事業所が多くあることから、災害時スタッフが直ちに参集、施設の安全な運用を図ります。

事故・急病発生時の対応

**■味スタを含む全社員が「上級救命技能認定」を取得し、的確な対応を実施**

- 全社員が「上級救命技能認定」を取得し救急時には的確に対応、都民、来場者の生命を守ります。
- 「スポーツ施設におけるAEDの設置・管理のあり方に関するガイドライン」に基づき、AEDを来場者の動線上に適切に配置し(9台設置)、日常点検をしっかりと行うとともに、定期的に訓練を実施します。
- 疾病や感染症対策についても、都との連携対策の実施やマニュアル整備等を通じた迅速な対応をします。
- 利用者に対しても、当施設のルールに基づきピクトグラム等でわかりやすく利用者の目につきやすいよう看板やチラシ等で注意事項を掲示します。
- あわせて、事故・急病等に備え、「賠償責任保険」(てん補限度額:対人・対物共通20億円)と「レジャーサービス費用保険」に加入し対応します。



事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

## 提案課題5〔施設の維持管理その他管理運営に関する業務〕 2 その他管理運営に関する事項

### 犯罪防止の対応

#### ■味スタと連携した巡回警備を実施し、情報共有により機動的で迅速な対応を実現

- 巡回経路は、所要時間及び効率を考慮し、館内また外構部を一筆書きで全ての箇所を回れるように設定しています。監視カメラの死角になる部分等をカバーし、監視カメラにて確認される異常は都度、現地及び周辺巡回を行い対応することで警備員の存在を示し犯罪防止につなげることで利用者への安全を確保しています。
- 巡回警備またはカメラ監視において発見した事案は、影響の有無に限らず、味スタ防災センターと情報を共有し、味スタ及び当施設の一体での防犯に役立てています(不審人物の情報共有や、各ゲート類の状況報告等)。
- 味スタと連携し、日々監視カメラにて来館者の監視警備を実施しています。現在までに防犯上大きな事案は発生していませんが、さらなる安全確保のため、監視カメラの増設が必要と思われる箇所については、ご相談いたします。

#### ■地元警察・消防と連携した警備・防火体制の確保

- 大型イベント開催時には、地元警察署や消防署に開催内容と警備計画の届出を行い、情報共有を実施しています。イベント当日は、規模に応じて、警察官・消防官が会場内に常駐し、警備への現場指導と警戒連携を行うことで、安全確保に努めています。

#### ■不審者に備えた訓練を定期的に味スタと共同実施

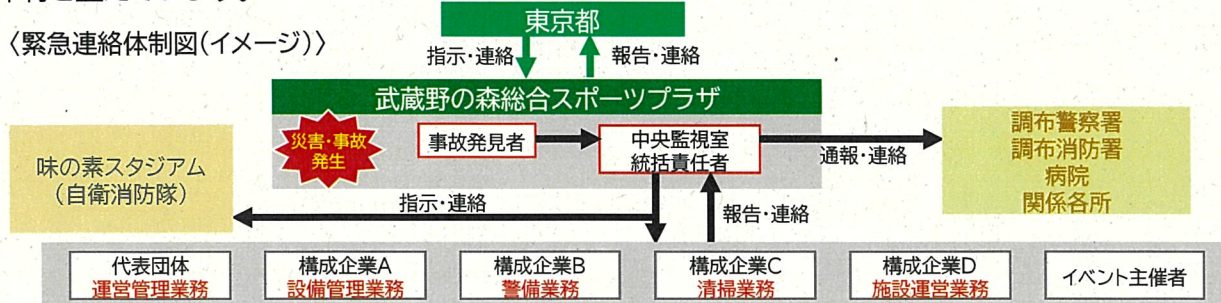
- 地元警察の指導のもと、さすまたの使用方法や簡単な護身術について、味スタと共同で訓練を実施しています。
- 不審者の侵入に際しては、警察が到着するまで不審者の行動を制限し、利用者の安全確保に努めます。



### イ リスクマネジメント体制

#### ■味スタと一体的な緊急連絡体制を構築

- リスクを未然に防ぎ、事故・災害等発生時には連携して機動的に対応できる体制を、味スタと一体的に整備します。
- 1期及び味スタでの実績に基づく地元警察・消防とのリスクへの共通認識、信頼関係を活かして体制を構築します。
- 消防計画を策定し、統括防火管理者を配置。また、味スタと連携した自衛消防隊を構成し相互の円滑で迅速な連携を図ります。
- 危機管理マニュアル(火災発生時・地震発生時)については、総合防災訓練・火災訓練で確認を行い、日々更新を行っています。また、イベント主催者と避難経路や自衛消防組織を共有し、有事の際は遅延なく動ける様に体制を整えています。



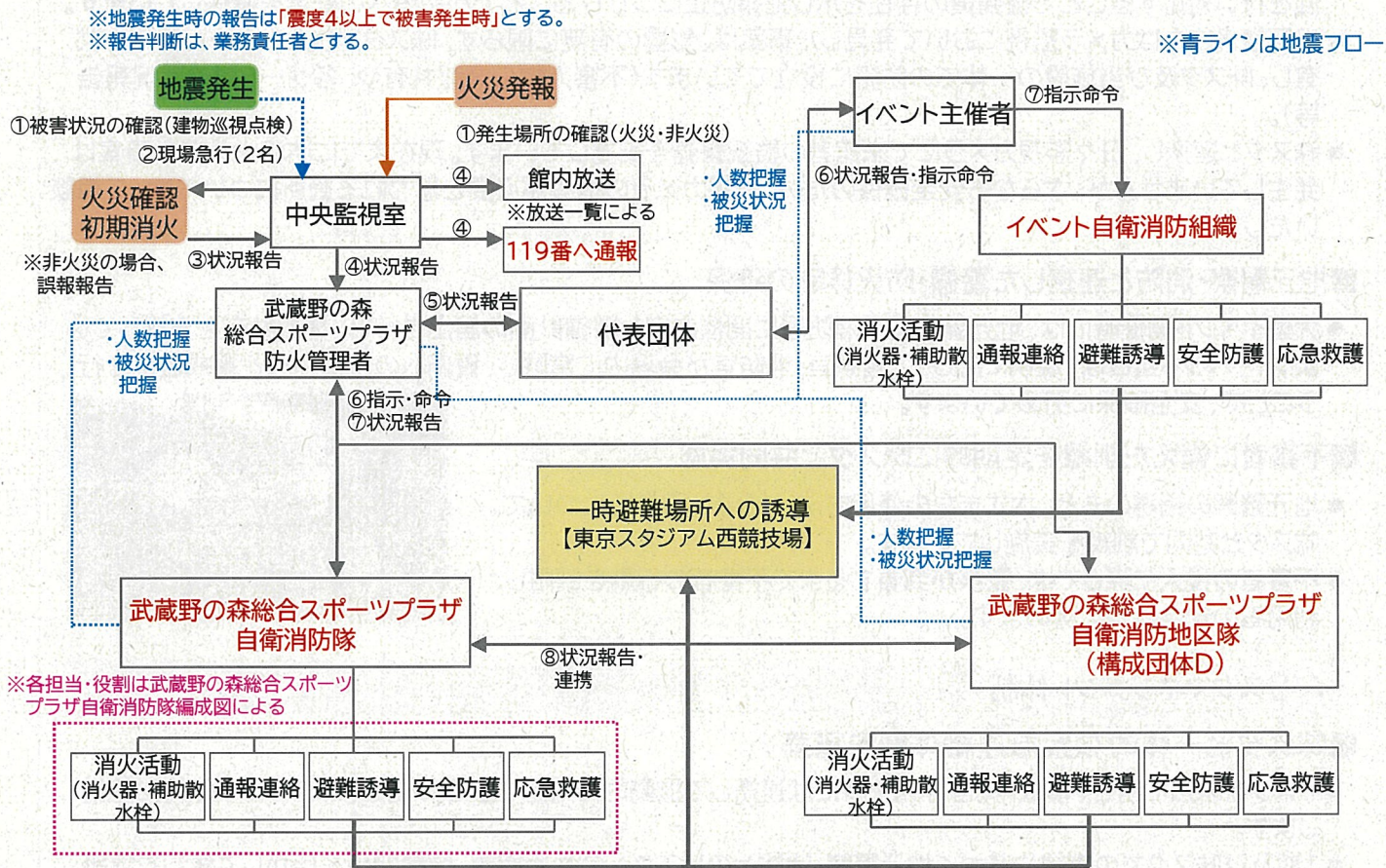
#### ■潜在リスクを抽出・分析・評価し、対応策を当施設及び味スタとも共有

- 館長をリスク管理責任者として、業務における潜在リスクの抽出、分析・評価を行い、対応策を決定の上、当該業務を担当するスタッフに対し周知徹底を図ります。リスク及び対応策については、味スタとも共有します。
- 特に、パラスポーツ振興のため多くの障がい者の来場を見込むことから、様々な障がい(視覚・聴覚・肢体不自由・知的等)についての潜在リスクを想定して対応します。

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

武蔵野の森総合スポーツプラザ 緊急対応フロー図



【注意事項】

- ①地震発生・火災警報発報時は、上記フローに基づき迅速に行動すること
- ②指示・命令・報告は的確に行うこと
- ③関係者は「武蔵野の森総合スポーツプラザ 自衛消防隊 編成図」の役割を事前に把握し、有事の際は自分の任務を確実に実施すること

提案課題5〔施設の維持管理その他管理運営に関する業務〕

2 その他管理運営に関する事項

(2)地球環境への配慮

都の施策を踏まえ、1期及び味スタでの実績を活かして様々な環境配慮施策に取り組むとともに、地域や利用者に幅広く普及啓発を図り「スマートシティ」実現に貢献します。



①都の環境確保条例に基づき、各環境施策をふまえて環境配慮への取組を実施

②地域との関係性を活かした、都民・企業を巻き込んだ普及啓発の実施

ア 都の施策を踏まえた環境配慮への取組

- 都の環境確保条例に基づき、「ゼロエミッション東京戦略2020 Update & Report」、「緑施策の新展開～生物多様性の保全に向けた基本戦略～」「省エネ・再エネ東京仕様」「ゼロエミッション都庁行動計画」等の環境施策を踏まえ、また、「特定地球温暖化対策事業所」となった場合には都とともにCO2排出抑制に適切に取り組めます。
- 代表団体は、平成21年に地元自治体より、環境にやさしい事業所「エコ・オフィス」のゴールドランクの認定を受けており、当施設もこれを目指し、グループ及び地域一体となって取り組めます。

- 設備の効率的な運転によるエネルギー使用量の削減と再生可能エネルギーの活用に取り組む。
- 館長を廃棄物管理責任者とし、4R(Refuse、Reduce、Reuse、Recycle)の推進を基本に、効率的にゴミ減量を促進し、適正な処理を行う。
- 化学物質への使用に配慮し、利用者やスタッフの安全や、地球環境保護に貢献する。

エネルギー使用量の削減、再生可能エネルギーの活用

設備の効率的な運転	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BEMS及び中央監視設備のデータをもとに再生可能エネルギーである太陽熱利用設備や太陽光発電設備、地中熱利用設備を積極利用している。</li> <li>・自家発電のコージエネ設備稼働における排熱をプールの保温や館内冷暖房に積極的に活用し、エネルギー使用の効率化を行っている。</li> <li>・上記再生可能エネルギーの設備を使用し、年間約100,000kg-CO2以上の二酸化炭素排出量の削減を行っている。</li> </ul>	
再生エネルギー利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光パネルの点検を実施し、埃等の蓄積がある場合は、埃の除去を実施し発電効率の低下を防止する。</li> <li>・再生可能エネルギー100%に向け、現在電力会社等と調整を進めているところ。供給が受けられ次第、グリーン電力の購入を進める。</li> </ul>	
省エネルギーへの取組	中間期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外気冷房を主体とし、メインアリーナ・サブアリーナ観客席等の使用していない部分の空調機を停止することにより、エネルギー使用量の削減を行っている。</li> <li>・イベントが無く、冷暖房の必要がない場合に排熱ファンのみを運転し、換気のみで運転を実施</li> </ul>
エネルギーコストの削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水栓類については止水栓開度を全開より3/4程度に設定し、流量を抑えることで節水に努めている。</li> <li>・照明照度については、メインアリーナでは清掃などの作業の際は300LX、イベントの開催での初期照度を500LX(特に指定がない場合)にするなど、可能な範囲で照度の軽減に努めているほか、使用しない箇所の照明は消灯するなどエネルギーコストの削減に努めている。</li> </ul>	

廃棄物の発生抑制・リサイクル推進・適正処理

リサイクル率の向上と廃棄物減量への取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者に対して、館内掲示により、分別収集を呼びかけている。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症以前は、当施設より排出されるごみを清掃で再分別し、リサイクル化・資源化を進めていた。現在は、感染リスクを鑑み、再分別は実施していないが、生ごみ等の廃棄物からバイオガスを回収し発電エネルギーへの再利用等、減量への取組を行っている。</li> </ul>
グリーン購入推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物品、備品、消耗品類は「東京都グリーン購入推進方針」に基づき選定</li> </ul>

化学物質対策

環境に配慮したケミカル類の選定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用する洗剤やワックス、虫・ねずみ等を駆除する薬品等は、「化学物質等安全データシート(SDSシート)」に基づき使用している。</li> </ul>
-----------------	---

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

イ 都民等への環境に関する普及啓発についての取組

- 1期目及び味スタにおいて実施してきた、地域住民等を巻き込んだ環境に関する取組を活かし、当施設の利用者やイベント来場者、主催者等、幅広く普及啓発を図っていく取組を継続します。

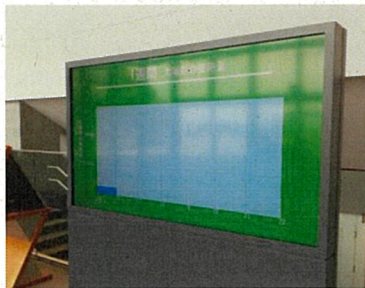
【取組例】

館内表示による啓発

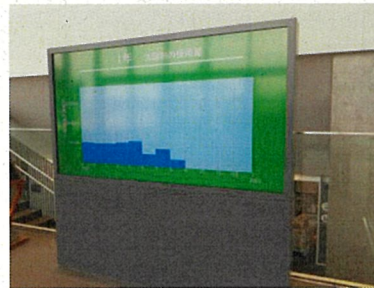
- ・ 太陽光や太陽熱等の再生可能エネルギーの使用量等をサイネージに表示

都民等を巻き込んだ取組の実施

- ・ 省エネと環境配慮を実現している施設の特性を活かし、地元の教育委員会等と連携し、小中学生の環境学習ツアーを実施するなど、地域住民の環境意識の向上に貢献
- ・ また、味スタと一体的に実施するイベント(味スタとの合同感謝デーイベント等)においても、再生可能エネルギーや省エネルギーの設備を見学及び説明する機会を設け、環境保護に向けた取組を環境学習に活用
- ・ アリーナ屋上庭園の無料開放
- ・ 隣接陸上競技場から周辺の緑をつなぐ散歩コースの設置
- ・ スタッフに対する意識啓発として、全体会議にて館の電気・ガス・水道使用量と二酸化炭素排出量について報告



太陽光発電の電力量をサイネージで表示



太陽熱の使用量をサイネージで表示



(3) 個人情報の保護

**PDCAサイクルにより個人情報保護体制の継続的な運用改善を図り、個人情報保護に万全を期します。**



- ①当グループ及び味スタにおいても事業開始以来、個人情報漏えい等の事故を発生させていない体制を基礎としつつ、グループで一体的な個人情報保護体制を継続して実践
- ②法令改正に的確に対応するほか、職員の個人情報保護に関する知識や取扱いを定期的にチェックし改善を図ることで、個人情報保護体制の運用を継続的に改善

ア 取扱いを想定している個人情報に対する具体的な取組

■ 個人情報保護体制の確立

- 当施設では、氏名、生年月日、住所、電話番号等の個人情報を、最小限の範囲で収集します。
- 代表団体が顧客等の個人情報を取扱うにあたり、使用している「個人情報の保護に関する要綱」に基づき、個人情報保護を徹底します。
- 加えて、館長を責任者とする全職員を対象とした研修及びチェック体制を構築することで、個人情報保護の職員への徹底と運用の継続的な改善を実現します。

個人情報保護の具体的な取組

個人情報の収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的を明確にしたうえで、本人同意のもと、運営に必要な最小限の範囲で収集する。</li> <li>・本人から直接収集することを原則とし、万一第三者から収集する場合は、改正法に基づき、当該第三者の氏名や情報取得の経緯等を確認する。</li> </ul>
適正な管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名簿や利用申請書等、個人情報を記録した媒体は、書庫への収納と施錠を徹底。また、電子データはパスワードを付すことで、担当者以外が閲覧できないようにする。</li> <li>・個人情報の紙・電子媒体による社外への持ち出し又はメール等による送信は、禁止する。業務上やむを得ず持ち出し等を行う場合は、館長の許可を得るものとする。</li> <li>・保有の必要がなくなった媒体は、裁断や溶融、破壊等により、物理的に判読できないよう処分する。</li> <li>・職員のパソコン端末は、ワイヤー固定を行うとともに、ログインパスワードを設定。また、専門業者により、不正アクセスやウイルス等への技術的な対策を実施する。</li> </ul>
情報漏えい時の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・万一、個人情報の漏えい、紛失等が発生した場合は、速やかに本人にお知らせするとともに、東京都や関係機関に報告する。併せて、漏えい等の事実関係や経緯、対応策等を公表する。</li> </ul>

イ 個人情報の取扱いや行政処分を行う上で発生する守秘義務を遵守し職員に履行させる取組

個人情報保護の職員への徹底

研修及びチェック体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルバイト等も含む全職員に対し、業務開始前に一度、開始後は定期的に研修を実施し、個人情報保護の重要性について意識の向上を図るとともに、要綱に基づく取組を徹底。</li> <li>・日常業務における個人情報の取扱いについて、各業務の責任者による管理を徹底するほか、館長が定期的に職員の理解度及び取組み状況の確認を行うことで、継続的に改善を図る。</li> </ul>
個人情報保護に係る研修の実施と徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要項に基づき、研修の場等を通じて職員に徹底する。</li> <li>・法令及び要綱の改正や、業務の状況等を反映し、継続的に手引きの見直しを行う。</li> </ul>
<b>守秘義務の遵守徹底</b>	
守秘義務の職員への徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・守秘義務については、個人情報保護と併せて定期的に研修を実施し、全職員に周知徹底</li> </ul>

(4)感染拡大防止

不特定多数の方が利用される施設として、感染症等の拡大が起きないように、引き続き高い危機感を持って対策を講じていきます。



- ① 館内及びYouTubeチャンネルで「入館者数を見える化」。利用者へのコロナ防止対策を徹底
- ② 代表企業が「新型コロナウイルス感染症拡大予防対策」を策定し、グループで共有

ア 感染症拡大防止のために必要な取組

- ホームページにおいて事前に、申し込み時、来場時及び実施時における注意事項と要請事項を「都立スポーツ施設等の再開館に向けた感染拡大防止ガイドライン」に基づき説明・告知しています。
- 管理者主催の各種施策においては入館時に検温および手指消毒、体調チェックシートを来場者に記載してもらうと共に、ガイドラインに沿って施設の換気、マスクの着用喚起、人数制限の実施など、密を避ける案内などを実施しています。業務前には、スタッフ自らが業務の確認反復練習をし、万全を期しています。
- 現在、サブアリーナ、メインアリーナについては、複数団体による施設同時利用を原則停止しています。
- 利用時間が重複しないよう、各団体利用の合間に換気時間を設け、感染拡大防止を徹底しています。
- ジム・プールエリアの混雑状況を確認したいという利用者ニーズに応え、リアルタイムの利用者数を館内モニターとYouTube配信で提供します。
- 「新型コロナウイルス感染症拡大予防対策」を代表企業が策定し、むさプラ全体会議にてコンソ各社にも周知徹底済みです。
- 施設従事者においても、日々の検温レポートに加え、除菌、マスク着用の他、必要に応じて抗原検査を実施しています。

【取組例：受付】

感染症拡大防止のための運営備品の設置

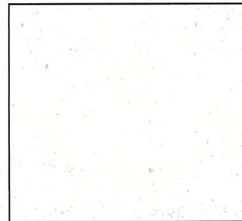
- ・ 除菌アルコール台の設置と運営
- ・ 体温測定器の設置と運営
- ・ アクリルパネルの利用
- ・ スマホアプリ 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)の登録促進の案内を実施



入口に検温期、消毒液の実施



検温の実施



受付にパネル設置



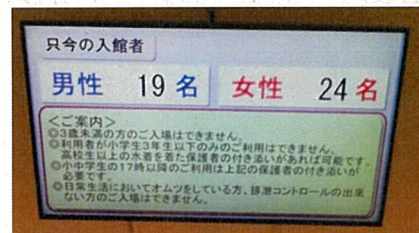
使用器具の定期的な消毒

【取組例：YouTube】 <https://www.youtube.com/channel/UCmbxJhqY5U1nD7BfKxnCGQ>

YouTube内で「武蔵野の森総合スポーツプラザ 公式チャンネル」を運営



- ・ ジム・プールの館内滞在者数が一眼でわかる専用チャンネルを運営
- ・ 来館予定者は、三密を回避すると同時に、事前に現在の利用者数を事前にリモートで確認できることで好評



現在の入館者数表示例

**積極的な事業実施によるスポーツ振興・地域貢献と  
withコロナ時代のライブエンタメ需要獲得による収益最大化の両立を達成します。**



- ①開業からの管理実績に基づく堅実な収支計画
- ②ライブエンタメ興行本数増加による指定管理料削減
- ③味スタとの一体管理による費用削減

ア 収支計画のポイント

**■スポーツ・エンタメのバランスを取る編成で、収益最大化と実績値に基づく支出計画の立案**

- 1期の運営実績を元に、収入・支出を積み上げて収支計画を作成しました。
- 1期での年間収入の最大は2018(平成30)年の。この年はコロナ前だったことに加え、都内の類似施設が東京2020大会に向け閉館・改修していたため、通常他会場での利用を常とする収益性の高いスポーツ・商業イベント等の需要が当施設に集中した特別な年でした。結果、当初の計画(スポーツイベント30本、商業イベント26本)を大きく上回るスポーツイベント41本、商業イベント31本という好実績となりました。
- 今後5年の見通しについては、上述施設の改修工事が終了し通常運営に戻っていること、またその他の同規模施設が多数新設されていることを鑑みると、2018(平成30)同様の収入を期待することは困難です。
- そこで、本提案においては、メインアリーナ(土日枠)の商業イベント(商業スポーツ、コンサート等)の比率を高めることで、収益性の確保を図りました。
- また、支出については、これまでの実績を全て精査し、必要最低限の費用計上とすること、また、味スタと一体管理による効率的な人員配置や備品の共有利用・リユースにより支出の削減を実現し、2024(令和6)年から2027(令和9)年までの指定管理料を参考価格同額の1.61億円に縮減しました。
- 2023(令和5)年度は1期の方針に従い、優先予約を決定済であり、見込まれる商業イベント数に制限があることから、その収入減を勘案し、指定管理料は2.5億円で計上。メインアリーナの土日枠では、商業イベントの比率が高まりますが、大型スポーツイベント誘致も引き続き継続するとともに、メインアリーナの平日枠とサブアリーナを中心とした地域スポーツ活動の推進、スポーツ振興、地域貢献、トレーニングジムやプール等を活用した自主事業実施によるスポーツの促進に努め、スポーツ拠点としての役割を果たしてまいります。

イ 収支計画変動時の対応

**■赤字軽減の施策とグループ内での負担**

- 損失が生じた場合は、グループ内で赤字分を業務受託割合に応じて負担します。

**■利益の利用者への積極的還元**

- 指定管理料収支で利益が生じることが見込まれる場合は、①地域貢献事業、スポーツ振興事業等のサービス拡充、②施設の管理・補修修繕、競技用備品の更新等、の順番で充当してまいります。なお履行にあたっては、都と十分に協議の上、決定いたします。

ウ 収益向上の取組

**■積極的なイベント誘致と徹底したコスト削減**

- 開業からの運営実績で構築した主催者との良好関係と、国内有数の大規模イベント会場の運営実績を有するグループ企業ネットワークを活用し、コロナ後の復調が堅調なライブエンタメイベントの誘致増を目指します。

【メインアリーナ土日祝枠】	①令和5年	②令和6年以降	②-①	指定管理料影響額
商業スポーツ/コンサート本数	年間26本	年間35本	年間9本増	

- これまでの運営実績から、収益性の高い自主事業・利用者サービス事業を展開し、収益を繰り入れることで指定管理料削減を実現します。

	①自主事業収支	②利用者サービス事業収支	指定管理料影響額(①+②)
繰入額			

- 実績をベースとした必要最低限の支出構成や、味スタとの一体管理により費用の削減に取り組めます。

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

提案課題6 別表 指定管理期間中の収支計画

(1) 支出の計画

単位：千円

項目		5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計	内容	備考
人件費	正規職員								別紙1積算内訳①
	臨時職員							7M <sup>1</sup> イト、派遣職員、非常勤職員等	
	人件費計(A)								
管理運営費	光熱水費							電気・ガス・水道・燃料	別紙1積算内訳②
	消耗品費等							消耗品、備品、印刷製本、原材料等	別紙1積算内訳③
	役務費							電話・通信・運搬費等	別紙1積算内訳④
	委託費(維持管理費等)							設備保守・清掃・整備・その他業務委託等	別紙1積算内訳⑤ 及び別紙2委託費内訳
	修繕費・工事費								別紙1積算内訳⑥
	賃借料							リース料等	別紙1積算内訳⑦
	その他							諸謝金・旅費交通費・その他経費	別紙1積算内訳⑧
	小計								
	間接費							管理運営に伴う本社等の経費(人件費を含む。)	
	合計								
消費税									
管理運営費計(B)									
スポーツ振興事業費	事業費							ｽｽﾞｰﾝ振興事業、ｽｽﾞｰﾝの日記念事業に係る事業費	事業計画書 3-1-(1)(2)
	間接費							ｽｽﾞｰﾝ振興事業、ｽｽﾞｰﾝの日記念事業運営に伴う本社等の経費(人件費を含む。)	
	合計								
	消費税								
ｽｽﾞｰﾝ振興事業費計(C)									
地域貢献事業費	事業費								事業計画書 3-1-(3)
	間接費							地域貢献事業運営に伴う本社等の経費(人件費を含む。)	
	合計								
	消費税								
地域貢献事業費計(D)									
支出合計(E=A+B+C+D)									

(2) 収入の計画

単位：千円

項目		5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計	内容	備考
管理運営費	体育施設利用料金							専用・個人の施設利用料金、自主事業及び周辺連携事業の施設利用料金	別紙1積算内訳⑨
	その他							預金利子、利用者サービス事業に伴う光熱水費等	別紙1積算内訳⑩
	管理運営費計(E)								
スポーツ振興事業費	参加料							ｽｽﾞｰﾝ振興事業、ｽｽﾞｰﾝの日記念事業に係る参加料	事業計画書 3-1-(1)(2)
	その他							ｽｽﾞｰﾝ振興事業、ｽｽﾞｰﾝの日記念事業に係る協賛金等	
	ｽｽﾞｰﾝ振興事業費計(F)								
地域貢献事業費	参加料								事業計画書 3-1-(3)
	その他							協賛金等	
	地域貢献事業費計(G)								
その他(H)							自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業からの繰入額	事業計画書 3-1-(4)(5)(6)	
収入合計(I=E+F+G+H)									

(3) 都からの委託料

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計	内容	備考
都からの委託料(E-I)	250,000	161,000	161,000	161,000	161,000	894,000		

※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者に対するサービス提供事業の収支(積算内訳は事業計画書3-1-(4)(5)(6))

項目	5年度			6年度			7年度			8年度			9年度		
	収入	支出	差引	収入	支出	差引	収入	支出	差引	収入	支出	差引	収入	支出	差引
自主事業															
周辺連携事業															
利用者に対するサービス提供事業															
合計															

提案課題6 別紙1 収支計画の積算内訳

(4) 収支計画の積算内訳

(金額等の数字は収支計画の記入金額と整合させてください。)

① 人件費積算内訳

--	--	--	--	--	--	--

② 光熱水費積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
電気						
ガス						
水道						
合計						

③ 消耗品費等積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
施設消耗品費						
建築・設備補修関連費						
清掃消耗品費						
その他備品費等						
合計						

④ 役務費積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
電話						
通信						
手数料						
合計						

⑤ 委託費（維持管理費等）積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
内訳は提案課題6 別紙2「⑤委託費（維持管理費等）積算の内訳」のとおり						

⑥ 工事請負費・修繕費積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
施設修繕費						
設備修繕費						
合計						

提案課題6 別紙1 収支計画の積算内訳

⑦ 賃借料積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
入退場システム						
トレーニング機器等						
コピー機等						
管理備品等						
その他機器賃借料						
合計						

⑧ 管理運営費・その他支出積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
保険料						
福利厚生費						
旅費交通費						
その他公租公課						
合計						

⑨ 体育施設利用料金収入積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
メインアリーナ						
サブアリーナ						
会議室・その他						
プール団体						
プール・ジム個人						
合計						

※ ⑨体育施設利用料金収入の積算補足資料

- 体育施設利用料金収入の積算内容を具体的に記述してください。

⑩ 管理運営費・その他収入積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
その他収入						
合計						

提案課題6 別紙2 ⑤委託費(維持管理費等)の積算内訳

分類	作業の種類	金額(円)	備考
電気設備	受変電設備月次点検		
電気設備	受変電設備年次点検		
電気設備	分電盤設備月次点検		
電気設備	分電盤設備年次点検		
電気設備	非常用発電機月次点検		
電気設備	非常用発電機年次点検		
電気設備	燃料小出し槽点検		
電気設備	地下貯蔵タンク点検		
電気設備	直流電源装置月次点検		
電気設備	直流電源装置年次点検		
電気設備	無停電電源装置(UPS)点検		
電気設備	中央監視制御設備点検(空調監視)		
電気設備	中央監視制御設備点検(電力監視)		
電気設備	中継・構内情報設備点検		
電気設備	電話・情報設備点検		
電気設備	電波時計設備点検		
電気設備	照明制御設備(施設用)点検		
電気設備	照明制御設備(競技用)点検		
電気設備	舞台照明設備点検		
電気設備	駐車場管制設備点検		
電気設備	監視カメラ(ITV)設備点検		
電気設備	入退室管理設備点検		
電気設備	太陽光発電設備点検		
電気設備	大型映像設備点検		
電気設備	避雷設備点検		
電気設備	テレビ共聴設備点検		
電気設備	インターホン設備点検		
電気設備	トイレ呼出表示装置点検		
電気設備	音声ガイドシステム点検		
消防設備	消防用設備等点検		
消防設備	防火設備検査		
消防設備	放水銃設備点検		
空調設備	ガス抜き吸収式冷温水発生機点検		
空調設備	コージェネレーション発電機月次点検		
空調設備	コージェネレーション発電機年次点検		
検査・測定業務	ばい煙測定(ボイラー、冷温水発生機)		
空調設備	冷却塔点検		
空調設備	各種空調熱交換器点検		
空調設備	各種熱源ポンプ点検		
空調設備	密閉式膨張タンク		
空調設備	ファンコイルユニット		
空調設備	エアハンドリングユニット		
空調設備	空調機フィルター交換		
空調設備	加湿器点検		
空調設備	全熱交換器点検		
空調設備	デシカント空調機		
空調設備	フィルターユニット点検		
空調設備	給排気ファン点検		
空調設備	排煙機点検		
空調設備	電気式ヒートポンプ式空調機点検		
空調設備	ガスエンジンヒートポンプ式空調機点検(室内機)		
空調設備	ガスエンジンヒートポンプ式空調機点検(室外機)		
空調設備	電気ヒーター点検		
空調設備	変风量装置点検		
空調設備	太陽熱利用空調設備点検		
空調設備	床暖房設備点検		
電気設備	デジタルサイネージ点検		
空調設備	自動制御装置点検		
給排水衛生設備	ユニット型複合剤用注装置点検		
給排水衛生設備	上水受水槽月次点検		
給排水衛生設備	上水受水槽清掃		

提案課題6 別紙2 ⑤委託費(維持管理費等)の積算内訳

分類	作業の種類	金額(円)	備考
給排水衛生設備	加圧給水ポンプユニット		
給排水衛生設備	電気温水器		
給排水衛生設備	雑用水槽点検		
給排水衛生設備	貯湯タンク月次点検		
給排水衛生設備	貯湯タンク開放点検		
給排水衛生設備	雨水ろ過用薬品注入装置		
給排水衛生設備	ウォータークーラー点検		
給排水衛生設備	温水発生器点検		
給排水衛生設備	地熱ヒートポンプチラー点検		
給排水衛生設備	全自動砂ろ過装置点検(風呂、雨水再利用)		
給排水衛生設備	プールろ過装置点検		
給排水衛生設備	プール用薬品注入装置		
給排水衛生設備	プール用水質管理装置		
給排水衛生設備	滅菌装置点検(風呂、雨水ろ過用)		
給排水衛生設備	雨水貯留槽点検		
給排水衛生設備	プール還水槽清掃		
給排水衛生設備	汚水槽、雑排水槽清掃		
給排水衛生設備	湧水槽点検		
給排水衛生設備	膨張タンク点検		
給排水衛生設備	雨水移送ポンプ点検		
給排水衛生設備	プール排水移送ポンプ		
給排水衛生設備	受水槽一体型加圧給水ポンプユニット(加湿用)		
給排水衛生設備	給湯、温水、冷温水循環ポンプ点検		
給排水衛生設備	強制シャワーユニット点検		
給排水衛生設備	各種排水ポンプ点検		
給排水衛生設備	汚水マンホールポンプ点検		
給排水衛生設備	災害用トイレシステム点検		
給排水衛生設備	ルーフドレン点検		
その他	プール可動床設備点検		
その他	プール可動壁設備点検		
建築設備	自動ドア点検		
建築設備	昇降機点検		
建築設備	自動灌水システム		
建築設備	壁面緑化設備点検		
建築設備	ロールスクリーン点検		
検査・測定業務	飲料水、雑用水、プール水水質検査		
検査・測定業務	レジオネラ属菌水質検査		
検査・測定業務	空気環境測定		
検査・測定業務	建築設備定期検査		
検査・測定業務	特定建築物定期調査		
検査・測定業務	温室効果ガス排出量検証		
その他	アリーナ音響設備点検		
空調設備	空調機排水受け点検		
建築設備	吊物機構設備		
その他	ジム・プール用PC・複合機保守		
その他	イベント誘致調整委託		
その他	ガラス清掃		
その他	植栽管理		
その他	害虫駆除		
その他	廃棄物処理		



提案課題6 別紙2 ⑤委託費(維持管理費等)の積算内訳

分類	作業の種類	金額(円)	備考
その他	事務所関連機器保守		
その他	弁護士等委託費		
その他	経理関連委託費		
その他	スポーツ関連機器保守費		
計			
※計			

- ※1 本計画書の作成に当たっては、収支計画書との整合を図ってください。
- ※2 積算に当たり、作業項目の追加・修正や作業頻度の変更を提案する場合等補足説明を要する場合は、別紙補足説明書に具体的な考え方や理由を記入してください。
- ※3 設備等の維持管理業務について、業務委託によらず指定管理者が実施し、委託費がかからない場合は、備考欄に実際にかかる経費を記載してください。
- ※4 作業項目の追加、修正等を行う場合は、本表を適宜修正してください。

## 添付資料(別添)一覧

資料名	ページ
商圈地図	1
味スタ・武蔵野の森公園と連携したウォーキングイベントルート(案)	2
年間作業計画	3~8

事業者名・団体名	株式会社東京スタジアム
----------	-------------

添付資料

： 提案課題3〔スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務〕  
1 事業の提供

商圈地図



味スタ・武蔵野の森公園と連携した  
ウォーキングイベントルート(案)



年間作業計画 1/6

分類	作業の種類		法定	頻度	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考	
	項目	内容																	
設備運転監視・保守点検	電気設備	受変電設備点検			計画														
					実施														
		分電盤設備			計画														
					実施														
		防災用発電機			計画														
					実施														
		燃料小出槽			計画														
					実施														
		地下貯蔵タンク			計画														
					実施														
		直流電源装置			計画														
					実施														
		無停電電源装置 (UPS)			計画														
					実施														
		中央監視制御設備 (空調設備)			計画														
					実施														
		中央監視制御設備 (電力監視)			計画														
					実施														
		中継・構内情報設備			計画														
					実施														
		電話・情報設備			計画														
					実施														
		電波時計設備			計画														
					実施														
		照明制御設備 (施設用)			計画														
					実施														
		照明制御設備 (競技用)			計画														
					実施														
		駐車場管制設備			計画														
					実施														
		監視カメラ (ITV) 設備			計画														
					実施														
		入退室管理設備			計画														
					実施														
		太陽光発電設備			計画														
					実施														
大型映像設備			計画																
			実施																

添付資料：提案課題5-1(1) 別表 施設、設備及び物品の維持管理

年間作業計画 2/6

分類	作業の種類		法定	頻度	区分													備考							
	項目	内容				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月								
	屋外灯光器				計画																				
			実施																						
			配電設備				計画																		
					実施																				
			テレビ共聴設備				計画																		
					実施																				
			インターホン設備				計画																		
					実施																				
			トイレ呼出表示装置				計画																		
					実施																				
			音声ガイドシステム				計画																		
					実施																				
			防災設備	消防用設備等定期点検			計画																		
					実施																				
					防火対象物定期点検			計画																	
			実施																						
			空調設備	直置き吸収式冷暖水発生機点検			計画																		
					実施																				
				コージェネレーション発電機				計画																	
						実施																			
				煤煙測定(ボイラー設備)				計画																	
	実施																								
	煤煙測定(ジェネリック・吸収式冷暖水機)					計画																			
				実施																					
	冷却塔点検					計画																			
				実施																					
	各種空調熱交換器点検					計画																			
				実施																					
	各種熱源用ポンプ点検					計画																			
				実施																					
	密閉式膨脹タンク点検					計画																			
				実施																					
	ファンコイルユニット点検					計画																			
				実施																					
	エアーハンドリングユニット点検					計画																			
				実施																					
	フィルター清掃業務					計画																			
				実施																					
	加湿機点検					計画																			
				実施																					
	全熱交換器点検				計画																				
			実施																						
	デシカント空調機				計画																				
			実施																						
	フィルターユニット点検				計画																				
			実施																						
	給排気ファン点検				計画																				
			実施																						

年間作業計画 3/6

分類	作業の種類		法定	頻度	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考					
	項目	内容																					
					計画																		
					実施																		
					計画																		
					実施																		
					計画																		
					実施																		
					計画																		
					実施																		
					計画																		
					実施																		
					計画																		
					実施																		
					計画																		
					実施																		
					計画																		
					実施																		
					計画																		
					実施																		
					計画																		
					実施																		
					計画																		
					実施																		
					給排水衛生	給排水衛生																	
						上水受水槽点検																	
						上水受水槽年次清掃																	
						加圧給水ポンプユニット点検																	
						電気温水器点検																	
						雑用水槽保守点検(雨水再利用水)																	
	雑用水槽清掃																						
	貯満タンク点検																						

年間作業計画 4/6

分類	作業の種類		法定	頻度	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考	
	項目	内容																	
		薬品注入装置(YT-Z1)			計画														
					実施														
		ウォータークーラー			計画														
					実施														
		温水発生機点検			計画														
					実施														
		地熱ヒートポンプチラー点検			計画														
					実施														
		全自動砂濾過装置点検(雨水再利用)			計画														
					実施														
		プール濾過装置点検			計画														
					実施														
		薬品注入装置(プール用)			計画														
					実施														
		水質管理装置			計画														
					実施														
		濾過装置点検(風呂ろ過)			計画														
					実施														
		濾過装置点検(風呂ろ過用)			計画														
					実施														
		雨水貯留槽			計画														
					実施														
		プール還水槽			計画														
					実施														
		雑排水槽点検			計画														
					実施														
		汚水槽点検			計画														
					実施														
		湧水槽点検			計画														
					実施														
		冷却塔補給水槽点検			計画														
					実施														
		膨張タンク点検			計画														
					実施														
		雨水移送ポンプ点検			計画														
					実施														
		プール排水移送ポンプ点検			計画														
					実施														
		受水槽一体型加圧給水ポンプユニット点検(加温用)			計画														
					実施														
		受水槽一体型加圧給水ポンプユニット点検			計画														
					実施														



添付資料 : 提案課題5-1(1) 別表 施設、設備及び物品の維持管理

年間作業計画 5/6

分類	作業の種類		法定	頻度	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	項目	内容																
		給湯循環ポンプ点検			計画													
		実施																
		計画																
		実施																
		計画																
		実施																
		計画																
		実施																
		計画																
		実施																
		計画																
		実施																
	計画																	
	実施																	
	計画																	
	実施																	
	計画																	
	実施																	
	計画																	
	実施																	
	建築設備	ブル可動床設備				計画												
		実施																
		計画																
		実施																
計画																		
実施																		
計画																		
実施																		
計画																		
実施																		
計画																		
実施																		
検査・測定業務	飲料水水質検査				計画													
	実施																	
	計画																	
	実施																	
	計画																	
	実施																	
	計画																	
	実施																	
	計画																	
	実施																	
	計画																	
	実施																	
法定検査	建築設備定期点検				計画													
	実施																	
	計画																	
	実施																	
	特殊建築物定期調査				計画													
	実施																	
	ホルムアルデヒド測定 (初年度のみ)				計画													
	実施																	

**添付資料** : 提案課題5-1(1) 別表 施設、設備及び物品の維持管理

年間作業計画 6/6

分類	作業の種類		法定	頻度	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考	
	項目	内容																	
	その他設備	舞台照明設備																	計画
																			実施
	計画																		
	実施																		
	計画																		
	実施																		
アリーナ音響設備																			計画
																			実施